

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
(1)	学生の確保の見通し	1
ア	定員充足の見込み	1
イ	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	1
ウ	学生納付金の設定の考え方	5
(2)	学生確保に向けた具体的な取組状況	5
2	人材需要の動向等社会の要請	7
(1)	人材の養成に関する目的その他の教育上の目的（概要）	7
(2)	上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたもので	
	あることの客観的な証拠	9
	・和歌山県内における薬剤師需要	9
	・医療現場（病院・薬局）及び企業からの要請	10

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

本学薬学部薬学科では、1) 公立 4 大学薬学部薬学科の入学定員（最多は岐阜薬科大学と山口東京理科大学の 120 人、最少は名古屋市立大学の 60 人）、2) 和歌山県及び隣接した奈良県には薬学部が設置されていないこと、3) 和歌山県における薬剤師の地域偏在や高齢化等、を総合勘案した上で入学定員を 100 人に設定した。

本学の通学可能圏内である高校生を対象にしたアンケートにおいて本学部の志望者が 100 人以上存在する点、近畿地区の国立大学薬学部や全国の公立大学薬学部の入学定員充足率がほぼ 100%を満たしている点を挙げれば、本学薬学部薬学科における入学定員 100 人の確保は可能と考える。

また、薬学部全体の志願状況において、競争率が低位で推移し入学定員を大きく割り込む私立大学が多く見られるが、一方、国公立大学では安定的な競争率で入学定員を大きく割り込む状況は見られていない現状もある。

和歌山県内の傾向として、過去 5 年間、地元大学へ進学する学生が年々増加している。そして、本学の医学部や保健看護学部では安定的に入学定員を確保している。このような状況下、薬学部が県内に新たに設置されれば高校生にとって進路選択の幅が広がり地元の薬学部へ進学することは十分考えられる。

今後 10 年間、大学入学年齢となる 18 歳人口は減少傾向にあるものの、和歌山県と大阪府の人口推移を見れば一定数は存在する。

以下、本学部の入学定員 100 人が充足可能であることを説明するため客観的データを提示する。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

(アンケート結果に基づく和歌山県立医科大学薬学部への進学意向)

和歌山県立医科大学薬学部の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的に検証することを目的として、高校 2 年生を対象に本学部への進学意向に関するアンケート調査を外部機関に委託し実施した。

アンケートの集計結果は（資料 1）として添付した。

調査対象：和歌山県、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県に所在する高等学校のうち、和歌山県立医科大学医学部に受験実績のある高校2年生
調査内容：回答者の基本情報及び本学部への進学意向
調査時期：令和元年9月から10月
調査方法：アンケート調査票を対象高等学校へ配布し、その結果を回収及び集計
回収枚数：82校9,748票
回収率：55.0%
調査機関：一般財団法人 日本開発構想研究所

アンケートの結果、和歌山県立医科大学薬学部への進学意向について「進学したい」と回答したのは200人であり、全体の約2.4%であった。また、「併願大学の結果によっては進学したい」のは227人であり、全体の約2.7%であった。

「進学したい」と回答した200人のうち大学進学希望者は183人であり、その内「理系」及び「(文系、理系、農業等専門コースの) いずれでもない」に所属する回答者は134人であった。この134人は薬学部への進学を想定した本学部の入試予定科目を高等学校で履修しており、実際的に薬学部への進学可能性が高いと考えられる。

さらに、この134人について、キャンパス立地の観点からクロス集計した結果をみると、進学先を決定する際に重視する事柄で「立地場所」を選択し、かつ進学希望地域の第1希望に「和歌山県」を選択した回答者は18人であった(第2希望は5人)。また、進学先を決定する際に重視する事柄として「立地場所」を選択しなかった回答者は99人であった。この18人及び99人の合計117人については、和歌山県内にキャンパスを構える本学部への進学について、立地の観点からみてもその可能性は高いと考えられる。

次に、大学進学希望者で「併願大学の結果によっては進学したい」と回答した219人のうち、高等学校での所属コースが理系の回答者(199人)及び文系・理系・農業等専門コースのいずれでもないとする回答者(8人)について、併願先として検討中の大学・学部を尋ねたところ、「他の国公立大学の薬学部」のみを回答したのは36人、「私立大学の薬学部」のみは17人、「他の国公立大学の薬学部」と「私立大学の薬学部」の2つを回答したのは22人であり、合計すると75人となる。この75人については、薬学部を志望学部として実際に薬学部を受験する可能性が高いと考えられるが、併願大学の結果によってはこの半数程度が本学部へ進学する可能性は十分にあると考えられる。

歩留まり率を考慮した入学者予定数について、アンケート結果の本学部へ「進学したい」117人と「併願大学の結果によって進学したい」75人を合わ

せた192人から算出した。この192人を基に2019年度における公立大学薬学部（6年制）の入学率（入学者数÷合格者数、小数点第二位四捨五入）64.6%（資料2-1）で乗すると、入学定員100人を上回る124人（小数点第一位四捨五入）の志望者が本学部へ入学すると推測される。

以上、アンケート調査の結果から、入学希望者が定員100人を越える結果を踏まえ、本学部の学生確保においては十分な見通しがあると考えられる。

（薬学部全体の志願状況について）

文部科学省調査による薬学部全体の入学定員充足率（入学者数÷入学定員）及び実質競争倍率（受験者数÷合格者数）を見ると（資料2-1）（資料2-2）（資料2-3）、直近の2019年度において、入学定員充足率95%を下回った国公立大学（6年制）は存在しないが、私立大学（6年制）では56校中23校存在した。また、過去5年間連続して入学定員充足率100%を下回った国公立大学は1校もないが、私立大学では7校存在した。一方、実質競争倍率において国公立大学（6年制）では過去5年間一度も2.0倍を下回った大学は存在しないが、私立大学（6年制）では5年間連続して2.0倍を下回った大学は15校存在した。薬学部全体における入学定員充足率及び実質競争倍率の傾向から、国公立大学である本学は入学定員100%を満たし、実質競争倍率も常時2.0倍以上を越えることが予想される。

（近畿地区における国公立大学薬学部の入学定員充足率について）

令和2年現在、本学の通学圏内と想定される近畿地区に所在する国公立大学の薬学系学部（6年制）を設置している大学は京都大学、大阪大学のみである。この2大学における学部（6年制）の入学定員は合計95人である。この数字は私立大学を含む近畿地区全ての薬学系学部（6年制）入学定員総数2,464人の僅か約3.9%である。（資料3）のとおり、京都大学、大阪大学における過去5年間の入学定員充足率はともに100%を越え、安定した定員充足状況を維持している。実質競争倍率も両大学とも2倍から4倍の範囲内と安定的に推移している。国公立大学薬学部に対する人気は依然強く、この状況で公立大学である本学部が開設されても定員の充足は十分に見込める。

（公立大学薬学部の入学定員充足率について）

令和2年現在、全国に薬学部を設置している公立大学は、岐阜薬科大学、静岡県立大学、名古屋市立大学、そして平成30年度に開学した山口東京理科大学の4校である。これら公立大学薬学部の入学定員充足率（過去5年間、山口東京理科大学は開学後2年間）は、各大学ほぼ100%を超えている（資料4）。平成28年度、岐阜薬科大学の入学定員充足率が約91%と低かった。しかし（資料4）の公立大学薬学部の実質競争倍率を見ると、平成28年度の岐阜

薬科大学における実質競争倍率は 4.6 倍であった。各大学の過去 5 年間における実質競争倍率も 3 倍から 5 倍の範囲内で安定的に推移している。このように、公立大学薬学部に対する受験生からの需要は高く、この点から公立大学である本学も薬学部志望者の強い人気を得ることが期待される。

(和歌山県立医科大学既設学部の志願状況について)

本学医学部及び保健看護学部の入学定員充足率は過去 5 年間 100%を下回ったことがなく、競争率(受験者数÷入学者数)も過去 5 年間 2.0 倍以上を示していることから本学における学生募集は順調に推移している(資料 5)(資料 6)。

(県内高校生の地元志向について)

(資料 7)によれば、和歌山県内に所在している高等学校から大学進学先の推移として、都道府県別では大阪府内の大学へ一番多く進学しているものの、その割合は平成 28 年度の約 42.3%から令和元年度の約 40.6%に減少している。一方、地元である和歌山県内の大学への進学割合は、平成 27 年度の約 10.4%から令和元年度の約 14.3%へ上昇している。

(資料 8)によれば、和歌山県内に所在している大学において入学者出身校の都道府県別割合では、直近 5 年間、大阪府内の高等学校出身者は常時 40%以上を占めている。一方、和歌山県内の高等学校出身者は平成 27 年度に約 27.6%であったが、令和元年度には約 34.6%まで占めるに至った。

(資料 7)及び(資料 8)から、和歌山県内の高校生による地元大学志向の高まりが良く分かる。

また、和歌山県内の大学需要について、これまで県内最多の人口を誇る和歌山市に所在する大学は本学及び和歌山大学のみであった。しかしながら、平成 30 年度には東京医療保健大学和歌山看護学部、平成 31 年度には和歌山信愛大学教育学部が和歌山市内に開学した。入学定員充足率を見ると、東京医療保健大学和歌山看護学部は平成 30 年度に 116%、平成 31 年度に 111%であった。また、和歌山信愛大学教育学部の入学定員充足率は平成 31 年度に 103%であった。和歌山市内における 2 校の新設大学はともに入学定員充足率 100%を満たす結果となった(入学定員充足率は各大学のホームページより引用)。この結果から和歌山市内での大学需要は十分に見込める余地がある。

よって、本学が和歌山市内に薬学部を開設することになれば、県内高等学校の多くの学生が地元の薬学部を志望すると考えられる。

(18 歳人口の動向と中長期的見通し)

本学部への受験が見込まれる和歌山県及び近隣府県における 18 歳の人口の見通しについて、文部科学省「学校基本調査」から算出した(資料 9)。令和 3

年から令和12年までの18歳人口の算出方法は学校基本調査における（3年前の中学校卒業者数）、（3年前の中等教育学校前期課程修了者数）、（3年前の義務教育学校卒業者数）の3項目を合計した。（資料9）によれば、令和3年から令和12年にかけて日本の18歳人口は約8%減少すると予想される。都道府県別において、本学部へ多くの入学者になると想定される隣接の大阪府では令和3年から令和12年にかけて18歳人口が約10%減少すると見込まれるものの、令和12年の大阪府における推計18歳人口は71,415人と同時期の他地区（和歌山県7,582人、兵庫県47,397人、京都府20,714人、奈良県11,067人）に比べて圧倒的に数が多い。また、和歌山県でも令和3年から令和12年にかけて18歳人口が約14%減少すると見込まれているが、（資料7）及び（資料8）のとおり、和歌山県出身者による地元大学志向が高まっていることから和歌山県内において一定以上の志望者数が見込まれる。

大阪府における18歳の人口推移や和歌山県内での地元志向を考慮すると、今後10年間、18歳人口の減少が予想されるものの、一定の学生数が存在するため本学部での学生確保は可能と考える。

ウ 学生納付金の設定の考え方

本学薬学部の初年度学生納付金は、本学医学部及び保健看護学部と同様、入学金282,000円、授業料535,800円、合計817,800円として設定する。

入学金282,000円の納付対象者を本学医学部及び保健看護学部と同様、「県内生」とする。本学において「県内生」とは、入学日現在における入学を許可された者の扶養義務者が、入学日以前3年間引き続き和歌山県内に居住している者と定義している。

「県内生」に該当しない「県外生」の入学金について、本学は公立大学であることを鑑み、薬学部を設置している公立大学4校（静岡県立大学、名古屋市立大学、岐阜薬科大学、山口東京理科大学）の県（市）外生入学金を比較し、本学医学部や保健看護学部の県外生の入学金も考慮した結果、本学部は県外生の入学金を県内生の2倍となる564,000円に設定する。

本学部への通学可能圏内である近畿地区には、国立大学2校、私立大学12校の6年制薬学部がある。これら国立・私立別の初年度学生納付金（入学金、年間授業料等）の平均額は（資料10）のとおりである。私立大学12校の初年度学生納付金平均額は、2,248,417円である。公立大学である本学は、国立大学と同額の学生納付金817,800円（県内生）を予定しており、私立大学12校と比較して約3分の1の学生納付金となっている。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学部は広く志望者を募るため、本学ホームページ内に薬学部（設置構想中）の専用サイトを設置している。ここでは薬学部の教育理念や目標、そして設置構想を

PRしている。また、教職員が直接、高校生や高校教員に対して薬学部の設置構想をPRしている。

薬学部設置認可申請後についても、引き続き高等学校訪問やホームページ、受験広報誌、イベント等、多数の広報媒体を通じて広く学生に周知する。

薬学部キャンパスの完成後、オープンキャンパスの開催を予定しており、学生に対して本学部のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーをはじめとする様々な教育情報を広報する。

(高等学校の校長に対する広報活動)

平成31年4月や令和元年5月に、県立の高等学校長会及び私立中学高等学校協会にて、薬学部長予定者が校長を対象に薬学部の設置構想を説明した。令和元年5月、県立の高等学校長会理事会でも薬学部長予定者が校長を対象に薬学部の設置構想を説明した。

(高等学校の進路指導担当者に対する広報活動)

令和元年7月、高等学校進路指導担当者24人を対象とした和歌山県立医科大学医学部での説明会において、薬学部長予定者が医療系総合大学として医学部、保健看護学部が続く第3の学部として薬学部が令和3年に開設予定であることを説明した。

(和歌山県立医科大学医学部オープンキャンパスでの広報活動)

令和元年8月、高校生及び既卒生(申込者数338人)や保護者を対象とした医学部オープンキャンパスにて薬学部長予定者による講演を実施した。薬学部の設置意義、目指す人物像等を説明した。

(高校生、中学生に対する広報活動)

高校生や中高一貫校の中学生に対して直接高等学校を訪問し、本学部の魅力を説明している。薬学は高等学校で履修する化学、物理、生物から発展する学問であるため、説明対象者を医療系学部志望者だけでなく、理系履修者にも参加を呼びかけている。本学部を志望してもらえよう説明会では、薬学部長予定者による「クスリはなぜ効くのか」、本学附属病院薬剤部の薬剤師による「未来の薬剤師へ」、そして職員による「薬学部の設置構想」を説明している。直接語り掛ける説明会を開催することで、学生の本学部に対する志望意欲を喚起している。高等学校への訪問実績は(資料11)のとおりである。合計で14校407人の生徒が説明会に参加した。これまでは訪問先が和歌山県内の高等学校が中心となっているが、今後、安定的な学生確保のため和歌山県外の高等学校等にも本学部をPRする。

(高等学校以外の広報活動)

各種の受験情報誌や新聞・雑誌に本学部の設置構想、入試日程、入試科目等、学生が志望するにあたって重要な情報を提供する。令和元年6月22日付け毎日新聞には本学部が紹介された(資料12)。また、令和2年2月2日に放送されたテレビ和歌山「わかやま医療ナビ」では、薬学部長予定者が薬学部の設置構想について説明した。

(和歌山県薬剤師会と連携した広報活動)

和歌山県薬剤師会は「薬学部進学セミナー」を毎年1回、和歌山市内で開催している。平成30年までは和歌山県外の薬学部が薬学部進学セミナーに参加していたが、令和元年の薬学部進学セミナーでは本学部が設置構想中ながらも薬学部進学セミナーに参加した。なお、令和元年の薬学部進学セミナーの参加者は学生105人、保護者66人の計171人であった。これらの参加者に対して令和3年4月に開設する本学部の設置構想を説明した。

また、令和元年8月、和歌山県薬剤師会拡大常務理事会において、和歌山県職員が参加者約30人の理事に対してその子弟や知人友人に本学部の魅力を周知してもらえよう依頼した。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

薬剤師は、薬剤師法第一条において「薬剤師は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによつて、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする。」と規定されている。その薬剤師の任務が、近年、医療の高度化や多様化により大きな変化を受けている。

従来、調剤を中心とした業務に終始していた薬剤師は、現在、病院においてチーム医療の一員として、調剤の他、病棟や手術室、ICU(Intensive Care Unit)等に出向き、患者への服薬指導、医師への処方提案等を行っている。対物(薬)中心の業務から対人(患者)を中心とした業務に変化している。

一方、薬局薬剤師の環境下では平成28年から「かかりつけ薬剤師・薬局」制度を導入している。患者の服薬状況を一元的・継続的に管理し、薬局の開局時間外であっても24時間体制で患者の薬や健康に関する相談に対応するようになった。また、在宅医療の普及に伴い、医師や看護師だけでなく薬剤師も患者や介護者への居宅に訪問し、在宅での服薬指導が調剤とともに重要業務となりつつある。

最近の医療は、疾病毎に細分化され、薬の使用について専門的なアプローチが要求されるようになってきている。薬剤師においても「がん」「感染制御」「精神科」「妊婦・授乳婦」「HIV感染症」等の領域で専門薬剤師の認定制度が始まっている。薬学や医学、生命科学の進歩が著しい医療において、これからの薬剤師は業務の拡大や専門化により、量と質の確保が求められている。

日本の薬学教育では、上記のような医療全体を取り巻く情勢の変化を踏まえ「薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年度改訂版）」の中に薬剤師として求められる基本的資質10の視点を明確にしている。

【薬剤師として求められる基本的資質の10の視点】

（薬剤師としての心構え）

医療の担い手として、豊かな人間性と、生命の尊厳についての深い認識をもち、薬剤師の義務及び法令を遵守するとともに、人の命と健康な生活を守る使命感、責任感及び倫理観を有する。

（患者・生活者本位の視点）

患者の人権を尊重し、患者及びその家族の秘密を守り、常に患者・生活者の立場に立って、これらの人々の安全と利益を最優先する。

（コミュニケーション能力）

患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。

（チーム医療への参画）

医療機関や地域における医療チームに積極的に参画し、相互の尊重のもとに薬剤師に求められる行動を適切にとる。

（基礎的な科学力）

生体及び環境に対する医薬品・化学物質等の影響を理解するために必要な科学に関する基本的知識・技能・態度を有する。

（薬物療法における実践的能力）

薬物療法を主体的に計画、実施、評価し、安全で有効な医薬品の使用を推進するために、医薬品を供給し、調剤、服薬指導、処方設計の提案等の薬学的管理を実践する能力を有する。

（地域の保健・医療における実践的能力）

地域の保健、医療、福祉、介護及び行政等に参画・連携して、地域における人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献する能力を有する。

（研究能力）

薬学・医療の進歩と改善に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を有する。

（自己研鑽）

薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。

（教育能力）

次世代を担う人材を育成する意欲と態度を有する。

「薬剤師として求められる基本的資質の 10 の視点」を踏まえ、本学部は養成する人材像として 3 つの項目を定める。

【和歌山県立医科大学薬学部が養成する人材像】

- 1 高い実践能力を有する薬剤師
医療の担い手としての責務を果たすべく、医療倫理を身に付け、薬剤師として求められる基本的な資質を備えた上で、先進的で高度な専門知識と技能、高い実践能力を有する薬剤師を養成する。
- 2 地域で活躍できる薬剤師
研究を通して問題解決能力を培うとともに、多職種連携教育を推進しチーム医療の一員として他の職種と協働・連携できる協調性や対話能力を養うことにより、地域の問題を解決することができる薬剤師を養成する。
- 3 国際的に活躍できるファーマシスト・サイエンティスト
新たな発展へのシーズを見出し結実させることができるよう、実務・研究を通じて培った能力をもとに国際的に研究成果を発信できるファーマシスト・サイエンティストを養成する。

本学部は 3 項目の資質を備えた学生を養成するため、以下のとおりディプロマ・ポリシーを定めている。

【和歌山県立医科大学薬学部ディプロマ・ポリシー】

- 1 人の健康に携わる職業である薬剤師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの
- 2 総合的、専門的な薬学の知識とともに、薬剤師としての実践能力や研究を行うに足る技能を有しているもの
- 3 単に知識、技能を獲得しているのみではなく、それらを統合的に活用でき、患者の社会的、心理的背景にも配慮することができるもの
- 4 国際的視野を有し、地域での医療に貢献できるもの

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

・和歌山県内における薬剤師需要

厚生労働省「平成 30 年医師・歯科医師・薬剤師統計」から引用した和歌山県の薬剤師に関する情報（資料 13）において、県内薬剤師の平均年齢は、50.4 歳（全国平均は 46.4 歳）であり、都道府県別で最も平均年齢が高い。業務の種類別にみると、薬局従事者が 50.3 歳（全国平均は 46.7 歳）、病院・診療所従事者が 45.4 歳（全国平均は 42.7 歳）となっており、各業種とも全国平均に比べ高くなっている。このような環境が続くと将来、和歌山県内の薬剤師不足が予想されるため、薬剤師養成を目的とする本学部の開設が和歌山県内における医療の担い手として期待される。

平成 30 年末時点、県内の薬剤師数は 2,326 人となっている(資料 13)。人口 10 万人あたりに換算すると 248.8 人で、全国平均の 246.2 人を若干上回っている。県内薬剤師総数について保健医療圏域別にみると、和歌山圏域では全国平均や県内の他圏域に比べて多くなっている。しかし、それ以外の圏域は全国平均を下回っており、和歌山県内における薬剤師の地域偏在が顕著となっている。

和歌山県における薬剤師の現状を踏まえ、本学部ディプロマ・ポリシーの一つとして「地域での医療に貢献できるもの」を掲げている。その具体策の一つとして、本学部は学校推薦型選抜に「県内枠」を設定し、15 人程度を募集する。和歌山県内の高等学校を卒業した者(見込みの者含む)だけでなく、和歌山県外の高等学校を卒業した者(見込みの者含む)でも扶養義務者が引き続き 3 年以上和歌山県内に居住していれば、県内枠として本学部を受験できる。県内枠で入学した学生は他の学生と同じ教育課程を 6 年間履修するものの、卒業後 2 年間、県内医療機関の研修が義務付けられている。本学部は 2 年間の研修を修了した者に対して県内医療機関への就職斡旋を予定している。和歌山県内で生まれ育った学生を和歌山県内のあらゆる地域に薬剤師として定着する仕組みを立ち上げる。本学部の開設が県内薬剤師の地域偏在解消の切り札として求められているのである。

・医療現場(病院・薬局)及び企業からの要請

和歌山県立医科大学薬学部の設置計画を策定するにあたり、薬学部の設置及び教育研究上の目的や養成する人材が社会的、地域的な需要の動向等を踏まえたことを検証するため、病院・薬局及び企業を対象として、本学部卒業生の採用意向等に関するアンケート調査を外部機関に委託し実施した。

アンケート調査の集計結果については(資料 14)として添付した。

調査対象：1)事業所	和歌山県内の病院内薬局及び 和歌山県薬剤師会会員薬局
2)企業	全国の医薬品製造業等企業
調査内容：	回答者の基本情報及び本学部卒業生の採用意向
調査時期：1)事業所	令和元年7月から9月
2)企業	令和元年8月から9月
調査方法：	アンケート調査票を対象事業所・企業へ配布し、その結果を回収 及び集計
回収枚数及び回収率：1)事業所	354票、65.2%
2)企業	131票、23.1%
調査機関：	一般財団法人 日本開発構想研究所

(薬剤師の充足状況)

薬剤師の充足状況を見ると、病院及び薬局では「少し不足している」が41.0%(145件)を占め、「かなり不足している」は13.8%(49件)となっていた。「少し不足している」と「かなり不足している」を合計すると、54.8%の病院及び薬局において薬剤師が不足していた。

一方、企業においては、「少し不足している」が55.0%(72件)で最も多く、「充足している」は34.4%(45件)となっていた。「かなり不足している」は9.2%(12件)であり、「少し不足している」と「かなり不足している」を合計すると、64.2%の企業は薬剤師が不足していた。

病院及び薬局、企業ともに必要な人数の薬剤師を確保できていないところが過半数を占めており、薬剤師不足の状況がうかがえる。

(近年における薬剤師の採用状況)

近年における薬剤師の採用状況を見ると、病院及び薬局では「薬剤師の確保(採用)は難しくなっている」が38.4%(136件)で最も多く、4割近い病院や薬局が薬剤師の確保に困難さを感じている。また、「薬剤師の確保(採用)はできているが十分ではない」は26.8%(95件)であり、これらを合わせると65.2%(231件)の病院や薬局では、思うように薬剤師を確保することができていないと考えられる。一方、「十分な数の薬剤師を確保(採用)できている」と回答したのは29.7%(105件)であり、約3割程度に留まっていた。

企業における薬剤師の採用状況は、病院及び薬局と同じく「薬剤師の確保(採用)は難しくなっている」が34.4%(45件)で最も多かった。また、「薬剤師の確保(採用)はできているが十分ではない」は32.8%(43件)であり、これらを合わせると67.2%(88件)の企業では、思うように薬剤師を確保することができていないと考えられる。「十分な数の薬剤師を確保(採用)できている」は25.2%(33件)であり、薬剤師確保において、病院や薬局よりも企業が困難になっている状況がうかがえる。

(和歌山県立医科大学薬学部卒業生に対する採用意向)

和歌山県立医科大学薬学部卒業生を採用することについて尋ねたところ、病院及び薬局では「採用したい」が39.5%(140件)で最も多く、約4割を占めていた。また、「採用を検討したい」が32.5%(115件)であり、これらを合わせると72.0%(255件)の病院及び薬局は、薬学部卒業生の採用について関心があると言える。

一方、企業では「採用したい」は35.1%(46件)であり、約3分の1の企業が薬学部卒業生を採用したいと回答した。また、「採用を検討したい」が43.5%(57件)で最も多く、これらを合わせると78.6%(103件)の企業が薬学部卒業生の採用に関心を示している。

以上のことから、病院及び薬局だけでも薬学部の入学定員 100 人を超える 140 件の採用意向が確認できた。さらに企業においても 46 件の採用意向があることから、本学部卒業生に対する社会的、地域的な人材需要は十分にあると考えられる。

学生の確保の見通し等を記載した書類 資料目次

- 資料 1・・・和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する高校生アンケート調査
集計結果
- 資料 2-1・・・2019 年（平成 31 年・令和元年）度の入学試験・6 年制学科生の修学状況
- 資料 2-2・・・平成 30 年度の入学試験・6 年制学科生の修学状況
- 資料 2-3・・・平成 25～29 年度の入学試験・6 年制学科生の修学状況
- 資料 3・・・近畿地区における国立大学薬学部入学定員充足率・実質競争倍率
- 資料 4・・・公立大学薬学部入学定員充足率及び実質競争倍率
- 資料 5・・・和歌山県立医科大学医学部の定員充足率及び競争率
- 資料 6・・・和歌山県立医科大学保健看護学部の定員充足率及び競争率
- 資料 7・・・和歌山県所在高等学校から大学進学先（府県・地域別）の推移
- 資料 8・・・和歌山県所在における大学入学者の出身高等学校の推移
- 資料 9・・・和歌山県及び隣接府県における 18 歳人口の動向
- 資料 10・・・近畿地区（2 府 4 県）における国公立大学と私立大学薬学部（6 年制）の
入学金、年間授業料、施設費等の平均額について
- 資料 11・・・本学による高等学校訪問実績
- 資料 12・・・令和元年 6 月 22 付け毎日新聞記事
- 資料 13・・・和歌山県における薬剤師数等について
- 資料 14・・・和歌山県立医科大学薬学部設置に関する事業所アンケート及び企業アン
ケート集計結果

和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する
高校生アンケート調査

集 計 結 果

令和元年 1 2 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>	1
<薬学部進学意向>	2
<アンケート集計結果概要>	3
<アンケート回収表・集計表>	9
<アンケート調査票>	21

＜アンケート調査概要＞

1. アンケート調査の目的

和歌山県立医科大学では、県内における薬剤師不足の解消及び地域における医療の充実を図るため、薬学部を設置する準備を進めており、薬学部への進学意向等を把握するために、高校生を対象にアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

「和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する高校生アンケート調査」

3. 調査対象

和歌山県、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県に所在する高等学校のうち、和歌山県立医科大学医学部に受験実績のある高等学校の高校 2 年生を対象に、アンケート調査を実施した。

4. 調査時期

令和元年 9 月～10 月に調査を実施した。

5. 調査方法

郵送によるアンケート調査票の高等学校への配布、回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

6. 回収率

回収票数 9,748 票 回収率 55.0% (回収高校 82 校 ÷ 依頼高校 149 校 × 100) (回収表は P. 10～P. 12 を参照)

<薬学部進学意向>

高校生アンケートによる和歌山県立医科大学薬学部薬学科への進学意向について、実数での回答は以下の通りである。

問 6 あなたは「和歌山県立医科大学 薬学部薬学科」への進学を希望しますか。	実 数
1 進学したい	200 人
2 併願大学の結果によっては進学したい	227 人
3 とりあえず受験してみたい	475 人
計	902 人

(詳細な集計結果は P. 13 以降を参照、高校毎の実数は P. 19～P. 20 を参照)

<アンケート集計結果概要>

和歌山県立医科大学薬学部設置に関する高校生アンケート調査の集計結果の概要については以下の通りである。

(1) 属性

① 居住地

回答者の居住地別内訳は、「和歌山県」が62.4% (6,080人) で最も多く、和歌山県内居住者が6割強を占めている。そのほか、「大阪府」が21.7% (2,116人)、「兵庫県」が8.5% (830人)、「京都府」が3.9% (381人)、「奈良県」が2.4% (230人) などとなっている。

② 在籍コース

回答者が高等学校において学習しているコースの内訳は、「理系(数学・理科などの科目を多く学習する)コース」が45.0% (4,385人) で最も多く、「文系(国語・社会などの科目を多く学習する)コース」は29.2% (2,844人)、「専門(農業・工業・商業・情報・水産・家庭・看護・福祉・音楽・体育・美術・英語)コース」は17.2% (1,677人)、「上のいずれでもないコース(例「理系・文系に分かれていない」など)」は8.4% (818人) となっている。

(2) 高校卒業後の進路

高校卒業後に希望する進路については、「大学進学」が73.0% (7,115人) で最も多く、次いで「就職」13.2% (1,290人)、「専門学校進学」10.3% (1,000人)、「短期大学進学」1.9% (182人) などとなっている。

以下は、高校卒業後の希望進路として、「大学進学」(7,115人)、「短期大学進学」(182人)又は「専門学校進学」(1,000人)のいずれかを回答した回答者(8,297人)による回答である。

(3) 進学希望地域

進学希望地域の第1希望では、「大阪府」が40.6% (3,369人) で最も多く、次いで「和歌山県」が18.3% (1,517人)、「進学したい学校なら地域は問わない」が

15.0% (1,244人) などとなっている。また、第2希望では「大阪府」が31.9% (2,648人) で最も多く、次いで「京都府」が13.2% (1,092人)、「和歌山県」が12.6% (1,046人) などとなっている。

高校卒業後の希望進路として「大学進学」を回答した回答者（以下、「大学進学希望者」という。）についてみると、第1希望では「大阪府」が39.7% (2,828人) で最も多く、次いで「進学したい学校なら地域は問わない」が16.4% (1,165人)、「和歌山県」が15.3% (1,086人) などとなっている。第2希望では「大阪府」が30.8% (2,194人) で最も多く、次いで「京都府」が14.0% (996人)、「進学したい学校なら地域は問わない」が12.1% (861人) などとなっている。

		上段：件数、下段：%									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		和歌山県	大阪府	京都府	兵庫県	奈良県	東京都	進学したい学校なら地域は問わない	その他	不明	合計
全体	第1希望	1,517	3,369	800	542	66	341	1,244	367	51	8,297
		18.3	40.6	9.6	6.5	0.8	4.1	15.0	4.4	0.6	100.0
	第2希望	1,046	2,648	1,092	920	183	447	976	315	670	8,297
		12.6	31.9	13.2	11.1	2.2	5.4	11.8	3.8	8.1	100.0
	計	2,563	6,017	1,892	1,462	249	788	2,220	682	721	8,297
		30.9	72.5	22.8	17.6	3.0	9.5	26.8	8.2	8.7	100.0
大学進学	第1希望	1,086	2,828	756	519	58	314	1,165	348	41	7,115
		15.3	39.7	10.6	7.3	0.8	4.4	16.4	4.9	0.6	100.0
	第2希望	821	2,194	996	841	154	378	861	291	579	7,115
		11.5	30.8	14.0	11.8	2.2	5.3	12.1	4.1	8.1	100.0
	計	1,907	5,022	1,752	1,360	212	692	2,026	639	620	7,115
		26.8	70.6	24.6	19.1	3.0	9.7	28.5	9.0	8.7	100.0

「大学進学」は、高校卒業後に希望する進路で「大学進学」を回答した回答者（7,115人）。

（4）進学先を決定する際に重視すること（複数回答）

進学先を決定する際に重視することは、「教育内容」が47.5% (3,940人) で最も多く、次いで「入試難易度・自分の学力」43.3% (3,593人)、「取得可能資格・免許」33.4% (2,773人) などとなっている。

大学進学希望者についてみると、「教育内容」が48.2% (3,429人) で最も多く、次いで「入試難易度・自分の学力」45.7% (3,251人)、「取得可能資格・免許」30.9% (2,202人) などとなっている。

上段：件数、下段：%

	1 教育内容	2 教育体制・ 教員組織	3 取得可能 資格・免許	4 就職指導・ キャリア 教育	5 就職実績・ 大学院等 進学実績	6 入試難易 度・自分の 学力	7 入試方法・ 入試科目	8 設置形態 (国公立 の別)	9 学費等の コスト	10 補習授業・ 生活指導 等の学生 支援
全 体	3,940	754	2,773	461	1,525	3,593	928	360	2,100	104
	47.5	9.1	33.4	5.6	18.4	43.3	11.2	4.3	25.3	1.3
大学進学	3,429	649	2,202	376	1,380	3,251	773	354	1,698	76
	48.2	9.1	30.9	5.3	19.4	45.7	10.9	5.0	23.9	1.1
	11 立地場所	12 施設・設備 等の教育 研究環境	13 世間での 評判	14 自分の性 格・適性	15 担任や進 路指導教 員の意見	16 家族(親や 兄弟姉妹) の意見	17 現役大学 生や卒業 生等の意 見	18 その他	不明	合計
全 体	2,156	1,371	1,015	1,750	163	784	300	70	63	8,297
	26.0	16.5	12.2	21.1	2.0	9.4	3.6	0.8	0.8	100.0
大学進学	1,971	1,232	899	1,447	125	596	233	59	47	7,115
	27.7	17.3	12.6	20.3	1.8	8.4	3.3	0.8	0.7	100.0

(5) 和歌山県立医科大学薬学部への進学意向

和歌山県立医科大学薬学部への進学意向についてみると、「進学したい」と回答したのは200人であり、全体の2.4%である。また、「併願大学の結果によっては進学したい」と回答したのは227人であり、全体の2.7%である。

大学進学希望者についてみると、「進学したい」は183人(2.6%)であり、「併願大学の結果によっては進学したい」は219人(3.1%)となっている。

上段：件数、下段：%

	1 進学したい	2 併願大学の結 果によっては 進学したい	3 とりあえず受 験してみたい	4 進学を希望し ない	不明	合計
全 体	200	227	475	7,310	85	8,297
	2.4	2.7	5.7	88.1	1.0	100.0
大学進学	183	219	445	6,205	63	7,115
	2.6	3.1	6.3	87.2	0.9	100.0

また、大学進学希望者で薬学部「進学したい」と回答した183人について、高等学校における所属コース別内訳をみると、「文系」36人、「理系」124人、「専門(農業等)コース」

	(人)	
	進学したい	併願大学の結果によ っては進学したい
大学進学	183	219
文 系	36	5
理 系	124	199
専門(農業等)コース	13	7
上のいずれでもない	10	8

13人、「いずれでもない」10人である。このうち、実際に薬学部への進学の可能性が高いと期待されるのは「理系」及び「いずれでもない」に所属する回答者（134人）と考えられる。

さらに、この134人について、キャンパス立地の観点からクロス集計した結果をみると、進学先を決定する際に重視する事柄で「立地場所」を選択し、かつ進学希望地域の第1希望に「和歌山県」を選択した回答者は18人である（第2希望は5人）。また、進学先を決定する際に重視する事柄として「立地場所」を選択しなかった回答者は99人である。この18人及び99人については、和歌山県内にキャンパスを構える薬学部への進学について、立地の観点からみてもその可能性は高いと考えられる。

(人)

	進学したい	併願大学の結果によっては進学したい
理系+いずれでもない	134	207
うち、進学先を決定する際に重視する事柄で「立地場所」を回答した回答者のうち、進学希望地域（第1希望）で「和歌山県」を回答した回答者	18	8
うち、進学先を決定する際に重視する事柄で「立地場所」を回答しなかった回答者	99	149

次に、和歌山県立医科大学薬学部への進学意向において、「併願大学の結果によっては進学したい」と回答した227人について、併願先として検討中の大学・学部を複数回答により尋ねたところ、「他の国公立大学の薬学部」が39.2%（89人）で最も多く、次いで「他の国公立大学の医学・歯学系の学部」28.2%（64人）、「私立大学の薬学部」22.5%（51人）などとなっている。

大学進学希望者で「併願大学の結果によっては進学したい」と回答した219人については、「他の国公立大学の薬学部」が40.2%（88人）で最も多く、次いで「他の国公立大学の医学・歯学系の学部」29.2%（64人）、「私立大学の薬学部」22.8%（50人）などとなっている。

上段：件数、下段：%

	1 他の国公立 大学の薬学 部	2 私立大学の 薬学部	3 他の国公立大 学の医学・歯 学系の学部	4 私立大学の 医学・歯学 系の学部	5 その他	不明	合計
全 体	89 39.2	51 22.5	64 28.2	13 5.7	20 8.8	59 26.0	227 100.0
大学進学	88 40.2	50 22.8	64 29.2	13 5.9	19 8.7	54 24.7	219 100.0

また、大学進学希望者で「併願大学の結果によっては進学したい」と回答した 219 人について、併願先として検討中の大学・学部として「他の国公立大学の薬学部」のみを回答したのは 38 人、「私立大学の薬学部」のみを回答したのは 18 人、「他の国公立大学の薬学部」と「私立大学の薬学部」の 2 つを回答したのは 24 人であり、これらの回答者（計 80 人）については、進学先を薬学部に絞り込んでいる可能性が高いと考えられる。

さらに、この 219 人のうち、高等学校での所属コースが理系の回答者（199 人）及び文系・理系・専門コースのいずれでもないとする回答者（8 人）に限定すると、「他の国公立大学の薬学部」のみを回答したのは 36 人、「私立大学の薬学部」のみは 17 人、「他の国公立大学の薬学部」と「私立大学の薬学部」の 2 つを回答したのは 22 人であり、合計すると 75 人となる。この 75 人については、薬学部を志望学部として実際に薬学部を受験する可能性が高いと考えられるが、この 75 人についても、併願大学の結果によっては和歌山県立医科大学薬学部へ進学する可能性は十分にあると考えられる。

(人)

	他の国公立大学の薬学部	私立大学の薬学部	他の国公立大学の薬学部 + 私立大学の薬学部	計
大学進学希望者（219 人）	38	18	24	80
うち理系+いずれのコースでもない（199 人）	36	16	22	74
うちいずれのコースでもない（8 人）	0	1	0	1
計（207 人）	36	17	22	75

<アンケート回収表・集計表>

和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する高校生アンケート調査 回収表

回収日	県	府県	No.	学校名	ナンバリング		回収数
9月19日	1	和歌山県	1	和歌山県立橋本高等学校	4765	4952	188
9月30日	1	和歌山県	2	和歌山県立紀北工業高等学校	7149	7270	122
9月11日	1	和歌山県	3	和歌山県立紀北農芸高等学校	3698	3780	83
9月5日	1	和歌山県	4	和歌山県立笠田高等学校	883	1069	187
9月10日	1	和歌山県	5	和歌山県立粉河高等学校	3052	3284	233
9月27日	1	和歌山県	6	和歌山県立那賀高等学校	6847	7148	302
9月6日	1	和歌山県	7	和歌山県立貴志川高等学校	1378	1498	121
10月4日	1	和歌山県	8	和歌山県立和歌山北高等学校	7727	7983	257
	1	和歌山県	9	和歌山県立和歌山高等学校			
9月26日	1	和歌山県	10	和歌山県立向陽高等学校	5938	6243	306
9月9日	1	和歌山県	11	和歌山県立桐蔭高等学校	1883	2151	269
	1	和歌山県	12	和歌山県立和歌山東高等学校			
9月9日	1	和歌山県	13	和歌山県立星林高等学校	2152	2415	264
9月20日	1	和歌山県	14	和歌山県立和歌山工業高等学校	5586	5937	352
9月21日	1	和歌山県	15	和歌山県立和歌山商業高等学校	5239	5473	235
9月26日	1	和歌山県	16	和歌山県立海南高等学校	6244	6434	191
	1	和歌山県	17	和歌山県立海南高等学校大成校舎			
10月14日	1	和歌山県	18	和歌山県立海南高等学校美里分校	9153	9158	6
	1	和歌山県	19	和歌山県立箕島高等学校			
9月9日	1	和歌山県	20	和歌山県立有田中央高等学校	2416	2512	97
9月12日	1	和歌山県	21	和歌山県立有田中央高等学校清水分校	3833	3835	3
	1	和歌山県	22	和歌山県立耐久高等学校			
10月7日	1	和歌山県	23	和歌山県立日高高等学校	7984	8210	227
	1	和歌山県	24	和歌山県立日高高等学校中津分校			
9月15日	1	和歌山県	25	和歌山県立紀央館高等学校	4446	4636	191
9月9日	1	和歌山県	26	和歌山県立南部高等学校	2513	2676	164
9月11日	1	和歌山県	27	和歌山県立南部高等学校龍神分校	3781	3792	12
9月9日	1	和歌山県	28	和歌山県立田辺高等学校	2677	2973	297
10月9日	1	和歌山県	29	和歌山県立田辺工業高等学校	8383	8508	126
9月12日	1	和歌山県	30	和歌山県立神島高等学校	3836	4065	230
	1	和歌山県	31	和歌山県立熊野高等学校			
10月7日	1	和歌山県	32	和歌山県立串本古座高等学校	8211	8274	64
10月10日	1	和歌山県	33	和歌山県立新宮高等学校	8509	8702	194
9月20日	1	和歌山県	34	和歌山県立新翔高等学校	5474	5585	112
9月6日	1	和歌山県	35	和歌山市立和歌山高等学校	1499	1739	241
10月2日	1	和歌山県	36	海南市立海南下津高等学校	7349	7373	25
9月2日	1	和歌山県	37	開智高等学校	1	277	277
10月11日	1	和歌山県	38	近畿大学附属和歌山高等学校	8799	9152	354
9月10日	1	和歌山県	39	智辯学園和歌山高等学校	3285	3519	235
9月27日	1	和歌山県	40	和歌山信愛高等学校	6597	6846	250
10月2日	1	和歌山県	41	初芝橋本高等学校	7374	7429	56
9月4日	1	和歌山県	42	近畿大学附属新宮高等学校	690	814	125
9月5日	1	和歌山県	43	高野山高等学校	1070	1100	31
	1	和歌山県	44	和歌山南陵高等学校			
	1	和歌山県	45	りら創造芸術高等学校			
	2	大阪府	46	大阪府立天王寺高等学校			
10月2日	2	大阪府	47	大阪府立三国丘高等学校	7430	7518	89
	2	大阪府	48	大阪府立北野高等学校			
10月17日	2	大阪府	49	大阪府立岸和田高等学校	9459	9532	74
	2	大阪府	50	大阪府立大手前高等学校			
9月19日	2	大阪府	51	大阪府立高津高等学校	4953	5028	76

回収日	県	府県	No.	学校名	ナンバリング		回収数
	2	大阪府	52	大阪府立茨木高等学校			
	2	大阪府	53	大阪府立山本高等学校			
	2	大阪府	54	大阪府立寝屋川高等学校			
	2	大阪府	55	大阪府立生野高等学校			
	2	大阪府	56	大阪府立池田高等学校			
	2	大阪府	57	大阪府立四條畷高等学校			
	2	大阪府	58	大阪府立清水谷高等学校			
	2	大阪府	59	大阪府立淀川工科高等学校			
	2	大阪府	60	大阪府立北かわち畠が丘高等学校			
10月30日	2	大阪府	61	大阪府立久米田高等学校	9702	9748	47
9月30日	2	大阪府	62	大阪府立佐野高等学校	7271	7348	78
	2	大阪府	63	大阪府立富田林高等学校			
9月2日	2	大阪府	64	大阪府立春日丘高等学校	278	354	77
	2	大阪府	65	大阪府立槻の木高等学校			
	2	大阪府	66	大阪教育大学附属高等学校池田校舎			
	2	大阪府	67	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎			
	2	大阪府	68	大阪教育大学附属高等学校平野校舎			
10月23日	2	大阪府	69	清風南海高等学校	9613	9701	89
	2	大阪府	70	四天王寺高等学校			
9月15日	2	大阪府	71	大阪星光学院高等学校	4359	4445	87
	2	大阪府	72	高槻高等学校			
9月9日	2	大阪府	73	金蘭千里高等学校	2974	3051	78
	2	大阪府	74	清風高等学校			
9月27日	2	大阪府	75	大阪桐蔭高等学校	6435	6517	83
10月14日	2	大阪府	76	明星高等学校	9159	9243	85
10月16日	2	大阪府	77	初芝富田林高等学校	9392	9458	67
	2	大阪府	78	開明高等学校			
	2	大阪府	79	大阪学芸中等教育学校			
9月12日	2	大阪府	80	大谷高等学校	4066	4143	78
9月5日	2	大阪府	81	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	1312	1377	66
	2	大阪府	82	関西創価高等学校			
9月3日	2	大阪府	83	近畿大学附属高等学校	495	552	58
10月28日	2	大阪府	84	プール学院高等学校	9533	9612	80
9月10日	2	大阪府	85	桃山学院高等学校	3520	3604	85
	2	大阪府	86	大阪学芸高等学校			
	2	大阪府	87	大阪夕陽丘学園高等学校			
9月4日	2	大阪府	88	清教学園高等学校	815	882	68
9月12日	2	大阪府	89	大阪女学院高等学校	4144	4208	65
9月18日	2	大阪府	90	大阪体育大学浪商高等学校	4637	4689	53
	2	大阪府	91	関西大倉高等学校			
9月4日	2	大阪府	92	近畿大学泉州高等学校	626	689	64
9月3日	2	大阪府	93	常翔学園高等学校	553	625	73
10月4日	2	大阪府	94	浪速高等学校	7635	7726	92
10月14日	2	大阪府	95	上宮高等学校	9244	9328	85
	2	大阪府	96	大阪薫英女学院高等学校			
9月2日	2	大阪府	97	建国高等学校	355	401	47
9月27日	4	兵庫県	98	兵庫県立長田高等学校	6518	6596	79
	4	兵庫県	99	兵庫県立神戸高等学校			
	4	兵庫県	100	兵庫県立尼崎稲園高等学校			
9月21日	4	兵庫県	101	兵庫県立兵庫高等学校	5092	5163	72
9月12日	4	兵庫県	102	兵庫県立明石北高等学校	4209	4285	77
	4	兵庫県	103	兵庫県立明石城西高等学校			

回収日	県	府県	No.	学校名	ナンバリング		回収数
9月8日	4	兵庫県	104	兵庫県立尼崎小田高等学校	1740	1817	78
9月5日	4	兵庫県	105	兵庫県立加古川東高等学校	1101	1176	76
9月11日	4	兵庫県	106	兵庫県立豊岡高等学校	3793	3832	40
9月20日	4	兵庫県	107	西宮市立西宮高等学校	5164	5238	75
9月2日	4	兵庫県	108	西宮市立西宮東高等学校	402	494	93
	4	兵庫県	109	神戸大学附属中等教育学校			
	4	兵庫県	110	甲陽学院高等学校			
9月13日	4	兵庫県	111	神戸女学院高等学部	4286	4358	73
	4	兵庫県	112	白陵高等学校			
	4	兵庫県	113	須磨学園高等学校			
	4	兵庫県	114	六甲学院高等学校			
	4	兵庫県	115	灘高等学校			
	4	兵庫県	116	神戸海星女子学院高等学校			
9月5日	4	兵庫県	117	淳心学院高等学校	1177	1247	71
	4	兵庫県	118	関西学院高等部			
	4	兵庫県	119	近畿大学附属豊岡高等学校			
	4	兵庫県	120	甲南高等学校			
10月7日	4	兵庫県	121	甲南女子高等学校	8275	8304	30
	4	兵庫県	122	小林聖心女子学院高等学校			
	4	兵庫県	123	三田学園高等学校			
	4	兵庫県	124	武庫川女子大学附属高等学校			
9月19日	3	京都府	125	京都府立東稜高等学校	5029	5091	63
	3	京都府	126	京都府立西乙訓高等学校			
10月14日	3	京都府	127	京都府立宮津高等学校	9329	9391	63
	3	京都府	128	京都府立洛西高等学校			
	3	京都府	129	京都市立西京高等学校			
10月7日	3	京都府	130	京都市立堀川高等学校	8305	8382	78
	3	京都府	131	京都教育大学附属高等学校			
9月8日	3	京都府	132	京都女子高等学校	1818	1882	65
10月2日	3	京都府	133	京都光華高等学校	7519	7553	35
	3	京都府	134	同志社高等学校			
	3	京都府	135	同志社女子高等学校			
	3	京都府	136	東山高等学校			
10月2日	3	京都府	137	洛星高等学校	7554	7634	81
9月10日	3	京都府	138	洛南高等学校	3605	3697	93
	3	京都府	139	立命館高等学校			
	5	奈良県	140	奈良県立奈良高等学校			
	5	奈良県	141	奈良県立畝傍高等学校			
9月18日	5	奈良県	142	奈良県立平城高等学校	4690	4764	75
	5	奈良県	143	西大和学園高等学校			
	5	奈良県	144	東大寺学園高等学校			
10月11日	5	奈良県	145	奈良学園高等学校	8703	8798	96
	5	奈良県	146	帝塚山高等学校			
	5	奈良県	147	智辯学園奈良カレッジ高等部			
9月5日	5	奈良県	148	智辯学園高等学校	1248	1311	64
	5	奈良県	149	奈良学園登美ヶ丘高等学校			
82校					計		9748

網掛けは私立高校

和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する高校生アンケート調査

集 計 表

〔有効回答票：9,748 票〕

問 1 あなたがお住まいの府県についてお尋ねします。

	人数	%
1 和歌山県	6,080	62.4
2 大阪府	2,116	21.7
3 京都府	381	3.9
4 兵庫県	830	8.5
5 奈良県	230	2.4
6 その他	91	0.9
不明	20	0.2
合 計	9,748	100.0

〔「6 その他」の回答〕

三重県 41人	北海道(以下1人)	東京都
滋賀県 29人	中華人民共和国	愛知県
広島県 2人	群馬県	埼玉県
沖縄県 2人	岩手県	石川県

問 2 あなたが現在高等学校において学習しているコースは、次のうち、どれに最も近い
ですか。

	人数	%
1 文系（国語・社会などの科目を多く学習する）コース	2,844	29.2
2 理系（数学・理科などの科目を多く学習する）コース	4,385	45.0
3 専門（農業・工業・商業・情報・水産・家庭・看護・福祉・音楽・体育・美術・英語）コース	1,677	17.2
4 上のいずれでもないコース（例「理系・文系に分かれていない」など）	818	8.4
不明	24	0.2
合 計	9,748	100.0

問 3 あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。

	人数	%
1 大学進学	7,115	73.0
2 短期大学進学	182	1.9
3 専門学校進学	1,000	10.3
4 就 職	1,290	13.2
5 その他	128	1.3
不明	33	0.3
合 計	9,748	100.0

(「5 その他」の回答)

未定 34人	特に決めてない	6年制大学(薬学部)
まだ決めていない 7人	就職か進学どちらか	6年制大学
決めていない 4人	公務員	まだ決めていません
考えていない 2人	まだわからない	特に決めていない
まだ決めていない 2人	多分、海外	まだ決めてない
悩んでいる 2人	パート・アルバイト(仕事)	決めてない
まだ決めていない 2人	決めていません	バレー留学
決めていない 2人	特に決めてない	まだはっきりしていない
決めてない(以下1人)	まだ未定です	無職
わからない	海外留学	マクドのクルー
公務員試験	進路をまだ決めていない	ニート
演劇学校	家業	決めていない
自営業	大学か就職決めてない	迷っている
海外へ行く	アルバイト	韓国芸術総合学校に進学したい
親の会社を継ぐ	プロボクシング	
進学したいと考えているが目標やどんなことを勉強したいか決めていない		
進学したいがお金がなく、就職にもやりたい事がない		
大学か専門学校どちらに進学するか迷っている		

(問 4 以降は、問 3 で「1 大学進学」7,115 人、「2 短期大学進学」182 人、「3 専門学校進学」1,000 人と回答した 8,297 人による回答)

問 4 あなたが進学を希望する地域はどこですか。

	第 1 希望		第 2 希望	
	人数	%	人数	%
1 和歌山県	1,517	18.3	1,046	12.6
2 大阪府	3,369	40.6	2,648	31.9
3 京都府	800	9.6	1,092	13.2
4 兵庫県	542	6.5	920	11.1
5 奈良県	66	0.8	183	2.2
6 東京都	341	4.1	447	5.4
7 進学したい学校なら地域は問わない	1,244	15.0	976	11.8
8 その他	367	4.4	315	3.8
不明	51	0.6	670	8.1
合 計	8,297	100.0	8,297	100.0

(「8 その他」の回答)

第 1 希望				(単位：人)	
北海道	31	近畿圏	2	佐賀県	1
愛知県	29	台湾	2	岩手県	1
岡山県	16	近畿圏内	2	愛媛県	1
神奈川県	15	茨城県、千葉県	2	滋賀県、愛知県	1
滋賀県	15	九州	2	埼玉県、滋賀県	1
広島県	14	オーストラリア	2	四国・中国地方	1
三重県	14	岐阜県	2	関西地区	1
近畿	12	関西圏	1	中部～中国・四国地方	1
埼玉県	9	四国・九州	1	2, 3, 4 で迷う。	1
福岡県	8	都会の	1	長崎県	1
名古屋	7	近畿地方の中	1	USC、UCLA	1
静岡県	7	和歌山以外	1	関西圏内	1
韓国	6	家から通える地域	1	神奈川県、茨城県	1
茨城県	6	長野県	1	岡山県、九州	1
近畿地方	6	宮城県仙台市	1	愛知県、神奈川県	1
千葉県	5	宮城県、愛知県	1	東海	1
宮城県	4	九州、福岡県	1	岡山県、広島県	1
鳥取県	4	北陸、甲信越	1	東京	1
関西	4	大分県	1	滋賀県・山口県	1
石川県	4	茨城県、静岡県	1	近畿、中部、東海、北陸地方	1
近畿内	4	広島県、岡山県	1	北海道大学	1
徳島県	3	長崎	1	神奈川県・広島県	1
アメリカ	3	香川県、沖縄県	1	未定	1
関東	3	鳥取県、岡山県	1	名古屋大学	1
海外	3	高知県	1	秋田県、新潟県	1
東京都	3	東海地方	1	山口県・栃木県	1
山口県	3	高知県、山口県	1	四国地方	1
鳥取県、岐阜県	2	沖縄	1	三重県、広島県	1
外国	2	国外	1	近畿地方ならどこでも良い	1
栃木県	2	北海道、九州方面	1	近畿圏ならどこでも。	1

三重県津市	1	関東、東海	1	近畿ならどこでも	1
静岡県、岡山県	1	秋田県	1	アメリカ テキサス州	1
沖縄県	1	富山県	1	進学はしたいが大学は決まっていない	1
関西以外	1	新潟県	1	アメリカ、イギリス	1
北大志望	1	愛知県、広島県	1		
第2希望					(単位：人)
滋賀県	22	アメリカ	2	岡山大	1
岡山県	22	埼玉県	2	台湾の中山大学	1
愛知県	18	草津	1	山口県	1
北海道	14	栃木県	1	第2希望はまだ決めていない	1
近畿	11	京都府	1	山口県、徳島県	1
三重県	10	わからない	1	中国・四国地方	1
千葉県	9	和歌山以外	1	四国・中国	1
神奈川県	7	宮城県	1	救急救命の学科があるところ	1
近畿地方	7	地方国公立	1	関東、都内近郊	1
関東	6	近畿内	1	鳥取県、島根県	1
広島県	6	近畿の中なら	1	自宅から通えるなら場所は問わない	1
沖縄県	5	金沢	1	近く	1
鳥取県	5	近畿外	1	自宅から通学できる範囲	1
静岡県	5	九州	1	東北、北海道	1
近畿圏内	4	近畿、奈良	1	関東・東北地方	1
福岡県	4	青森県	1	九州、中国、四国地方	1
関東地方	4	福島県	1	ソウル	1
徳島県	3	九州地方、福岡県	1	大阪府から通える範囲	1
関西	3	宮城県仙台市	1	関西圏ならどこでも。	1
中国地方	3	熊本県	1	和歌山県外	1
石川県	3	島根県	1	韓国	1
近畿圏	2	決まっていない	1	本州	1
東京都	2	東北大学	1	家から通学できる範囲	1
関西圏	2	岡山県、兵庫県	1	茨城県	1
海外	2	近畿より東の地域	1	石川県、神奈川県	1
東北	2	広島県、岡山県	1	和歌山県	1
新潟県	2	名の通った大学	1	近畿地方もしくは愛知県	1
福井県	2	広島県や神奈川県	1	海外（ヨーロッパなど）	1
長崎県	2	和歌山県以外	1	家族と一緒に生活出来る範囲	1
岐阜県	2	石川県金沢市	1	千葉県、埼玉県、神奈川県	1
名古屋	2	千葉県、神奈川県	1		

問5 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。(複数回答)

	人数	%
1 教育内容	3,940	47.5
2 教育体制・教員組織	754	9.1
3 取得可能資格・免許	2,773	33.4
4 就職指導・キャリア教育	461	5.6
5 就職実績・大学院等進学実績	1,525	18.4
6 入試難易度・自分の学力	3,593	43.3
7 入試方法・入試科目	928	11.2
8 設置形態(国公立の別)	360	4.3
9 学費等のコスト面	2,100	25.3
10 補習授業・生活指導等の学生支援	104	1.3
11 立地場所	2,156	26.0
12 施設・設備等の教育研究環境	1,371	16.5
13 世間での評判	1,015	12.2
14 自分の性格・適性	1,750	21.1
15 担任や進路指導教員の意見	163	2.0
16 家族(親や兄弟姉妹)の意見	784	9.4
17 現役大学生や卒業生等の意見	300	3.6
18 その他	70	0.8
不明	63	0.8
合計	8,297	100.0

複数回答のため合計は100%にならない

(「18 その他」の回答)

研究室 2人	自分	直感的に
部活動 2人	自分のやる気	部活
1~17 全部(以下1人)	自分の気持ち	海外留学制度
キャンパスの雰囲気	自分の将来のため	友達ほしい。
クラブ	自分の夢	陸上が強いところ
コネ	実習の多さ	留学、国際交流
サークルの種類	社会へ出てからの収入	留学制度
スポーツ	興味	やりたいことができる学校であるか
ミスコン	習い事の先生	一人暮らしが出来る場所
研究内容	塾の先生	一人暮らしできるかどうか。
国際性	塾講師の意見	周りの環境。コンビニが多いとか。
自宅からの距離	女子校	将来なりたい職業になれる確証があるか
家からの距離	将来性金銭的	興味ある分野の研究実績
家から通える	進路との併行	決まっていない。考えている
家から通えるか	海外大学との関係	

問6 あなたは「和歌山県立医科大学 薬学部薬学科」への進学を希望しますか。

	人数	%
1 進学したい	200	2.4
2 併願大学の結果によっては進学したい	227	2.7
3 とりあえず受験してみたい	475	5.7
4 進学を希望しない	7,310	88.1
不明	85	1.0
合 計	8,297	100.0

「2 併願大学の結果によっては進学したい」を回答した方は、併願先として検討中の大学・学部を次の中からお答えください。(複数回答)

	人数	%
1 他の国公立大学の薬学部	89	39.2
2 私立大学の薬学部	51	22.5
3 他の国公立大学の医学・歯学系の学部	64	28.2
4 私立大学の医学・歯学系の学部	13	5.7
5 その他	20	8.8
不明	59	26.0
合 計	227	100.0

複数回答のため合計は100%にならない

(「5 その他」の回答)

看護(各1人ずつ)	国公立大学看護学部	他の国公立大学の看護学部
工学	国立、理工	他の国公立大学の工学部
国公立の理系の学部	生物学部	国公立大学の工学部
国公立大学	大阪府立大学獣医	和歌山県立医科大学医学部医学科
分かん	防衛大学	

〔参 考〕 高校ごとの進学希望者（回答のあった高校のみ）

問6 和歌山県立医科大学薬学部薬学科 への進学希望 単位：人	進学したい	併願大学の結 果によっては 進学したい	とりあえず受 験してみたい	合 計
全 体	200	227	475	902
1 和歌山県立橋本高等学校	6	1	4	11
2 和歌山県立紀北工業高等学校	1	-	1	2
3 和歌山県立紀北農芸高等学校	1	-	1	2
4 和歌山県立笠田高等学校	3	-	5	8
5 和歌山県立粉河高等学校	8	4	10	22
6 和歌山県立那賀高等学校	10	1	8	19
7 和歌山県立貴志川高等学校	1	1	2	4
8 和歌山県立和歌山北高等学校	4	1	11	16
10 和歌山県立向陽高等学校	8	7	16	31
11 和歌山県立桐蔭高等学校	15	10	29	54
13 和歌山県立星林高等学校	9	-	2	11
14 和歌山県立和歌山工業高等学校	5	3	3	11
15 和歌山県立和歌山商業高等学校	6	-	14	20
16 和歌山県立海南高等学校	7	-	19	26
18 和歌山県立海南高等学校美里分校	-	-	-	-
20 和歌山県立有田中央高等学校	1	-	2	3
21 和歌山県立有田中央高等学校清水分校	-	-	-	-
23 和歌山県立日高高等学校	6	2	8	16
25 和歌山県立紀央館高等学校	2	1	1	4
26 和歌山県立南部高等学校	2	-	3	5
27 和歌山県立南部高等学校龍神分校	-	-	-	-
28 和歌山県立田辺高等学校	12	5	8	25
29 和歌山県立田辺工業高等学校	-	-	-	-
30 和歌山県立神島高等学校	1	1	9	11
32 和歌山県立串本古座高等学校	-	-	-	-
33 和歌山県立新宮高等学校	7	2	2	11
34 和歌山県立新翔高等学校	3	1	2	6
35 和歌山市立和歌山高等学校	5	1	6	12
36 海南市立海南下津高等学校	-	-	-	-
37 開智高等学校	6	7	15	28
38 近畿大学附属和歌山高等学校	13	8	32	53
39 智辯学園和歌山高等学校	6	12	21	39
40 和歌山信愛高等学校	3	4	28	35
41 初芝橋本高等学校	-	1	3	4
42 近畿大学附属新宮高等学校	2	1	3	6
43 高野山高等学校	-	1	1	2
47 大阪府立三国丘高等学校	1	9	8	18
49 大阪府立岸和田高等学校	1	3	6	10
51 大阪府立高津高等学校	1	2	5	8
61 大阪府立久米田高等学校	-	-	2	2
62 大阪府立佐野高等学校	-	-	1	1
64 大阪府立春日丘高等学校	1	3	8	12

問6 和歌山県立医科大学薬学部薬学科 への進学希望 単位：人	進学したい	併願大学の結 果によっては 進学したい	とりあえず受 験してみたい	合 計
69 清風南海高等学校	-	8	5	13
71 大阪星光学院高等学校	1	2	5	8
73 金蘭千里高等学校	1	6	8	15
75 大阪桐蔭高等学校	-	10	7	17
76 明星高等学校	3	4	7	14
77 初芝富田林高等学校	-	2	8	10
80 大谷高等学校	3	7	6	16
81 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	1	4	5	10
83 近畿大学附属高等学校	1	4	5	10
84 プール学院高等学校	1	1	1	3
85 桃山学院高等学校	-	5	7	12
88 清教学園高等学校	2	3	5	10
89 大阪女学院高等学校	-	3	11	14
90 大阪体育大学浪商高等学校	-	-	3	3
92 近畿大学泉州高等学校	3	1	9	13
93 常翔学園高等学校	1	5	2	8
94 浪速高等学校	1	2	10	13
95 上宮高等学校	1	3	5	9
97 建国高等学校	2	3	1	6
98 兵庫県立長田高等学校	1	-	2	3
101 兵庫県立兵庫高等学校	-	1	2	3
102 兵庫県立明石北高等学校	1	1	2	4
104 兵庫県立尼崎小田高等学校	-	4	6	10
105 兵庫県立加古川東高等学校	-	2	1	3
106 兵庫県立豊岡高等学校	-	-	-	-
107 西宮市立西宮高等学校	-	3	5	8
108 西宮市立西宮東高等学校	3	3	5	11
111 神戸女学院高等学部	2	9	11	22
117 淳心学院高等学校	1	6	6	13
121 甲南女子高等学校	-	1	1	2
125 京都府立東稜高等学校	-	-	1	1
127 京都府立宮津高等学校	-	-	-	-
130 京都市立堀川高等学校	1	4	1	6
132 京都女子高等学校	1	9	5	15
133 京都光華高等学校	-	-	1	1
137 洛星高等学校	2	3	3	8
138 洛南高等学校	6	4	1	11
142 奈良県立平城高等学校	3	2	6	11
145 奈良学園高等学校	-	6	3	9
148 智辯学園高等学校	1	4	4	9

<アンケート調査票>

和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する高校生アンケート調査票

和歌山県立医科大学では、県内における薬剤師不足の解消を図るとともに、今後の地域における医療の充実を図るため、令和3年4月に薬学部を設置する準備を進めています。薬学部では、高い実践能力を有し地域で活躍できる薬剤師を育成するとともに、国際的にも活躍できる薬剤師を育成すること目指しています。

このアンケート調査は、高校生の皆様の高校卒業後の進路等に関する意向や設置準備中の薬学部への興味・関心等についてお聞きし、今後の計画推進の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用することはありません。

【和歌山県立医科大学 薬学部（設置構想中）の概要】 ※いずれも予定であり変更する可能性があります。

1. 名 称 薬学部 薬学科
2. 開設時期 令和3年（2021年）4月
3. 入学定員 100人
4. 修業年限 6年制
5. 資格・免許 薬剤師国家試験受験資格
6. 立地場所 伏虎キャンパス

（アクセス）伏虎キャンパス：旧和歌山市立伏虎中学校跡地（和歌山県和歌山市七番丁）

- JR和歌山駅よりバスで「公園前」下車徒歩2分
- 南海電鉄和歌山市駅より徒歩12分

7. 学 費 入学金 282,000円（和歌山県外生は564,000円）
授業料 535,800円

※本学周辺で薬学が学べる国公立大学（参考）：京都大学（薬学部）、大阪大学（薬学部）

（回答は設問の順に、該当する番号を回答欄に直接記入してください。）

【回答欄】

問1 あなたがお住まいの府県についてお尋ねします。次の中から 1つだけ 選んでください。

- | | | |
|--------|-------------|--|
| 1 和歌山県 | 4 兵庫県 | |
| 2 大阪府 | 5 奈良県 | |
| 3 京都府 | 6 その他（具体的に） | |

問2 あなたが現在高等学校において学習しているコースは、次のうち、どれに最も近いですか。最も近いものを 1つだけ 選んでください。

- 1 文系（国語・社会などの科目を多く学習する）コース
- 2 理系（数学・理科などの科目を多く学習する）コース
- 3 専門（農業・工業・商業・情報・水産・家庭・看護・福祉・音楽・体育・美術・英語）コース
- 4 上のいずれでもないコース（例「理系・文系に分かれていない」など）

問3 あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。次の中から 1つだけ 選んでください。

- | | | |
|-------------|---|-----------------------------------|
| 1 大学進学 | } | 問4以降へお進みください。 |
| 2 短期大学進学 | | |
| 3 専門学校進学 | | |
| 4 就職 | } | これでアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。 |
| 5 その他（具体的に） | | |

（裏面に続く）

【問4以降は、問3で「1」「2」「3」のいずれかを選択した方におたずねします。】

問4 あなたが進学を希望する地域はどこですか。次の中から **第2希望まで** 選んでください。

- | | | | |
|--------|--------------------|----------------------|----------------------|
| 1 和歌山県 | 5 奈良県 | 第1希望 | 第2希望 |
| 2 大阪府 | 6 東京都 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 3 京都府 | 7 進学したい学校なら地域は問わない | | |
| 4 兵庫県 | 8 その他（具体的に | | |
| | ） | | |

問5 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から **3つまで** 選んでください。

- | | | |
|-----------------|--------------------|----------------------|
| 1 教育内容 | 10 補習授業・生活指導等の学生支援 | <input type="text"/> |
| 2 教育体制・教員組織 | 11 立地場所 | |
| 3 取得可能資格・免許 | 12 施設・設備等の教育研究環境 | |
| 4 就職指導・キャリア教育 | 13 世間での評判 | |
| 5 就職実績・大学院等進学実績 | 14 自分の性格・適性 | |
| 6 入試難易度・自分の学力 | 15 担任や進路指導教員の意見 | |
| 7 入試方法・入試科目 | 16 家族（親や兄弟姉妹）の意見 | |
| 8 設置形態（国公立の別） | 17 現役大学生や卒業生等の意見 | |
| 9 学費等のコスト面 | 18 その他（具体的に | |
| | ） | |

問6 あなたは「和歌山県立医科大学 薬学部薬学科」への進学を希望しますか。次の中から **1つだけ** 選んでください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 進学したい | <input type="text"/> |
| 2 併願大学の結果によっては進学したい | |
| 3 とりあえず受験してみたい | |
| 4 進学を希望しない | |

「2」と回答した方は下記の問いへ

「2 併願大学の結果によっては進学したい」を回答した方は、併願先として検討中の大学・学部を次の中からお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---------------------|
| 1 他の国公立大学の薬学部 |
| 2 私立大学の薬学部 |
| 3 他の国公立大学の医学・歯学系の学部 |
| 4 私立大学の医学・歯学系の学部 |
| 5 その他（ |
| ） |

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***

国立大学

2019年（平成31年・令和元年）度の入学試験・6年制学科生の修学状況

大学名	2019年度入学定員		2019年度合格者数等				2019年度倍率・充足率		6年制学科の修学状況															2018年度卒業生入学年度別分布（6年制）					国家試験合格状況						
	入学定員	6年制・4年制一括募集の場合の4年制学科の入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質競争倍率（受験者数/合格者数）	入学定員充足率（入学者数/入学定員）	2013年度入学生							2014年度入学生					2015年度入学生			2013年度	2012年度	2011年度	その他	計	出願者	受験者	合格者	合格率			
									2013年度入学時	2017年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	卒業者数	卒業率	国家試験合格者数	合格率	2014年度入学時	2018年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	2015年度入学時										2019年度5年次※3	5年次進級率	
1 北海道大学 ※1	—	80	50	252	112	27	25	—	—	—	27	—	27	—	27	—	26	—	—	28	—	28	—	—	30	—	27	0	0	0	27	27	27	26	96.3%
2 東北大学	—	80	80	270	226	87	87	2.6	108.8%	—	19	—	19	—	19	—	18	—	—	21	—	21	—	—	19	—	19	0	0	0	19	19	19	18	94.7%
3 千葉大学	—	90	30	595	481	106	90	4.5	100.0%	—	40	—	40	—	40	—	37	—	—	40	—	40	—	—	40	—	40	0	0	0	40	40	40	37	92.5%
4 東京大学 ※2 （理科Ⅱ類）	—	532	72	2,098	1,864	558	550	3.3	103.4%	—	8	—	7	—	6	—	6	—	—	8	—	8	—	—	8	—	7	0	0	0	7	7	7	7	100.0%
5 富山大学	6年制	55	—	469	353	62	59	5.7	107.3%	59	49	83.1%	49	83.1%	49	83.1%	44	74.6%	60	52	86.7%	51	85.0%	56	47	83.9%	50	5	0	0	55	55	54	47	87.0%
	4年制	50	—	153	130	62	55	2.1	110.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6 金沢大学	—	75	40	196	179	81	73	2.2	97.3%	—	35	—	35	—	35	—	34	—	—	35	—	35	—	—	36	—	35	1	0	0	36	36	36	35	97.2%
7 京都大学	—	80	85	196	189	87	86	2.2	107.5%	31	31	100.0%	27	87.1%	26	83.9%	26	83.9%	31	30	96.8%	30	96.8%	30	29	96.7%	26	1	0	1	28	28	28	28	100.0%
8 大阪大学	6年制	80	—	285	242	85	85	2.8	106.3%	25	24	96.0%	24	96.0%	24	96.0%	22	88.0%	29	27	93.1%	27	93.1%	27	23	85.2%	25	1	0	1	27	26	26	23	88.5%
	4年制	40	—	219	167	44	41	3.8	102.5%	40	39	97.5%	38	95.0%	38	95.0%	35	87.5%	40	35	87.5%	35	87.5%	42	41	97.6%	38	3	1	1	43	43	43	39	90.7%
9 岡山大学	6年制	40	—	95	57	46	40	1.2	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4年制	40	—	207	186	41	41	4.5	107.9%	38	38	100.0%	36	94.7%	34	89.5%	32	84.2%	39	37	94.9%	32	82.1%	39	37	94.9%	34	2	1	0	37	36	36	33	91.7%
10 広島大学	6年制	22	—	49	45	25	24	1.8	109.1%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4年制	40	—	233	203	47	44	4.3	110.0%	—	40	—	40	—	40	—	39	—	—	42	—	42	—	—	42	—	40	0	0	0	40	40	40	39	97.5%
11 徳島大学	6年制	40	—	253	153	72	45	2.1	112.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4年制	40	—	112	84	31	30	2.7	100.0%	30	28	93.3%	28	93.3%	28	93.3%	28	93.3%	30	26	86.7%	26	86.7%	30	28	93.3%	28	2	0	1	31	32	32	32	100.0%
12 九州大学	6年制	49	—	132	96	55	52	1.7	106.1%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4年制	40	—	282	139	43	40	3.2	100.0%	41	40	97.6%	38	92.7%	38	92.7%	38	92.7%	42	41	97.6%	38	90.5%	40	39	97.5%	38	2	2	2	44	40	40	40	100.0%
13 長崎大学	6年制	40	—	181	116	65	42	1.8	105.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4年制	40	—	330	320	61	60	5.2	109.1%	57	49	86.0%	48	84.2%	45	78.9%	41	71.9%	58	55	94.8%	54	93.1%	57	52	91.2%	45	5	0	0	50	52	49	45	91.8%
14 熊本大学	6年制	35	—	130	120	41	38	2.9	108.6%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4年制	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

公立大学

大学名	2019年度入学定員		2019年度合格者数等				2019年度倍率・充足率		6年制学科の修学状況															2018年度卒業生入学年度別分布（6年制）					国家試験合格状況							
	入学定員	6年制・4年制一括募集の場合の4年制学科の入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質競争倍率（受験者数/合格者数）	入学定員充足率（入学者数/入学定員）	2013年度入学生							2014年度入学生					2015年度入学生			2013年度	2012年度	2011年度	その他	計	出願者	受験者	合格者	合格率				
									2013年度入学時	2017年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	卒業者数	卒業率	国家試験合格者数	合格率	2014年度入学時	2018年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	2015年度入学時										2019年度5年次※3	5年次進級率		
15 岐阜薬科大学	6年制	120	—	1,152	771	199	132	3.9	110.0%	85	64	75.3%	64	75.3%	63	74.1%	61	71.8%	79	62	78.5%	62	78.5%	81	63	77.8%	63	5	2	0	70	70	70	66	94.3%	
16 静岡県立大学	6年制	80	—	791	568	115	85	4.9	106.3%	—	80	—	80	—	80	—	79	—	—	81	—	81	—	—	80	—	80	0	0	0	80	80	80	79	98.8%	
	4年制	40	—	319	234	70	44	3.3	110.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17 名古屋市立大学	6年制	60	—	801	551	109	66	5.1	110.0%	86	80	93.0%	76	88.4%	73	84.9%	70	81.4%	67	59	88.1%	55	82.1%	69	62	89.9%	73	7	0	0	80	80	80	74	92.5%	
	4年制	40	—	414	294	72	47	4.1	117.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18 山口東京理科大学	6年制	120	—	1,103	764	240	145	3.2	120.8%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1 平成23年度から北海道大学は総合入試を導入しており、平成30年度合格者数等欄は学部別入試分（6年制・4年制一括で募集数24人）に対するものであるほか、倍率・充足率は算出しません。

※2 東京大学の入学定員欄には理科Ⅱ類の募集数を記載している。薬学部の入学定員は80。

※3 5年次進級率の算出に当たっては、留年・休学者と編入学者を除いている。

※4 2019年国家試験（第104回）の出願者・受験者・合格者は新卒者のみの数値であり、合格率は受験者に対する率である。

2019年（平成31年・令和元年）度の入学試験・6年制学科生の修学状況

私立大学

大学名	2019年度入学定員		2019年度合格者数等				2019年度倍率・充足率		6年制学科の修学状況															2018年度卒業生入学年度別分布(6年制)					国家試験合格状況					
	入学定員	6年制・4年制一括募集の場合の4年制学科の入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質競争倍率(受験者数/合格者数)	入学定員充足率(入学定員/入学者数)	2013年度入学生							2014年度入学生					2015年度入学生			2013年度	2012年度	2011年度	その他	計	出願者	受験者	合格者	合格率		
									2013年度入学時	2017年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	卒業者数	卒業率	国家試験合格者数	合格率	2014年度入学時	2018年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	2015年度入学時										2019年度5年次※3	5年次進級率
19 北海道医療大学	6年制	160	727	703	427	165	1.6	103.1%	186	134	72.0%	134	72.0%	120	64.5%	111	59.7%	176	112	63.6%	112	63.6%	175	110	62.9%	123	31	7	8	169	162	138	125	90.6%
20 北海道科学大学	6年制	180	995	957	620	189	1.5	105.0%	229	168	73.4%	143	62.4%	148	64.6%	124	54.1%	232	170	73.3%	169	72.8%	226	172	76.1%	148	4	5	1	158	183	158	129	81.6%
21 青森大学	6年制	70	114	99	82	54	1.2	77.1%	56	31	55.4%	30	53.6%	26	46.4%	20	35.7%	59	17	28.8%	17	28.8%	60	27	45.0%	34	7	1	3	45	34	34	25	73.5%
22 岩手医科大学	6年制	120	183	178	140	48	1.3	40.0%	187	105	56.1%	104	55.6%	78	41.7%	62	33.2%	190	124	65.3%	124	65.3%	159	91	57.2%	78	21	10	7	116	144	83	65	78.3%
23 東北医科薬科大学	6年制	300	1,009	908	559	305	1.6	101.7%	326	229	70.2%	228	69.9%	219	67.2%	206	63.2%	318	238	74.8%	238	74.8%	313	233	74.4%	219	42	14	6	281	293	266	242	91.0%
	4年制	40	74	70	48	15	1.5	37.5%																										
24 医療創生大学	6年制	90	397	387	368	57	1.1	63.3%	59	26	44.1%	26	44.1%	20	33.9%	20	33.9%	83	30	36.1%	30	36.1%	96	31	32.3%	22	7	4	0	33	40	33	29	87.9%
25 奥羽大学	6年制	140	241	235	161	101	1.5	72.1%	125	84	67.2%	84	67.2%	61	48.8%	31	24.8%	118	79	66.9%	79	66.9%	86	68	79.1%	62	3	0	0	65	100	64	32	50.0%
26 国際医療福祉大学	6年制	180	990	967	449	186	2.2	103.3%	197	148	75.1%	148	75.1%	139	70.6%	137	69.5%	197	135	68.5%	135	68.5%	197	130	66.0%	139	27	16	6	188	150	150	146	97.3%
27 高崎健康福祉大学	6年制	90	431	417	194	95	2.1	105.6%	98	74	75.5%	74	75.5%	65	66.3%	59	60.2%	100	81	81.0%	81	81.0%	98	74	75.5%	65	12	6	2	85	79	68	60	88.2%
28 城西大学	6年制	250	1,317	1,200	721	227	1.7	90.8%	374	209	55.9%	207	55.3%	196	52.4%	135	36.1%	327	169	51.7%	168	51.4%	290	162	55.9%	196	40	11	8	255	256	224	144	64.3%
	4年制	150	533	499	340	125	1.5	83.3%																										
29 日本薬科大学	6年制	260	1,313	1,237	729	250	1.7	96.2%	330	155	47.0%	155	47.0%	115	34.8%	101	30.6%	283	151	53.4%	151	53.4%	279	155	55.6%	115	35	5	11	166	135	118	103	87.3%
	4年制	90	322	303	154	103	2.0	114.4%																										
30 城西国際大学	6年制	130	419	390	309	101	1.3	77.7%	167	55	32.9%	55	32.9%	52	31.1%	43	25.7%	167	74	44.3%	74	44.3%	166	101	60.8%	52	6	2	3	63	70	59	47	79.7%
31 千葉科学大学	6年制	120	289	269	263	61	1.0	50.8%	120	78	65.0%	76	63.3%	61	50.8%	47	39.2%	142	84	59.2%	75	52.8%	179	70	39.1%	62	9	8	4	83	73	68	49	72.1%
32 帝京平成大学	6年制	240	2,386	2,196	549	210	4.0	87.5%	253	199	78.7%	199	78.7%	160	63.2%	123	48.6%	242	195	80.6%	195	80.6%	248	194	78.2%	160	68	10	3	241	167	167	125	74.9%
33 東京理科大学	6年制	100	2,155	1,991	552	82	3.6	82.0%	94	88	93.6%	88	93.6%	85	90.4%	80	85.1%	109	94	86.2%	94	86.2%	102	95	93.1%	88	5	0	2	95	92	92	87	94.6%
	4年制	100	1,278	1,198	498	95	2.4	95.0%																										
34 東邦大学	6年制	220	1,900	1,814	566	239	3.2	108.6%	235	196	83.4%	195	83.0%	186	79.1%	177	75.3%	258	207	80.2%	205	79.5%	238	203	85.3%	186	31	11	1	229	215	204	193	94.6%
35 日本大学	6年制	244	1,873	1,692	594	259	2.8	106.1%	272	212	77.9%	210	77.2%	186	68.4%	160	58.8%	251	220	87.6%	219	87.3%	261	223	85.4%	186	45	12	5	248	201	201	169	84.1%
36 北里大学	6年制	260	2,176	2,107	542	273	3.9	105.0%	259	237	91.5%	236	91.1%	235	90.7%	213	82.2%	260	240	92.3%	240	92.3%	265	240	90.6%	236	7	1	0	244	246	243	219	90.1%
	4年制	35	356	353	144	35	2.5	100.0%																										
37 慶應義塾大学	6年制	150	1,653	1,479	351	151	4.2	100.7%	161	139	86.3%	139	86.3%	136	84.5%	129	80.1%	160	142	88.8%	142	88.8%	150	137	91.3%	142	9	2	1	154	157	154	144	93.5%
	4年制	60	630	589	231	61	2.5	101.7%																										
38 昭和大学	6年制	200	1,754	1,693	433	200	3.9	100.0%	232	209	90.1%	207	89.2%	187	80.6%	159	68.5%	188	162	86.2%	162	86.2%	198	163	82.3%	187	19	3	2	211	220	195	164	84.1%
39 昭和薬科大学	6年制	240	2,541	2,222	785	248	2.8	103.3%	245	170	69.4%	169	69.0%	164	66.9%	145	59.2%	245	174	71.0%	168	68.6%	255	210	82.4%	164	33	15	1	213	208	201	169	84.1%
40 東京薬科大学	6年制	420	2,821	2,597	815	414	3.2	98.6%	517	433	83.8%	433	83.8%	409	79.1%	362	70.0%	401	329	82.0%	328	81.8%	457	362	79.2%	409	49	17	11	486	509	463	400	86.4%
41 星薬科大学	6年制	260	3,382	3,240	744	301	4.4	115.8%	261	245	93.9%	244	93.5%	233	89.3%	222	85.1%	278	258	92.8%	258	92.8%	286	268	93.7%	233	14	11	1	259	258	242	231	95.5%
	4年制	20	346	338	125	21	2.7	105.0%																										
42 武蔵野大学	6年制	160	3,550	3,323	379	140	8.8	87.5%	157	130	82.8%	130	82.8%	120	76.4%	104	66.2%	157	126	80.3%	125	79.6%	145	117	80.7%	120	27	6	0	153	146	132	113	85.6%
43 明治薬科大学	6年制	300	3,208	2,833	620	308	4.6	102.7%	333	288	86.5%	288	86.5%	269	80.8%	250	75.1%	325	278	85.5%	277	85.2%	326	289	88.7%	275	28	4	1	308	320	291	269	92.4%
	4年制	60	662	599	251	66	2.4	110.0%																										
44 帝京大学	6年制	320	3,326	2,981	611	364	4.9	113.8%	327	230	70.3%	230	70.3%	216	66.1%	198	60.6%	324	248	76.5%	248	76.5%	324	232	71.6%	216	25	5	4	250	259	250	226	90.4%
45 横浜薬科大学	6年制	340	2,929	2,782	797	366	3.5	107.6%	383	182	47.5%	181	47.3%	159	41.5%	121	31.6%	391	234	59.8%	233	59.6%	371	245	66.0%	160	70	29	36	295	246	245	154	62.9%
	4年制	30	261	241	116	32	2.1	106.7%																										
46 新潟薬科大学	6年制	180	360	346	310	131	1.1	72.8%	208	147	70.7%	146	70.2%	137	65.9%	102	49.0%	178	127	71.3%	127	71.3%	184	123	66.8%	138	22	6	3	169	167	148	108	73.0%
47 北陸大学	6年制	200	532	516	471	127	1.1	63.5%	290	116	40.0%	116	40.0%	115	39.7%	101	34.8%	249	123	49.4%	123	49.4%	151	81	53.6%	115	17	1	6	139	140	139	106	76.3%
48 愛知学院大学	6年制	145	1,243	1,120	539	144	2.1	99.3%	154	103	66.9%	103	66.9%	87	56.5%	84	54.5%	157	105	66.9%	105	66.9%	147	95	64.6%	88	21	10	10	129	120	102	96	94.1%
49 金城学院大学	6年制	150	904	876	489	150	1.8	100.0%	196	176	89.8%	176	89.8%	167	85.2%	135	68.9%	162	142	87.7%	142	87.7%	162	136	84.0%	168	25	9	2	204	175	169	136	80.5%
50 名城大学	6年制	265	2,240	2,057	986	258	2.1	97.4%	296	195	65.9%	195	65.9%	193	65.2%	189	63.9%	278	197	70.9%	197	70.9%	285	206	72.3%	193	42	9	5	249	223	223	218	97.8%
51 鈴鹿医療科学大学	6年制	100	454	451	387	106	1.2	106.0%	112	75	67.0%	72	64.3%	54	48.2%	51	45.5%	124	87	70.2%	87	70.2%	112	88	78.6%	54	10	3	1	68	90	57	53	93.0%
52 京都薬科大学	6年制	360	2,491	2,427	987	365	2.5	101.4%	366	295	80.6%	294	80.3%	288	78.7%	279	76.2%	377	302	80.1%	302	80.1%	371	293	79.0%	288	43	12	9	352	372	352	332	94.3%
53 同志社女子大学	6年制	120	1,035	1,023	309	123	3.3	102.5%																										

2019年（平成31年・令和元年）度の入学試験・6年制学科生の修学状況

大学名	6年制		2019年度合格者数等				2019年度倍率・充足率		6年制学科の修学状況															2018年度卒業生入学年度別分布（6年制）					国家試験合格状況					
	入学定員	6年制・4年制一括募集の場合の4年制学科の入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質競争倍率（受験者数/合格者数）	入学定員充足率（入学者数/入学定員）	2013年度入学生							2014年度入学生					2015年度入学生			2013年度	2012年度	2011年度	その他	計	出願者	受験者	合格者	合格率		
									2013年度入学時	2017年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	卒業者数	卒業率	国家試験合格者数	合格率	2014年度入学時	2018年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	2015年度入学時										2019年度5年次※3	5年次進級率
61 兵庫医療大学	6年制	150	715	673	487	152	1.4	101.3%	171	103	60.2%	103	60.2%	96	56.1%	76	44.4%	159	123	77.4%	122	76.7%	153	118	77.1%	96	22	9	4	131	138	131	84	64.1%
62 姫路獨協大学	6年制	100	156	122	114	30	1.1	30.0%	80	38	47.5%	38	47.5%	29	36.3%	23	28.8%	129	59	45.7%	59	45.7%	101	54	53.5%	32	10	2	2	46	51	38	30	78.9%
63 武庫川女子大学	6年制	210	1,766	1,495	668	196	2.2	93.3%	232	181	78.0%	181	78.0%	159	68.5%	130	56.0%	219	169	77.2%	169	77.2%	206	158	76.7%	159	48	12	9	228	219	176	141	80.1%
	4年制	40	194	151	105	34	1.4	85.0%																										
64 就実大学	6年制	120	394	386	324	94	1.2	78.3%	135	98	72.6%	98	72.6%	82	60.7%	69	51.1%	139	98	70.5%	97	69.8%	111	83	74.8%	86	17	6	5	114	110	90	75	83.3%
65 広島国際大学	6年制	120	374	360	269	72	1.3	60.0%	163	120	73.6%	119	73.0%	104	63.8%	79	48.5%	138	98	71.0%	95	68.8%	88	67	76.1%	104	17	12	9	142	136	111	83	74.8%
66 福山大学	6年制	150	369	361	232	108	1.6	72.0%	164	131	79.9%	129	78.7%	122	74.4%	95	57.9%	161	131	81.4%	130	80.7%	154	133	86.4%	124	11	3	0	138	139	127	99	78.0%
67 安田女子大学	6年制	120	505	492	338	84	1.5	70.0%	103	86	83.5%	86	83.5%	84	81.6%	63	61.2%	113	99	87.6%	96	85.0%	96	85	88.5%	85	4	0	1	90	91	89	66	74.2%
68 徳島文理大学	6年制	180	252	245	205	72	1.2	40.0%	142	110	77.5%	109	76.8%	102	71.8%	84	59.2%	172	136	79.1%	134	77.9%	130	96	73.8%	111	3	1	1	116	189	162	133	82.1%
69 徳島文理大学（香川キャンパス）	6年制	90	146	141	131	40	1.1	44.4%	76	46	60.5%	46	60.5%	40	52.6%	35	46.1%	101	56	55.4%	56	55.4%	76	42	55.3%	43	8	8	1	60	189	162	133	82.1%
70 松山大学	6年制	100	345	315	281	93	1.1	93.0%	127	88	69.3%	87	68.5%	74	58.3%	61	48.0%	126	92	73.0%	91	72.2%	103	74	71.8%	77	10	0	1	88	102	80	67	83.8%
71 第一薬科大学	6年制	173	455	442	387	147	1.1	85.0%	204	136	66.7%	123	60.3%	78	38.2%	58	28.4%	202	155	76.7%	131	64.9%	164	84	51.2%	78	21	12	10	121	166	85	63	74.1%
72 福岡大学	6年制	230	2,936	2,812	680	231	4.1	100.4%	283	251	88.7%	251	88.7%	226	79.9%	206	72.8%	233	204	87.6%	201	86.3%	240	217	90.4%	226	29	8	1	264	271	235	214	91.1%
73 長崎国際大学	6年制	120	539	530	300	123	1.8	102.5%	139	92	66.2%	91	65.5%	83	59.7%	73	52.5%	133	83	62.4%	83	62.4%	131	101	77.1%	86	12	4	0	102	110	90	78	86.7%
74 崇城大学	6年制	120	1,637	1,593	577	132	2.8	110.0%	140	110	78.6%	110	78.6%	102	72.9%	98	70.0%	129	105	81.4%	105	81.4%	129	104	80.6%	103	9	2	1	115	138	115	109	94.8%
75 九州保健福祉大学	6年制	100	353	346	333	90	1.0	90.0%	139	80	57.6%	80	57.6%	64	46.0%	62	44.6%	121	70	57.9%	70	57.9%	177	96	54.2%	66	19	7	10	102	105	70	68	97.1%
	4年制	40	61	60	56	18	1.1	45.0%																										

※3 5年次進級率の算出に当たっては、留年・休学者と編入学者を除いている。

※4 2019年国家試験（第104回）の出願者・受験者・合格者は新卒者のみの数値であり、合格率は受験者に対する率である。

私立大学

平成30年度の入学試験・6年制学科生の修学状況

大学名	平成30年度入学定員		平成30年度合格者数等				平成30年度倍率・充足率		6年制学科の修学状況																平成29年度卒業生入学年度別分布(6年制)						国家試験合格状況			
	入学定員	4年制・5年制・6年制の合計入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質競争倍率(受験者数/合格者数)	入学定員充足率(入学定員/入学者数)	平成24年度入学生								平成25年度入学生				平成26年度入学生				24年度	23年度	22年度	その他	計	平成30年度国家試験(第103回)※4				
									24年度入学時	28年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	卒業者数	卒業率	国家試験合格者数	合格率	25年度入学時	29年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	26年度入学時	30年度5年次※3						5年次進級率	出願者	受験者	合格者	合格率
19 北海道医療大学	6年制	160	808	781	372	164	2.1	102.5%	180	125	69.4%	125	69.4%	107	59.4%	101	56.1%	186	134	72.0%	134	72.0%	176	112	63.6%	115	27	7	7	156	156	126	118	93.7%
20 北海道科学大学	6年制	180	1003	964	599	186	1.6	103.3%	228	165	72.4%	125	54.8%	149	65.4%	130	57.0%	229	168	73.4%	144	62.9%	232	170	73.3%	149	12	5	3	169	199	169	137	81.1%
21 青森大学	6年制	90	84	83	69	39	1.2	43.3%	45	25	55.6%	25	55.6%	20	44.4%	16	35.6%	56	31	55.4%	30	53.6%	59	17	28.8%	22	12	5	4	43	27	27	21	77.8%
22 岩手医科大学	6年制	120	195	195	146	64	1.3	53.3%	148	98	66.2%	98	66.2%	72	48.6%	54	36.5%	187	105	56.1%	104	55.6%	190	124	65.3%	72	20	12	9	113	142	82	61	74.4%
23 東北薬科大学	6年制	300	1037	933	537	314	1.7	104.7%	334	219	65.8%	218	65.3%	210	62.9%	190	56.9%	326	229	70.2%	228	69.9%	318	238	74.8%	210	43	20	9	282	242	227	204	89.9%
24 いわき明星大学	4年制	40	102	91	72	24	1.3	60.0%																										
25 奥羽大学	6年制	90	207	207	202	84	1.0	93.3%	58	28	44.8%	26	44.8%	18	31.0%	18	31.0%	59	28	44.1%	26	44.1%	83	30	36.1%	18	11	6	2	37	43	37	35	94.8%
26 国際医療福祉大学	6年制	140	275	274	194	113	1.4	80.7%	78	52	66.7%	52	66.7%	48	61.5%	27	34.6%	125	84	67.2%	84	67.2%	118	79	66.9%	53	14	12	8	87	102	87	32	36.8%
27 高崎医療福祉大学	6年制	180	1117	1101	440	194	2.5	107.8%	197	141	71.6%	140	71.1%	122	61.9%	118	59.9%	197	148	75.1%	148	75.1%	197	135	68.5%	122	36	13	5	170	134	134	130	97.0%
28 城西大学	6年制	90	540	521	225	111	2.3	123.3%	103	75	72.9%	75	72.8%	64	62.1%	50	48.5%	98	74	75.5%	74	75.5%	100	81	81.0%	64	17	7	1	89	75	67	52	77.6%
29 日本薬科大学	6年制	250	1430	1303	761	253	1.7	101.2%	311	177	56.9%	177	56.8%	162	52.1%	105	33.8%	374	209	55.9%	207	55.3%	327	189	51.7%	162	22	16	11	211	210	182	109	59.9%
30 城西国際大学	4年制	150	563	516	431	121	1.2	80.7%																										
31 千葉科学大学	6年制	280	1251	1180	731	278	1.6	106.9%	245	127	51.8%	127	51.8%	95	38.8%	89	36.3%	330	155	47.0%	155	47.0%	283	151	53.4%	95	52	74	38	259	110	97	91	93.8%
32 帝京平成大学	4年制	90	359	336	176	100	1.9	111.1%																										
33 東京理科大学	6年制	130	478	449	299	119	1.5	91.5%	81	31	38.3%	31	38.3%	31	38.3%	30	37.0%	167	55	32.9%	55	32.9%	167	74	44.3%	34	7	3	3	47	45	41	38	92.7%
34 東京理科大学	6年制	120	284	269	235	76	1.1	63.3%	81	50	61.7%	50	61.7%	43	53.1%	30	37.0%	120	66	55.0%	66	55.0%	142	74	52.1%	43	20	1	5	69	58	48	33	68.8%
35 京邦大学	4年制	35	27	24	20	5	1.2	14.3%																										
36 北里大学	6年制	240	2808	2583	552	232	4.7	96.7%	265	180	67.9%	177	66.8%	107	40.4%	90	34.0%	253	199	78.7%	199	78.7%	242	195	80.6%	107	46	13	13	179	109	109	90	82.6%
37 慶應義塾大学	4年制	100	2229	2072	590	87	3.5	87.0%	104	91	87.5%	91	87.5%	90	86.5%	82	78.8%	254	88	93.6%	88	93.6%	109	94	86.2%	91	6	4	3	104	97	96	88	91.7%
38 東邦大学	4年制	100	1155	1094	488	102	2.2	102.0%																										
39 日本大学	6年制	220	2288	2206	561	241	3.9	109.5%	245	200	81.6%	200	81.6%	183	74.7%	170	69.4%	235	196	83.4%	195	83.0%	258	207	80.2%	185	30	10	3	228	224	198	182	91.9%
40 東京薬科大学	6年制	244	2547	2284	571	254	4.0	104.1%	260	208	80.0%	207	79.6%	172	66.2%	146	56.2%	272	212	77.9%	210	77.2%	251	220	87.6%	173	51	7	10	241	185	185	152	82.2%
41 星薬科大学	6年制	280	2384	2312	557	264	4.2	101.5%	254	232	91.3%	231	90.9%	231	90.9%	218	85.8%	259	237	91.5%	236	91.1%	280	240	92.3%	232	12	1	0	245	244	244	228	93.4%
42 武蔵野大学	4年制	35	349	336	114	36	2.9	102.9%																										
43 明治薬科大学	6年制	150	1834	1630	355	157	4.6	104.7%	162	133	82.1%	133	82.1%	129	79.6%	119	73.5%	161	139	86.3%	139	86.3%	160	142	88.8%	135	7	4	0	146	150	146	133	91.1%
44 昭和大学	4年制	60	668	621	242	58	2.6	96.7%																										
45 昭和三十九年度	6年制	200	1813	1732	384	215	4.5	107.5%	187	168	89.8%	167	89.3%	154	82.4%	132	70.6%	232	209	90.1%	205	88.4%	188	162	86.2%	154	25	4	3	186	189	171	143	83.8%
46 昭和薬科大学	6年制	240	2411	2141	645	246	3.3	102.5%	265	189	71.3%	188	70.9%	183	69.1%	150	56.6%	245	170	69.4%	169	69.0%	245	174	71.0%	183	57	13	2	255	234	222	174	78.4%
47 東京薬科大学	6年制	420	2935	2719	823	455	3.3	108.3%	432	358	82.9%	358	82.9%	333	77.1%	306	71.3%	517	433	83.8%	433	83.8%	401	329	82.0%	333	34	23	13	403	382	364	332	91.2%
48 星薬科大学	6年制	260	3790	3629	726	263	5.0	101.2%	290	260	89.7%	260	89.7%	253	87.2%	239	82.4%	261	245	93.9%	244	93.5%	278	258	92.8%	255	27	7	4	293	295	280	261	93.2%
49 星薬科大学	4年制	20	367	351	131	22	2.7	110.0%																										
50 武蔵野大学	6年制	160	3189	3014	374	143	8.1	88.4%	174	144	82.8%	144	82.8%	128	73.6%	123	70.7%	157	130	82.8%	130	82.8%	157	126	80.3%	128	11	3	0	142	154	134	127	94.8%
51 明治薬科大学	6年制	300	3459	3068	606	318	5.1	106.0%	312	262	84.0%	262	84.0%	247	79.2%	233	74.7%	333	288	86.5%	288	86.5%	325	278	85.5%	249	44	11	9	313	294	275	253	92.0%
52 武蔵野大学	4年制	60	732	673	316	66	2.1	110.0%																										
53 帝京大学	6年制	320	4168	3922	881	317	4.5	99.1%	324	234	72.2%	234	72.2%	213	65.7%	195	60.2%	327	230	70.3%	230	70.3%	324	248	76.5%	213	53	15	8	289	269	256	228	89.1%
54 横浜薬科大学	6年制	340	3282	3142	972	388	3.2	114.1%	558	167	29.9%	166	29.7%	153	27.4%	104	18.6%	383	182	47.5%	181	47.3%	391	234	59.8%	153	41	19	27	240	208	207	125	60.4%
55 新潟薬科大学	4年制	30	273	255	110	33	2.3	110.0%																										
56 新潟薬科大学	6年制	180	389	374	336	121	1.1	67.2%	194	132	68.0%	132	68.0%	122	62.9%	102	52.6%	208	147	70.7%	146	70.2%	178	127	71.3%	123	29	3	3</					

平成30年度の入学試験・6年制学科生の修学状況

大学名	6年制		平成30年度合格者数等				平成30年度倍率・充足率		6年制学科の修学状況														平成29年度卒業生入学年度別分布(6年制)					国家試験合格状況						
	入学定員	6年制-4年制一括募集の場合の4年制学科の入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質競争倍率(受験者数/合格者数)	入学定員充足率(入学者数/入学定員)	平成24年度入学生							平成25年度入学生					平成26年度入学生		24年度	23年度	22年度	その他	計	出願者	受験者	合格者	合格率			
									24年度入学時	28年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	卒業者数	卒業率	国家試験合格者数	合格率	25年度入学時	29年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率										26年度入学時	30年度5年次※3	5年次進級率
61 兵庫医療大学	6年制	150	716	695	379	165	1.8	110.0%	159	99	62.3%	99	62.3%	99	62.3%	62	39.0%	171	103	60.2%	103	60.2%	159	123	77.4%	99	26	13	1	139	139	138	69	50.0%
62 姫路獨協大学	6年制	100	211	177	158	47	1.1	47.0%	73	40	54.8%	40	54.8%	36	49.3%	25	34.2%	80	38	47.5%	38	47.5%	129	59	45.7%	42	9	4	0	55	54	46	33	71.7%
63 武庫川女子大学	6年制	210	1623	1377	578	204	2.4	97.1%	225	164	72.9%	163	72.4%	125	55.6%	102	45.3%	232	181	78.0%	169	72.8%	219	169	77.2%	125	8	2	0	135	191	135	111	82.2%
	4年制	40	197	166	82	25	2.0	62.5%																										
64 就実大学	6年制	120	271	264	213	63	1.2	52.5%	105	73	69.5%	72	68.6%	59	56.2%	49	46.7%	135	98	72.6%	98	72.6%	139	98	70.5%	65	22	6	4	97	93	69	58	84.1%
65 広島国際大学	6年制	120	530	431	310	105	1.4	87.5%	137	101	73.7%	76	55.5%	64	46.7%	56	40.9%	163	135	82.8%	119	73.0%	138	113	81.9%	64	26	16	10	116	110	77	64	83.1%
66 福山大学	6年制	150	418	414	249	128	1.7	85.3%	100	82	82.0%	81	81.0%	73	73.0%	60	60.0%	164	131	79.9%	129	78.7%	161	131	81.4%	74	16	1	2	93	88	77	62	80.5%
67 安田女子大学	6年制	120	475	459	331	101	1.4	84.2%	70	63	90.0%	63	90.0%	63	90.0%	39	55.7%	103	86	83.5%	86	83.5%	113	99	87.6%	63	4	0	0	67	65	65	41	63.1%
68 徳島文理大学	6年制	180	244	241	200	74	1.2	41.1%	97	67	69.1%	65	67.0%	64	66.0%	49	50.5%	142	110	77.5%	109	76.8%	172	136	79.1%	76	9	9	12	106	140	114	90	78.9%
69 徳島文理大学(香川農学部)	6年制	90	145	137	119	37	1.2	41.1%	58	43	74.1%	40	69.0%	37	63.8%	28	48.3%	76	46	60.5%	46	60.5%	101	56	55.4%	41	4	2	1	48				
70 松山大学	6年制	100	286	278	269	95	1.0	95.0%	83	48	57.8%	48	57.8%	42	50.6%	39	47.0%	127	88	69.3%	87	68.5%	126	92	73.0%	42	13	5	2	62	57	48	44	91.7%
71 第一薬科大学	6年制	173	533	523	466	182	1.1	105.2%	170	78	45.9%	78	45.9%	60	35.3%	38	22.4%	204	112	54.9%	112	54.9%	202	133	65.8%	60	51	18	56	185	114	78	47	60.3%
72 福岡大学	6年制	230	2893	2779	614	231	4.5	100.4%	232	198	85.3%	198	85.3%	176	75.9%	163	70.3%	283	251	88.7%	251	88.7%	233	204	87.6%	176	22	5	1	204	212	183	168	91.8%
73 長崎国際大学	6年制	120	423	412	278	110	1.5	91.7%	115	73	63.5%	71	61.7%	61	53.0%	55	47.8%	139	92	66.2%	91	65.5%	133	83	62.4%	69	8	2	3	82	83	71	64	90.1%
74 崇城大学	6年制	120	1473	1427	548	153	2.6	127.5%	132	104	78.8%	104	78.8%	81	61.4%	72	54.5%	140	110	78.6%	110	78.6%	129	105	81.4%	81	21	3	6	111	123	92	80	87.0%
75 九州保健福祉大学	6年制	140	365	359	351	92	1.0	65.7%	127	73	57.5%	73	57.5%	57	44.9%	56	44.1%	139	80	57.6%	80	57.6%	121	70	57.9%	60	22	13	14	109	98	66	64	97.0%
	4年制	40	64	64	62	18	1.0	45.0%																										

※3 5年次進級率の算出に当たっては、留年・休学者と編入学者を除いている。

※4 平成30年国家試験(第103回)の出願者・受験者・合格者は新卒者のみの数値であり、合格率は受験者に対する率である。

平成25～29年度の入学試験・6年制学科生の修学状況

私立大学

大学名	平成29年度入学定員		平成29年度合格者数等 (6年制学科・4年制学科合計)				平成25～29年度倍率・充足率 (6年制学科・4年制学科合計)										6年制学科の修学状況															平成28年度卒業生 入学年度別分布 (6年制)					国家試験合格状況					
	入学定員	うち4年制学科	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質競争倍率 (受験者数/合格者数)					入学定員充足率 (入学者数/入学定員)					平成23年度入学生					平成24年度入学生					平成25年度入学生					23年度	22年度	21年度	その他	計	平成29年度国家試験 (第102回)※4					
							H29	H28	H27	H26	H25	平均	H29	H28	H27	H26	H25	平均	23年度入学時	27年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	卒業生数	卒業率	24年度入学時	28年度5年次※3	5年次進級率	実習修了者	実習修了率	25年度入学時						29年度5年次※3	5年次進級率	出願者	受験者	合格者	合格率
18 北海道医療大学	160		824	801	371	176	2.2	2.6	3.0	3.2	3.2	2.8	110.0%	105.6%	109.4%	110.0%	116.3%	110.3%	186	139	74.7%	138	74.2%	123	66.1%	180	125	69.4%	125	69.4%	186	134	72.0%	131	46	14	13	204	171	141	118	83.7%
19 北海道薬科大学	210		927	883	664	219	1.3	1.6	3.0	2.3	2.0	2.1	104.3%	100.0%	107.6%	110.5%	109.0%	106.3%	224	144	64.3%	143	63.8%	125	55.8%	228	165	72.4%	125	54.8%	229	168	73.4%	125	14	2	2	143	180	143	116	81.1%
20 青森大学	90		71	71	61	50	1.2	1.0	1.1	1.1	1.0	1.1	55.6%	50.0%	66.7%	65.6%	62.2%	60.0%	52	40	76.9%	40	76.9%	32	61.5%	45	25	55.6%	25	55.6%	56	31	55.4%	40	12	8	8	68	58	42	23	54.8%
21 岩手医科大学	140		289	286	215	104	1.3	1.4	1.7	1.6	1.2	1.4	74.3%	81.3%	99.4%	118.8%	116.9%	98.1%	166	91	54.8%	91	54.8%	79	47.6%	148	98	66.2%	98	66.2%	187	105	56.1%	79	16	13	2	110	148	109	57	52.3%
22 東北医科大学	340	40	1359	1226	628	352	2.0	2.3	2.4	2.7	2.3	2.3	103.5%	94.4%	99.4%	105.0%	105.0%	101.5%	326	246	75.5%	246	75.5%	218	66.9%	334	219	65.6%	218	65.3%	326	229	70.2%	218	35	21	8	282	286	231	217	93.9%
23 いわき明星大学	90		221	219	209	86	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	95.6%	87.8%	106.7%	92.2%	65.6%	89.6%	52	30	57.7%	30	57.7%	19	36.5%	58	26	44.8%	26	44.8%	59	26	44.1%	21	24	7	8	60	68	60	58	96.7%
24 奥羽大学	140		249	243	175	104	1.4	1.5	1.6	1.1	1.1	1.3	74.3%	48.6%	61.4%	85.0%	89.3%	71.7%	96	58	60.4%	58	60.4%	54	56.3%	78	52	66.7%	52	66.7%	125	84	67.2%	63	13	8	5	89	111	89	37	41.6%
25 国際医療福祉大学	180		1050	1027	431	193	2.4	2.4	2.9	3.7	3.4	2.9	107.2%	107.8%	109.4%	109.4%	109.4%	108.7%	198	131	66.2%	131	66.2%	106	53.5%	197	141	71.6%	140	71.1%	197	148	75.1%	106	15	3	0	124	131	116	115	99.1%
26 高崎健康福祉大学	90		585	560	222	95	2.5	3.1	3.1	3.8	2.9	3.1	105.6%	106.7%	108.9%	111.1%	108.9%	108.2%	91	59	64.8%	58	63.7%	45	49.5%	103	75	72.8%	75	72.8%	98	74	75.5%	45	17	7	2	71	61	49	40	81.6%
27 城西大学	400	150	2368	2094	1081	426	1.9	1.8	3.4	2.8	2.1	2.4	106.5%	127.0%	113.5%	126.3%	142.5%	123.2%	259	171	66.0%	171	66.0%	158	61.0%	311	177	56.9%	177	56.9%	374	209	55.9%	158	21	7	1	187	189	187	124	66.3%
28 日本薬科大学	350	90	1420	1319	841	327	1.6	1.9	2.1	1.8	1.2	1.7	93.4%	98.9%	108.0%	111.1%	114.0%	105.1%	203	122	60.1%	120	59.1%	51	25.1%	245	127	51.8%	127	51.8%	330	155	47.0%	52	74	22	16	164	90	54	51	94.4%
29 城西国際大学	130		328	308	239	111	1.3	1.4	1.8	2.4	1.2	1.6	85.4%	106.2%	127.7%	128.5%	128.5%	115.2%	75	35	46.7%	35	46.7%	33	44.0%	81	31	38.3%	31	38.3%	167	55	32.9%	33	9	11	3	56	48	42	32	76.2%
30 千葉科学大学	160	40	408	384	338	110	1.1	1.1	1.2	1.2	1.1	1.2	68.8%	68.8%	123.8%	103.1%	88.8%	90.6%	77	48	62.3%	48	62.3%	28	36.4%	81	50	61.7%	50	61.7%	120	66	55.0%	28	22	8	5	63	46	28	24	85.7%
31 帝京平成大学	240		2929	2720	549	239	5.0	5.4	7.3	7.6	5.8	6.2	99.6%	100.4%	103.3%	100.8%	106.3%	102.1%	199	126	63.3%	121	60.8%	74	37.2%	265	180	67.9%	177	66.8%	253	199	78.7%	75	75	22	8	180	77	77	52	67.5%
32 東京理科大学	200	100	3355	3215	1102	213	2.9	3.0	3.7	3.9	4.1	3.5	106.5%	105.5%	100.5%	124.5%	96.5%	106.7%	79	67	84.8%	67	84.8%	66	83.5%	104	91	87.5%	91	87.5%	94	88	93.6%	70	5	0	1	76	76	75	68	90.7%
33 東邦大学	220		2620	2516	570	270	4.4	3.1	3.6	3.9	4.0	3.8	122.7%	126.4%	108.2%	117.3%	106.8%	116.3%	251	208	82.9%	208	82.9%	188	74.9%	245	200	81.6%	200	81.6%	235	196	83.4%	188	36	3	0	227	232	201	191	95.0%
34 日本大学	244		2455	2264	552	258	4.1	3.8	4.4	5.2	4.5	4.4	105.7%	107.1%	108.8%	104.6%	113.3%	107.9%	264	218	82.6%	214	81.1%	174	65.9%	260	208	80.0%	207	79.6%	272	212	77.9%	175	78	13	4	270	197	197	163	82.7%
35 北里大学	295	35	2630	2544	715	311	3.6	4.1	4.3	4.6	4.2	4.2	105.4%	100.0%	109.5%	104.2%	103.9%	104.6%	256	226	88.3%	226	88.3%	224	87.5%	254	232	91.3%	231	90.9%	259	237	91.5%	226	14	3	1	244	239	238	214	89.9%
36 慶應義塾大学	210	60	2648	2387	580	222	4.1	4.1	4.2	4.5	4.4	4.3	105.7%	112.4%	102.9%	108.1%	103.8%	106.6%	173	140	80.9%	140	80.9%	138	79.8%	162	133	82.1%	133	82.1%	161	139	86.3%	141	15	3	0	159	161	159	149	93.7%
37 昭和大学	200		1721	1658	406	199	4.1	4.8	5.8	4.9	5.2	5.0	99.5%	99.5%	99.0%	94.0%	116.0%	101.6%	195	161	82.6%	161	82.6%	151	77.4%	187	168	89.8%	167	89.3%	232	209	90.1%	151	11	2	0	164	178	162	149	92.0%
38 昭和薬科大学	240		2680	2417	681	263	3.5	4.5	4.5	5.8	4.8	4.6	109.6%	100.4%	106.3%	102.1%	102.1%	104.1%	248	165	66.5%	163	65.7%	140	56.5%	265	189	71.3%	188	70.9%	245	170	69.4%	140	46	10	5	201	184	157	140	89.2%
39 東京薬科大学	420		3204	2991	840	425	3.6	3.5	3.5	4.4	3.4	3.7	101.2%	108.9%	108.1%	95.5%	123.1%	107.4%	430	356	82.8%	356	82.8%	336	78.1%	432	358	82.9%	358	82.9%	517	433	83.8%	336	53	20	10	419	421	382	326	85.3%
40 星薬科大学	280	20	4142	3956	876	304	4.5	4.5	4.7	5.0	4.9	4.7	108.6%	109.6%	113.2%	109.3%	100.7%	108.3%	290	243	83.8%	241	83.1%	234	80.7%	290	260	89.7%	260	89.7%	261	245	93.9%	235	16	12	4	267	261	248	222	89.5%
41 武蔵野大学	145		3341	3159	373	148	8.5	8.8	9.9	10.8	7.5	9.1	102.1%	97.9%	100.0%	108.3%	108.3%	103.3%	140	119	85.0%	119	85.0%	113	80.7%	174	144	82.8%	144	82.8%	157	130	82.8%	113	14	5	3	135	124	118	109	92.4%
42 明治薬科大学	360	60	4255	3875	886	391	4.4	5.4	5.0	5.1	4.6	4.9	108.6%	106.9%	110.6%	110.6%	114.4%	110.2%	331	277	83.7%	277	83.7%	255	77.0%	312	262	84.0%	262	84.0%	333	288	86.5%	259	39	13	4	315	319	281	263	93.6%
43 帝京大学	320		3669	3407	520	334	6.6	7.3	7.3	12.3	10.4	8.8	104.4%	105.3%	101.3%	101.3%	102.2%	102.9%	329	216	65.7%	216	65.7%	197	59.9%	324	234	72.2%	234	72.2%	327	230	70.3%	197	46	15	9	267	282	247	182	73.7%
44 横浜薬科大学	370	30	3383	3193	1054	441	3.0	3.8	6.2	3.5	3.9	4.1	119.2%	108.9%	108.9%	108.6%	106.4%	110.4%	454	147	32.4%	147	32.4%	142	31.3%	558	167	29.9%	166	29.7%	383	182	47.5%	145	36	28	72	281	176	176	127	72.2%
45 新潟薬科大学	180		323	310	290	150	1.1	1.3	1.2	1.6	1.6	1.4	83.3%	87.8%	102.2%	98.9%	115.6%	97.6%	163	117	71.8%	117	71.8%	97	59.5%	194	132	68.0%	132	68.0%	208	147	70.7%	100	40	10	3	153	132	107	94	87.9%
46 北陸大学	220		419	405	365	116	1.1	1.3	1.3	1.2	1.1	1.2	52.7%	41.2%	49.3%	81.4%	94.8%	63.9%	169	78	46.2%	78	46.2%	78	46.2%	183	86	47.0%	85	46.4%	290	116	40.0%	78	19	7	5	109	109	75	71	94.7%
47 愛知学院大学	145		1391	1324	523	144	2.5	2.3	3.0	2.6	2.6	2.6	99.3%	116.6%	101.4%	108.3%	106.2%	106.3%	169	108	63.9%	107	63.3%	94	55.6%	163	92	56.4%	92	56.4%	154	103	66.9%	94	29	13	1	137	116	106	103	97.2%
48 金城学院大学	150		1026	995	473	158	2.1	2.2	1.8	2.8	2.2	2.2	105.3%	101.3%	108.0%	108.0%	130.7%	110.7%	154	131	85.1%	131	85.1%	102	66.2%	151	138	91.4%	138	91.4%	196	176	89.8%	102	35	2	3	142	122	106	88	83.0%
49 名城大学	265		2546	2361	974	292	2.4	2.4	2.7	2.8	2.2	2.5	110.2%	107.6%	114.0%	111.2%	118.4%	112.3%	258	206	79.8%	206	79.8%	188	72.9%	252	179	71.0%	179	71.0%	296	195	65.9%	188	38	14	4	244	242	208</		

近畿地区における国立大学薬学部入学定員充足率

			入学定員充足率（入学者数／入学定員） （6年制学科・4年制学科合計）※2018年以降は学科別					
大学名	入学定員		6年制・4年制一括募集の場合の4年制学科の入学定員	2015年 (H27年度)	2016年 (H28年度)	2017年 (H29年度)	2018年 (H30年度)	2019年 (H31年度・R元年度)
京都大学	80		65（一括）	105.0	107.5	107.5	107.5	107.5
大阪大学	6年制	80	25	106.3	107.5	101.3	100.0	106.3
	4年制		55				112.7	

（出典）文部科学省「入学試験・6年制学科生の修学状況」

近畿地区における国立大学薬学部実質競争倍率

			実質競争倍率（受験者数／合格者数） （6年制学科・4年制学科合計）※2018年以降は学科別					
大学名	入学定員		6年制・4年制一括募集の場合の4年制学科の入学定員	2015年 (H27年度)	2016年 (H28年度)	2017年 (H29年度)	2018年 (H30年度)	2019年 (H31年度・R元年度)
京都大学	80		65（一括）	2.4	2.5	2.6	2.8	2.2
大阪大学	6年制	80	25	3.0	2.7	2.3	3.7	2.8
	4年制		55				1.9	

（出典）文部科学省「入学試験・6年制学科生の修学状況」

公立大学薬学部入学定員充足率

大学名	入学定員		6年制・4年制一括募集 の場合の4年制学科の 入学定員	入学定員充足率（入学者数／入学定員）				
				（6年制学科・4年制学科合計）※2018年以降は学科別				
				2015年 (H27年度)	2016年 (H28年度)	2017年 (H29年度)	2018年 (H30年度)	2019年 (H31年度・ R元年度)
岐阜薬科大学	6年制	120	40 (2017年まで一括)	100.8	90.8	108.3	110.0	110.0
静岡県立大学	6年制	80		101.7	102.5	110.0	122.5	106.3
	4年制	40				100.0	110.0	
名古屋市立大学	6年制	60	40 (2017年まで一括)	115.0	115.0	109.0	101.7	110.0
	4年制	40					105.0	117.5
山口東京理科大学	6年制	120				99.2	120.8	

（出典）文部科学省「入学試験・6年制学科生の修学状況」
 ※山口東京理科大学薬学部は2018年開設

公立大学薬学部実質競争倍率

大学名	入学定員		6年制・4年制一括募集 の場合の4年制学科の 入学定員	実質競争倍率（受験者数／合格者数）				
				（6年制学科・4年制学科合計）※2018年以降は学科別				
				2015年 (H27年度)	2016年 (H28年度)	2017年 (H29年度)	2018年 (H30年度)	2019年 (H31年度・ R元年度)
岐阜薬科大学	6年制	120	40 (2017年まで一括)	5.0	4.6	3.5	4.0	3.9
静岡県立大学	6年制	80		3.9	4.1	4.9	3.9	4.9
	4年制	40				2.4	3.3	
名古屋市立大学	6年制	60	40 (2017年まで一括)	5.8	5.2	6.5	6.0	5.1
	4年制	40					4.0	4.1
山口東京理科大学	6年制	120				5.8	3.2	

（出典）文部科学省「入学試験・6年制学科生の修学状況」
 ※山口東京理科大学薬学部は2018年開設

6. 学 生

医学部

(1) 学生等定員及び現員

(平成31年4月1日現在)

()は女子再掲

区 分	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
定 員	100	100	100	100	100	100	600
現 員	102 (35)	106 (36)	111 (42)	107 (31)	94 (40)	98 (30)	618 (214)

(2) 年度別志願者数及び入学者数

()は県内者再掲

年 度	入学定員	志願者数	受験者数	入学者数	競争率
平成7年度	60	494 (116)	331 (101) 238 (56)	60 (22)	8.2 4.0
平成8年度	60	582 (107)	332 (104) 174 (0)	60 (18)	9.7 2.9
平成9年度	60	884 (79)	332 (52) 206 (46)	61 (7)	14.5 3.4
平成10年度	60	806 (140)	353 (64) 291 (56)	60 (14)	13.4 4.9
平成11年度	60	414 (64)	353 (53) 295 (47)	60 (10)	6.9 4.9
平成12年度	60	586 (111)	349 (66) 293 (57)	61 (13)	9.6 4.8
平成13年度	60	362 (77)	320 (63)	60 (12)	6.0 0.0
平成14年度	60	516 (145)	320 (87) 261 (67)	60 (22)	8.6 4.4
平成15年度	60	443 (112)	370 (89) 295 (66)	60 (18)	7.4 4.9
平成16年度	60	713 (154)	409 (90) 338 (68)	60 (14)	11.9 5.6
平成17年度	60	294 (106)	286 (102) 223 (75)	60 (24)	4.9 3.7
平成18年度	60	531 (172)	414 (145) 343 (118)	60 (32)	8.9 5.7
平成19年度	60	329 (113)	316 (101) 254 (92)	60 (26)	5.5 4.2
平成20年度	85	547 (169)	416 (126) 329 (90)	85 (31)	6.4 3.9
平成21年度	95	393 (135)	366 (105) 270 (84)	95 (35)	4.1 2.8
平成22年度	100	416 (127)	285 (84) 260 (71)	100 (44)	4.2 2.6
平成23年度	100	376 (115)	276 (61) 257 (66)	100 (33)	3.8 2.6
平成24年度	100	365 (121)	289 (90) 267 (75)	100 (37)	3.7 2.7
平成25年度	100	341 (118)	278 (80) 255 (70)	100 (26)	3.4 2.6
平成26年度	100	340 (128)	299 (103) 271 (90)	100 (41)	3.4 2.7
平成27年度	100	374 (122)	284 (77) 266 (69)	100 (35)	3.7 2.7
平成28年度	100	365 (120)	284 (76) 258 (66)	100 (30)	3.7 2.6
平成29年度	100	426 (126)	295 (78) 263 (64)	100 (38)	4.3 2.6
平成30年度	100	290 (101)	251 (78) 225 (63)	100 (38)	2.9 2.3
平成31年度	100	459 (122)	289 (68) 261 (53)	100 (29)	4.6 2.6

※「受験者数」欄の上段は第1段階選抜合格者。

「競争率」欄の上段は志願者数／入学者、右下段は受験者数／入学者である。

和歌山県立医科大学保健看護学部の定員充足率及び競争率

保健看護学部

(1)学生等定員及び現員

(平成31年4月1日現在)

()は男子再掲

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	計
定員	80	80	80	80	320
現員	82 (5)	80 (6)	82 (7)	79 (5)	323 (23)

(2)年度別志願者数及び入学者数

()は県内者再掲

年度	区分	入学定員	志願者数	第一段階選抜合格者	受験者数	入学者数	競争率
平成16年度	一般	80	713 (165)	-	604 (147)	80 (43)	8.9 7.6
	3年次編入	8	33 (16)	-	33 (16)	16 (9)	2.1 2.1
平成17年度	一般	80	372 (124)	-	284 (102)	84 (43)	4.4 3.4
	3年次編入	8	42 (22)	-	41 (22)	16 (11)	2.6 2.6
平成18年度	一般	80	336 (133)	-	239 (112)	80 (44)	4.2 3.0
	3年次編入	8	39 (21)	-	39 (21)	13 (10)	3.0 3.0
平成19年度	一般	80	204 (128)	-	156 (104)	80 (58)	2.6 2.0
	3年次編入	8	16 (11)	-	16 (11)	5 (4)	3.2 3.2
平成20年度	一般	80	300 (170)	-	226 (134)	82 (59)	3.7 2.8
	3年次編入	8	17 (5)	-	17 (5)	4 (3)	4.3 4.3
平成21年度	一般	80	318 (144)	-	248 (119)	82 (56)	3.9 3.0
	3年次編入	4	13 (6)	-	12 (6)	4 (2)	3.3 3.0
平成22年度	一般	80	367 (165)	-	279 (136)	82 (48)	4.5 3.4
	3年次編入	4	14 (10)	-	14 (10)	3 (2)	4.7 4.7
平成23年度	一般	80	302 (136)	100 (28)	219 (108)	82 (47)	3.7 2.7
	3年次編入	4	11 (4)	-	11 (4)	2 (2)	5.5 5.5
平成24年度	一般	80	229 (130)	-	171 (110)	82 (60)	2.8 2.1
	3年次編入	4	9 (5)	-	8 (4)	3 (2)	3.0 2.7
平成25年度	一般	80	312 (142)	101 (30)	201 (126)	81 (56)	3.9 2.5
平成26年度	一般	80	285 (150)	101 (37)	218 (125)	80 (61)	3.6 2.7
平成27年度	一般	80	239 (141)	-	187 (118)	82 (64)	2.9 2.2
平成28年度	一般	80	335 (170)	100 (39)	216 (128)	82 (59)	4.1 2.6
平成29年度	一般	80	264 (170)	100 (49)	186 (127)	81 (61)	3.3 2.3
平成30年度	一般	80	202 (126)	-	162 (109)	81 (56)	2.5 2.0
平成31年度	一般	80	282 (176)	101 (50)	202 (142)	80 (62)	3.5 2.5

※競争率の上段は志願者数／入学者、下段は受験者数／入学者である

表：和歌山県所在高等学校から大学進学先（府県・地域別）の推移

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数(人)	構成比(%)								
和歌山県	447	10.4	490	11.2	492	11.4	522	12.2	623	14.3
滋賀県	84	2.0	75	1.7	79	1.8	87	2.0	84	1.9
京都府	515	12.0	481	11.0	460	10.6	419	9.8	402	9.2
大阪府	1,796	42.0	1,849	42.3	1,852	42.8	1,783	41.7	1,770	40.6
兵庫県	374	8.7	365	8.3	362	8.4	356	8.3	349	8.0
奈良県	106	2.5	91	2.1	94	2.2	114	2.7	131	3.0
南関東	267	6.2	310	7.1	284	6.6	274	6.4	307	7.0
（埼玉）	(21)	(0.5)	(19)	(0.4)	(19)	(0.4)	(18)	(0.4)	(20)	(0.5)
（千葉）	(17)	(0.4)	(20)	(0.5)	(21)	(0.5)	(27)	(0.6)	(37)	(0.8)
（東京）	(177)	(4.1)	(209)	(4.8)	(198)	(4.6)	(177)	(4.1)	(194)	(4.4)
（神奈川）	(52)	(1.2)	(62)	(1.4)	(46)	(1.1)	(52)	(1.2)	(56)	(1.3)
その他	691	16.1	712	16.3	701	16.2	717	16.8	698	16.0
合 計	4,280	100.0	4,373	100.0	4,324	100.0	4,272	100.0	4,364	100.0

(注) 平成31年度は速報値

資料：「学校基本調査報告書」（文部科学省）

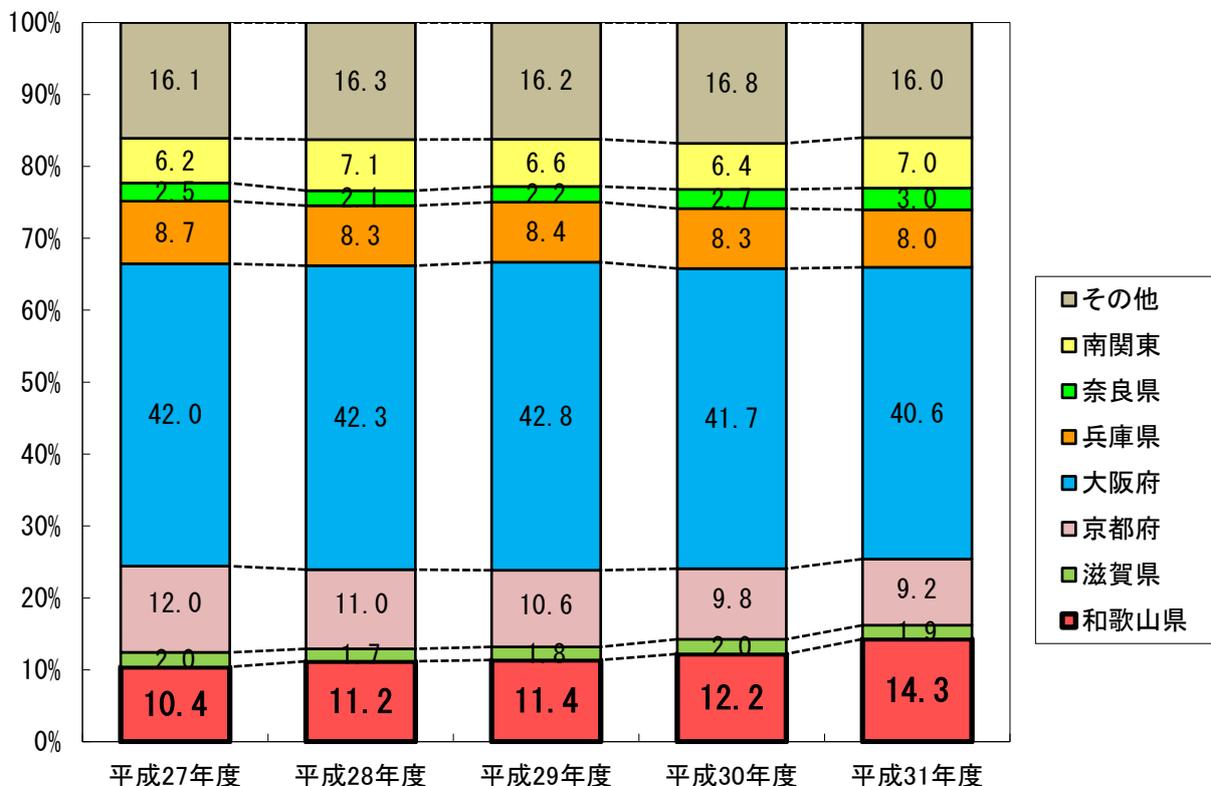


図 和歌山県所在高等学校からの大学進学先の推移

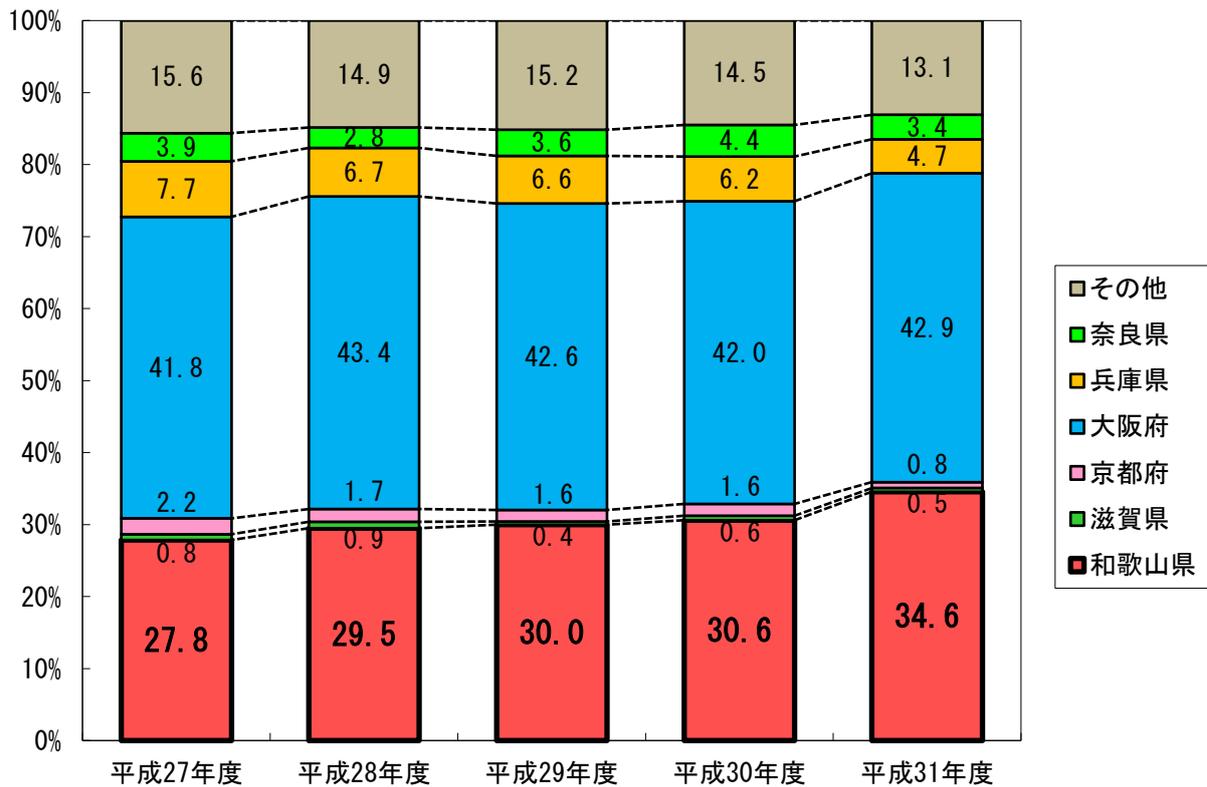
資料：「学校基本調査報告書」（文部科学省）

表：和歌山県所在の大学入学者における出身高等学校の推移

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数(人)	構成比(%)								
和歌山県	447	27.8	490	29.5	492	30.0	522	30.6	623	34.6
滋賀県	13	0.8	15	0.9	7	0.4	11	0.6	9	0.5
京都府	36	2.2	29	1.7	26	1.6	28	1.6	15	0.8
大阪府	672	41.8	721	43.4	698	42.6	717	42.0	773	42.9
兵庫県	124	7.7	112	6.7	109	6.6	106	6.2	85	4.7
奈良県	63	3.9	47	2.8	59	3.6	75	4.4	61	3.4
その他	251	15.6	247	14.9	249	15.2	247	14.5	236	13.1
合計	1,606	100.0	1,661	100.0	1,640	100.0	1,706	100.0	1,802	100.0

(注) 平成31年度は速報値

資料：「学校基本調査報告書」（文部科学省）

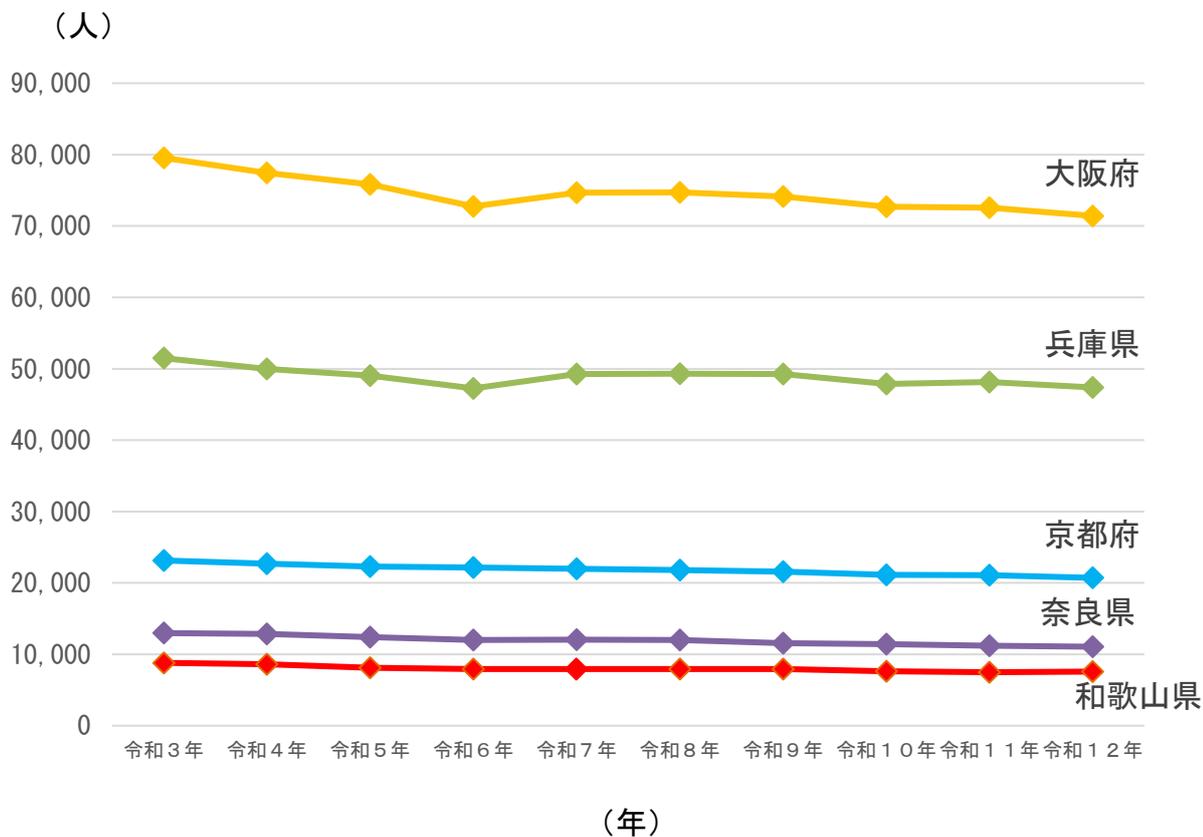


図：和歌山県所在の大学への入学者の出身高等学校の推移

資料：「学校基本調査報告書」（文部科学省）

資料9

和歌山県及び近隣府県における18歳人口の動向



単位：人

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
大阪府	79,549	77,444	75,810	72,724	74,656	74,713	74,111	72,708	72,562	71,415
京都府	23,145	22,715	22,289	22,141	22,002	21,802	21,601	21,145	21,082	20,714
兵庫県	51,482	49,970	49,030	47,255	49,243	49,327	49,254	47,898	48,166	47,397
奈良県	12,973	12,855	12,417	12,017	12,053	12,026	11,582	11,450	11,191	11,067
和歌山県	8,809	8,612	8,135	7,936	7,926	7,944	7,953	7,625	7,495	7,582
全国計	1,141,140	1,120,950	1,096,646	1,061,590	1,091,088	1,092,753	1,084,391	1,068,453	1,066,330	1,048,172

近畿地区（2府4県）における国公立大学と私立大学薬学部（6年制）

入学金、年間授業料、施設費等の平均額について

（令和2年度入学生）

大学名	学部名	学科名	入学金 （円）	年間授業料 （円）	施設費等 （円）	合計 （円）
和歌山県立 医科大学	薬学部	薬学科	（県内生） 282,000	535,800	-	（県内生） 817,800
			（県外生） 564,000			（県外生） 1,099,800
国立大学 （2校）	薬学部	薬学科	282,000	535,800	-	817,800
私立大学 （12校）	薬学部	薬学科 及び 医療薬学科	338,333	1,599,917	310,167	2,248,417

※入学金、年間授業料、施設費等の平均額については小数点第一位を四捨五入

※国立大学2校における入学金、年間授業料は同額

※入学金、年間授業料、施設費等については各大学のホームページより引用

本学による高等学校訪問実績

日付	高等学校名	所在地	参加人数
令和元年8月9日	初芝橋本（私立）	橋本市	先生との面談のみ
令和元年9月13日	日高（県立）	御坊市	9人
令和元年9月17日	向陽（県立）	和歌山市	43人
令和元年10月4日	智辯学園和歌山（私立）	和歌山市	54人
令和元年10月9日	近畿大学附属新宮（私立）	新宮市	13人
令和元年10月10日	桐蔭（県立）	和歌山市	40人
令和元年10月11日	和歌山信愛（私立）	和歌山市	74人
令和元年10月15日	海南（県立）	海南市	14人
令和元年10月31日	智辯学園（私立）	奈良県五條市	先生との面談のみ
令和元年11月1日	耐久（県立）	有田郡湯浅町	25人
令和元年11月11日	田辺（県立）	田辺市	16人
令和元年11月13日	那賀（県立）	岩出市	6人
令和元年11月14日	新宮（県立）	新宮市	10人
令和元年11月18日	近畿大学附属和歌山（私立）	和歌山市	26人
令和元年12月9日	星林（県立）	和歌山市	3人
令和元年12月18日	開智（私立）	和歌山市	50人
令和2年2月19日	開智（私立）	和歌山市	24人

※市町のための記載は和歌山県

1. 学生の確保見通し 資料12

2. 出典:毎日新聞

3. 引用範囲:2019年(令和元年)6月22日(土曜日) 9ページ

4. 和歌山に新設される大学(学部)の紹介記事の中で、和歌山県立医科大学薬学部が紹介されている記事を引用した。

資料13

和歌山県における薬剤師数等について

(厚生労働省「平成30年医師・歯科医師・薬剤師統計(平成30年12月末)」による)

【薬剤師総数及び業務種別の薬剤師数】

単位：人

	総数	薬局の従事者	病院・診療所の従事者
全 国	311,289	180,415	59,956
和 歌 山 県	2,326	1,200	554

【人口10万対の各圏域別薬局・医療施設に従事する薬剤師数】

単位：人

圏 域 名		総数	薬局の従事者	病院・診療所の従事者	
全 国		246.2	142.7	47.4	
和 歌 山 県		248.8	128.3	59.3	
県内保健医療圏	紀北地域	和歌山	330.3	167.1	73.8
		那 賀	170.1	92.6	38.8
		橋 本	212.7	141.0	36.4
	紀中地域	有 田	194.1	75.9	53.4
		御 坊	232.3	103.1	76.9
	紀南地域	田 辺	156.4	86.7	48.6
		新 宮	164.3	87.6	42.3

【薬局・医療施設に従事する薬剤師の平均年齢、業務の種別】

単位：歳

	総数 平均年齢	薬局の従事者 平均年齢	病院・診療所の従事者 平均年齢
全 国	46.4	46.7	42.7
和 歌 山 県	50.4(全国1位)	50.3(全国1位)	45.4(全国5位)

和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する
事業所アンケート及び企業アンケート

集 計 結 果

令和元年 1 2 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>	1
<アンケート集計結果概要>	2
<事業所アンケート回収表・集計表>	10
<企業アンケート回収表・集計表>	27
<アンケート調査票>	36

＜アンケート調査概要＞

1. アンケート調査の目的

和歌山県立医科大学では、薬剤師の育成及び臨床・薬学研究者育成を目指し、薬学部を設置する準備を進めており、薬学部卒業者の採用意向等を把握するために、薬局及び企業等を対象にアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

「和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する事業所アンケート調査」

「和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する企業アンケート調査」

3. 調査対象

事業所アンケート：和歌山県内の病院内薬局及び和歌山県薬剤師会会員薬局

企業アンケート：医薬品製造業等企業

4. 調査時期

事業所アンケート：令和元年7月～9月に調査を実施した。

企業アンケート：令和元年8月～9月に調査を実施した。

5. 調査方法

郵送によるアンケート調査票の事業所及び企業への配布、回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

6. 回収状況

事業所アンケート：354票 回収率 65.2% (回収数 354件 ÷ 依頼数 543件 × 100)

(回収表は P. 11～P. 17 を参照)

企業アンケート：131票 回収率 23.1% (回収数 131件 ÷ 依頼数 566件 × 100)

(回収表は P. 28～P. 30 を参照)

<アンケート集計結果概要>

和歌山県立医科大学薬学部設置に関する事業所アンケート及び企業アンケートの集計結果の概要については以下の通りである。

(1) 属性

① 所在地

<事業所アンケート>

回答薬局等の所在地は、「和歌山保健医療圏（和歌山市、海南市、紀美野町）」が42.4%（150件）で最も多く、4割強を占めている。その他の地域については、「田辺保健医療圏（田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町）」が14.7%（52件）、「那賀保健医療圏（紀の川市、岩出市）」が11.6%（41件）、「橋本保健医療圏（橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町）」が11.0%（39件）などである。

<企業アンケート>

回答企業の所在地は、「東京都」が35.7%（47件）で最も多く、次いで「大阪府」21.7%（29件）が多い。そのほか、「愛知県」と「兵庫県」が6.2%（8件）、「富山県」が5.4%（7件）などである。

② 種別・主な商品

<事業所アンケート>

回答薬局等の種別は、「保険調剤薬局」が78.2%（277件）で最も多く、回答者の約8割は保険調剤薬局である。そのほか、「病院内薬局・薬剤部」は15.3%（54件）、「ドラッグストア」は2.0%（7件）である。

<企業アンケート>

回答企業の主な商品（複数回答）は、「医療用医薬品」が64.9%（85件）で最も多く、次いで「OTC医薬品（一般用医薬品、要指導医薬品）」45.8%（60件）、「健康食品（機能性表示食品、特定保健用食品、サプリメント等）」24.4%（32件）などである。

③ 薬剤師の人数

<事業所アンケート>

回答薬局等における薬剤師の人数は、正規職員としての薬剤師が「1人」の薬局等が42.7%（151件）で最も多く、次いで「2人」27.4%（97件）、「3人」14.7%（52件）となっている。非正規職員としての薬剤師については、「0人」が44.4%（157件）で最も多く、次いで「1人」29.7%（105件）、「2人」14.7%（52件）となっている。

④ 従業員規模

<企業アンケート>

回答企業の従業員規模は、「100～299人」が26.0%（34件）で最も多く、次いで「300～499人」16.0%（21件）、「20～49人」13.7%（18件）、「50～99人」10.7%（14件）などとなっている。

（2）薬剤師の充足状況

薬剤師の充足状況をみると、薬局等では「充足している」が44.9%（159件）で最も多いが、「少し不足している」も41.0%（145件）を占めている。また、「かなり不足している」は13.8%（49件）であり、「少し不足している」と「かなり不足している」を合計

	薬局等		企業	
	件数	%	件数	%
1 充足している	159	44.9	45	34.4
2 少し不足している	145	41.0	72	55.0
3 かなり不足している	49	13.8	12	9.2
不明	1	0.3	2	1.5
合計	354	100.0	131	100.0

すると、54.8%の薬局等において薬剤師が不足している。

一方、企業においては、「少し不足している」が55.0%（72件）で最も多く、「充足している」は34.4%（45件）となっている。「かなり不足している」は9.2%（12件）であり、「少し不足している」と「かなり不足している」を合計すると、64.2%の企業は薬剤師が不足している。

薬局等及び企業ともに、必要な人数の薬剤師を確保できていないところが過半数を占めており、薬剤師が不足している状況がうかがえる。

また、薬局等における薬剤師の充足状況について和歌山県内の地域別状況をみると、新宮保健医療圏では65.4%（17件）の薬局等が「充足している」と回答しており、全地域の中で最も高い割合を示している。御坊保健医療圏では59.1%（13件）、橋本保健医療圏では56.4%（22件）、有田保健医療圏では54.2%（13件）の薬局等が「充足し

ている」と回答しており、これらの地域では、半数以上の薬局等で薬剤師は充足している。これに対し和歌山保健医療圏では「少し不足している」が49.3%（74件）で最も多く、「かなり不足している」の13.3%（20件）と合わせると、62.6%の薬局等において薬剤師が不足していることになる。また、田辺保健医療圏においても「少し不足している」が48.1%（25件）、「かなり不足している」が13.5%（7件）、那賀保健医療圏は「少し不足している」が41.5%（17件）、「かなり不足している」が12.2%（5件）であり、いずれも薬剤師が不足している薬局等が半数以上を占めている。

		上段：件数、下段：%				
		1 充足して いる	2 少し不足 している	3 かなり不 足している	不明	合計
事業所の所在地	和歌山保健医療圏（和歌山市、海南市、紀美野町）	56 37.3	74 49.3	20 13.3	-	150 100.0
	那賀保健医療圏（紀の川市、岩出市）	18 43.9	17 41.5	5 12.2	1 2.4	41 100.0
	橋本保健医療圏（橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町）	22 56.4	11 28.2	6 15.4	-	39 100.0
	有田保健医療圏（有田市、湯浅町、広川町、有田川町）	13 54.2	8 33.3	3 12.5	-	24 100.0
	御坊保健医療圏（御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町）	13 59.1	6 27.3	3 13.6	-	22 100.0
	田辺保健医療圏（田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町）	20 38.5	25 48.1	7 13.5	-	52 100.0
	新宮保健医療圏（新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町）	17 65.4	4 15.4	5 19.2	-	26 100.0
	不明	-	-	-	-	-
	合計	159 44.9	145 41.0	49 13.8	1 0.3	354 100.0

（3）近年の薬剤師の採用状況

近年の薬剤師の採用状況を見ると、薬局等では「薬剤師の確保（採用）は難しくなっている」が38.4%（136件）で最も多く、4割近い薬局等が薬剤師の確保に困難さを感じている。また、「薬剤師の確保（採用）はで

	薬局等		企業	
	件数	%	件数	%
1 十分な数の薬剤師を確保（採用）できている	105	29.7	33	25.2
2 薬剤師の確保（採用）はできているが十分ではない	95	26.8	43	32.8
3 薬剤師の確保（採用）は難しくなっている	136	38.4	45	34.4
4 その他	17	4.8	8	6.1
不明	1	0.3	2	1.5
合計	354	100.0	131	100.0

きているが十分ではない」は 26.8% (95 件) であり、これらを合わせると 65.2% (231 件) の薬局等では、思うように薬剤師を確保することができていないと考えられる。一方、「十分な数の薬剤師を確保 (採用) できている」と回答したのは 29.7% (105 件) であり、約 3 割程度に留まっている。

企業における薬剤師の採用状況は、薬局等と同じく「薬剤師の確保 (採用) は難しくなっている」が 34.4% (45 件) で最も多い。また、「薬剤師の確保 (採用) はできているが十分ではない」は 32.8% (43 件) であり、これらを合わせると 67.2% (88 件) の企業では、思うように薬剤師を確保することができていないと考えられる。「十分な数の薬剤師を確保 (採用) できている」は 25.2% (33 件) であり、薬局等よりも企業の方が薬剤師の確保が難しくなっていることがうかがえる。

また、薬局等における薬剤師の採用状況について和歌山県内の地域別状況をみると、新宮保健医療圏では 53.8% (14 件) の薬局等が「十分な数の薬剤師を確保 (採用) できている」と回答しており、全地域の中で最も回答割合が高い。これに対し和歌山保健医療圏では「薬剤師の確保 (採用) は難しくなっている」が 42.7% (64 件) で最も多く、田辺保健医療圏も 44.2% (23 件)、那賀保健医療圏も 36.6% (15 件) が「薬剤師の確保 (採用) は難しくなっている」と回答している。十分な数の薬剤師を確保できているとする薬局等が半数以上を占めている地域は新宮保健医療圏のみであり、他の地域では十分な数の薬剤師を確保できていない薬局等が半数以上を占めている。

上段：件数、下段：%

		1	2	3	4	不明	合計
		十分な数の薬剤師を確保(採用)できている	薬剤師の確保(採用)はできているが十分ではない	薬剤師の確保(採用)は難しくなっている	その他		
事業所の所在地	和歌山保健医療圏（和歌山市、海南市、紀美野町）	34 22.7	45 30.0	64 42.7	7 4.7	-	150 100.0
	那賀保健医療圏（紀の川市、岩出市）	13 31.7	9 22.0	15 36.6	3 7.3	1 2.4	41 100.0
	橋本保健医療圏（橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町）	13 33.3	11 28.2	12 30.8	3 7.7	-	39 100.0
	有田保健医療圏（有田市、湯浅町、広川町、有田川町）	9 37.5	9 37.5	6 25.0	-	-	24 100.0
	御坊保健医療圏（御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町）	9 40.9	5 22.7	7 31.8	1 4.5	-	22 100.0
	田辺保健医療圏（田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町）	13 25.0	15 28.8	23 44.2	1 1.9	-	52 100.0
	新宮保健医療圏（新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町）	14 53.8	1 3.8	9 34.6	2 7.7	-	26 100.0
	不明	-	-	-	-	-	-
	合計	105 29.7	95 26.8	136 38.4	17 4.8	1 0.3	354 100.0

（４）今後の薬剤師の人数

今後の薬剤師の人数についてみると、薬局等では「薬剤師の人数を増やしたい」が47.7%（169件）で最も多く、「薬剤師の人数は現状のままでよい」は45.8%（162件）となっている。

一方、企業では「薬剤師の人数を増やしたい」が61.8%（81件）であ

り、大半の企業が今後薬剤師の人数を増やしたいと考えている。「薬剤師の人数は現状のままでよい」は27.5%（36件）である。

薬局等における今後の薬剤師の人数について和歌山県内の地域別状況をみると、那賀保健医療圏では56.1%（23件）の薬局等が「薬剤師の人数を増やしたい」と回答しており、和歌山保健医療圏でも56.0%（84件）の薬局等が「薬剤師の人数を増やした

	薬局等		企業	
	件数	%	件数	%
1 薬剤師の人数を増やしたい	169	47.7	81	61.8
2 薬剤師の人数は現状のままでよい	162	45.8	36	27.5
3 薬剤師の人数を減らしたい	5	1.4	0	0.0
4 その他	17	4.8	13	9.9
不明	1	0.3	1	0.8
合計	354	100.0	131	100.0

い」と回答している。また、有田保健医療圏では 45.8%（11 件）、田辺保健医療圏では 42.3%（22 件）、橋本保健医療圏では 41.0%（16 件）が「薬剤師の人数を増やしたい」と回答しているが、これら 3 地域では「薬剤師の人数は現状のままでよい」との回答が 5 割程度を占めている。新宮保健医療圏及び御坊保健医療圏では、「薬剤師の人数を増やしたい」との回答はそれぞれ 26.9%及び 27.3%であり、3 割に満たない。

上段：件数、下段：%

	1	2	3	4	不明	合計	
	薬剤師の人数を増やしたい	薬剤師の人数は現状のままでよい	薬剤師の人数を減らしたい	その他			
事業所の所在地	和歌山保健医療圏（和歌山市、海南市、紀美野町）	84	62	-	4	-	150
		56.0	41.3	-	2.7	-	100.0
	那賀保健医療圏（紀の川市、岩出市）	23	13	2	2	1	41
		56.1	31.7	4.9	4.9	2.4	100.0
	橋本保健医療圏（橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町）	16	21	1	1	-	39
		41.0	53.8	2.6	2.6	-	100.0
	有田保健医療圏（有田市、湯浅町、広川町、有田川町）	11	12	-	1	-	24
		45.8	50.0	-	4.2	-	100.0
	御坊保健医療圏（御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町）	6	12	-	4	-	22
		27.3	54.5	-	18.2	-	100.0
田辺保健医療圏（田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町）	22	26	1	3	-	52	
	42.3	50.0	1.9	5.8	-	100.0	
新宮保健医療圏（新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町）	7	16	1	2	-	26	
	26.9	61.5	3.8	7.7	-	100.0	
不明	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
合計	169	162	5	17	1	354	
	47.7	45.8	1.4	4.8	0.3	100.0	

（５）和歌山県立医科大学薬学部卒業生に対する採用意向

和歌山県立医科大学薬学部卒業生を採用することについて尋ねたところ、薬局等では「採用したい」が 39.5%（140 件）で最も多く、約 4 割を占めている。また、「採用を検討したい」が 32.5%（115 件）であり、

	薬局等		企業	
	件数	%	件数	%
1 採用したい	140	39.5	46	35.1
2 採用を検討したい	115	32.5	57	43.5
3 採用は考えない	61	17.2	17	13.0
4 その他	35	9.9	11	8.4
不明	3	0.8	46	35.1
合計	354	100.0	131	100.0

これらを合わせると 72.0%（255 件）の薬局等は、薬学部卒業生の採用について関心があると言える。

資料 14

一方、企業では「採用したい」は35.1%（46件）であり、約3分の1の企業が薬学部卒業生を採用したいと回答している。また、「採用を検討したい」が43.5%（57件）で最も多く、これらを合わせると78.6%（103件）の企業が薬学部卒業生の採用に関心を示している。

以上のことから、薬局等だけでも薬学部の入学定員100人を超える140件の採用意向が確認でき、さらに企業においても46件の採用意向があることから、薬学部卒業生に対する需要は十分にあると考えられる。

また、薬局等における和歌山県立医科大学薬学部卒業生の採用意向について和歌山県内の地域別状況をみると、「採用したい」と回答した薬局等の割合が最も高いのは和歌山保健医療圏の46.7%（70件）であり、次いで那賀保健医療圏の39.0%（16件）、有田保健医療圏の37.5%（9件）、新宮保健医療圏の34.6%（9件）などとなっている。

上段：件数、下段：%

		1 採用したい	2 採用を検討したい	3 採用は考えない	4 その他	不明	合計
事業所の所在地	和歌山保健医療圏（和歌山市、海南市、紀美野町）	70	51	17	12	-	150
		46.7	34.0	11.3	8.0	-	100.0
	那賀保健医療圏（紀の川市、岩出市）	16	14	7	2	2	41
		39.0	34.1	17.1	4.9	4.9	100.0
	橋本保健医療圏（橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町）	11	13	10	5	-	39
		28.2	33.3	25.6	12.8	-	100.0
	有田保健医療圏（有田市、湯浅町、広川町、有田川町）	9	6	6	3	-	24
		37.5	25.0	25.0	12.5	-	100.0
	御坊保健医療圏（御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町）	6	9	3	4	-	22
		27.3	40.9	13.6	18.2	-	100.0
田辺保健医療圏（田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町）	19	15	10	7	1	52	
	36.5	28.8	19.2	13.5	1.9	100.0	
新宮保健医療圏（新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町）	9	7	8	2	-	26	
	34.6	26.9	30.8	7.7	-	100.0	
不明	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
合計	140	115	61	35	3	354	
	39.5	32.5	17.2	9.9	0.8	100.0	

＜事業所アンケート回収表・集計表＞

和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する事業所アンケート 回収表

回収日	ID	施設名称 1	施設名称 2	所属	区分
和歌山県内病院内薬局 55 件					
8.13	1	橋本市民病院		薬剤部	病院
8.29	2	医療法人南労会	紀和病院	薬剤部	病院
8.01	4	和歌山県立医科大学附属病院	紀北分院	薬局	病院
9.05	5	医療法人共栄会	名手病院	薬局	病院
8.16	7	社会医療法人三車会	貴志川リハビリテーション病院	薬剤部	病院
8.27	8	殿田胃腸肛門病院		薬剤部	病院
8.02	9	医療法人宮本会	紀の川病院	薬剤部	病院
8.01	12	医療法人明成会	向井病院	薬剤部	病院
7.30	13	独立行政法人労働者健康安全機構	和歌山労災病院	薬剤部	病院
8.01	14	医療法人青松会	河西田村病院	薬局	病院
8.06	15	医療法人愛晋会	中江病院	薬剤部	病院
9.03	16	医療法人良友会	西和歌山病院	薬局	病院
8.01	17	医療法人博文会	紀泉K Dクリニック	薬局	病院
8.02	19	医療法人 田村病院		薬局	病院
8.16	21	和歌山生協病院		薬剤課	病院
7.31	22	医療法人久仁会	宇都宮病院	薬局	病院
7.30	23	医療法人裕紫会	中谷病院	薬剤科	病院
8.02	28	和歌山県立医科大学附属病院		薬剤部	病院
8.01	29	日本赤十字社和歌山医療センター		薬剤部	病院
8.05	30	社会福祉法人恩賜財団	済生会和歌山病院	薬剤部	病院
8.01	33	医療法人 橋本病院		薬局	病院
7.30	36	医療法人了生会	古梅記念病院	薬局	病院
8.06	37	医療法人やすだ	堀口記念病院	薬剤科	病院
8.22	38	医療法人杏林会	嶋病院	薬局	病院
8.06	39	医療法人博文会	児玉病院	薬局	病院
8.19	40	医療法人 須佐病院	須佐病院	薬局	病院
8.23	41	医療法人 高山病院		薬局	病院
8.02	42	医療法人弘仁会	瀬藤病院	薬剤部	病院
8.02	43	医療法人曙会	和歌浦中央病院	薬剤部	病院
8.02	44	医療法人 宮本病院		薬剤部	病院
8.02	45	医療法人 藤民病院		薬剤部	病院
8.06	47	琴の浦リハビリテーションセンター附属病院		薬剤部	病院
7.30	48	国保野上厚生総合病院		薬局	病院
8.02	49	海南医療センター		薬剤科	病院
9.17	50	医療法人恵友会	恵友病院	薬剤部	病院
8.06	52	医療法人千徳会	桜ヶ丘病院	薬局	病院
8.05	53	有田市立病院		薬局	病院
8.02	54	和歌山県立こころの医療センター		薬局	病院
8.06	55	医療法人たちばな会	西岡病院	薬剤部	病院
8.19	57	社会福祉法人恩賜財団	済生会有田病院	薬剤部	病院
7.30	58	国保日高総合病院		薬局	病院
8.22	60	紀伊クリニック		薬剤部	病院
7.30	61	医療法人 深谷外科医院		薬局	病院
8.08	64	医療法人洗心会	玉置病院	薬局	病院
7.31	66	紀南こころの医療センター		薬剤部	病院
8.16	67	独立行政法人国立病院機構	南和歌山医療センター	薬剤科	病院
7.30	68	医療法人研医会	田辺中央病院	薬局	病院
7.30	69	平畑医院		薬局	病院
7.30	70	社福法人	南紀医療福祉センター附属病院	薬剤科	病院
8.06	71	公益財団法人白浜医療福祉財団	白浜はまゆう病院	薬局	病院
8.06	72	国保すさみ病院		薬局	病院
8.06	73	くしもと町立病院		薬局	病院

回収日	ID	施設名称 1	施設名称 2	所属	区分
7.30	75	医療法人 潮岬病院		薬局	病院
8.02	76	那智勝浦温泉病院		薬局	病院
7.30	78	新宮市立医療センター		薬剤部	病院

回収日	ID	施設名称	区分
和歌山県薬剤師会会員薬局 299 件			
7.30	80	(株)赤門薬局	薬剤師会
8.02	82	秋葉山エス調剤薬局	薬剤師会
7.30	83	あけぼの薬局 和歌山ろうさい病院前店	薬剤師会
8.01	84	あすなろ薬局そのべ調剤	薬剤師会
8.01	85	アトム調剤薬局	薬剤師会
7.31	86	アニマ薬局	薬剤師会
8.01	87	アハト調剤薬局	薬剤師会
9.02	88	アルテ調剤薬局	薬剤師会
7.31	91	E薬局	薬剤師会
7.30	93	イサオ薬局	薬剤師会
7.30	94	いちみや調剤薬局	薬剤師会
8.29	96	(有)岩本薬局市駅前店	薬剤師会
8.06	100	エイ・ディー薬局太田店	薬剤師会
8.01	102	エース薬局高松店	薬剤師会
8.23	104	エグチ薬局	薬剤師会
7.30	106	エグチ薬局内原店	薬剤師会
8.27	107	エグチ薬局堀止店	薬剤師会
8.01	109	エバグリーン薬局塩屋店	薬剤師会
8.02	113	エバグリーン薬局広瀬店	薬剤師会
7.30	116	エム・エス・21 薬局善明寺店	薬剤師会
8.06	118	江本薬局	薬剤師会
7.30	119	オードラッグメッサガーデンパーク薬局	薬剤師会
7.30	120	オカモト薬局	薬剤師会
8.08	121	おくすり館 uruco 薬局	薬剤師会
8.14	122	おくすりセンター薬局(薬剤師会)	薬剤師会
8.01	123	ガーデン薬局	薬剤師会
8.01	124	カイセイ薬局	薬剤師会
7.30	126	かるがも薬局和歌山駅前店	薬剤師会
7.31	127	かるがも薬局和歌山店	薬剤師会
8.07	128	川本薬局	薬剤師会
7.30	130	キウイ調剤薬局	薬剤師会
7.30	131	きのくに薬局	薬剤師会
8.02	134	紀三井寺薬局	薬剤師会
8.05	136	銀明堂薬局紀三井寺調剤	薬剤師会
8.29	137	銀明堂薬局くすみ調剤	薬剤師会
8.30	139	銀明堂薬局六十谷支店	薬剤師会
8.20	140	(株)くまの薬局松江店	薬剤師会
8.27	142	ジョイントキア こうしん堂薬局	薬剤師会
7.30	143	国道薬局	薬剤師会
8.01	145	コスモファーマ薬局日赤前店	薬剤師会
8.14	147	コスモファーマ薬局美園店	薬剤師会
8.01	151	さかた薬局	薬剤師会
8.19	152	サクラ調剤薬局	薬剤師会
8.02	155	サン調剤薬局	薬剤師会
8.01	156	サン調剤薬局東長町店	薬剤師会
7.30	157	サンテ薬局	薬剤師会
8.06	158	塩屋調剤薬局	薬剤師会
8.02	164	真進堂薬局	薬剤師会

回収日	ID	施設名称	区分
8.14	165	真進堂薬局高松店	薬剤師会
8.27	168	すみれ調剤薬局	薬剤師会
8.01	174	(株)第一薬局	薬剤師会
8.01	175	(株)第一薬局医大前	薬剤師会
8.06	176	(株)第一薬局川永	薬剤師会
8.01	178	(株)第一薬局小雑賀	薬剤師会
8.01	179	(株)第一薬局鳴神	薬剤師会
8.29	180	(株)第一薬局宮	薬剤師会
8.13	181	(株)第一薬局吉田	薬剤師会
7.30	182	(株)第一薬局和佐	薬剤師会
7.30	183	タイガー薬局県庁前店	薬剤師会
7.30	184	タイガー薬局十番丁店	薬剤師会
8.13	185	タイガー薬局本店	薬剤師会
8.08	188	タイコー堂薬局柳通り店	薬剤師会
7.30	190	(有)大陸薬局楠見支店	薬剤師会
7.30	191	大陸薬局園部店	薬剤師会
7.31	192	(有)大陸薬局野崎支店	薬剤師会
8.21	193	タバタ薬局	薬剤師会
8.09	194	たんぼぼ薬局和歌山医大前店	薬剤師会
8.23	195	たんぼぼ薬局和歌山日赤前店	薬剤師会
8.14	196	(株)チカソエ保険調剤薬局六十谷グリーンライフ	薬剤師会
8.02	197	中央薬局	薬剤師会
7.31	198	調剤薬局コスモス	薬剤師会
8.02	199	調剤薬局ネットワーク	薬剤師会
8.02	200	調剤薬局ネットワーク榎原店	薬剤師会
8.01	201	調剤薬局ネットワーク栄谷店	薬剤師会
8.02	204	調剤薬局ホンダ西庄中央店	薬剤師会
7.31	206	テラウチ調剤薬局北野店	薬剤師会
8.01	208	なかい薬局	薬剤師会
8.20	211	なの花薬局堀止店	薬剤師会
8.01	212	ナンゴウ薬局楠見店	薬剤師会
7.31	215	のぞみ薬局	薬剤師会
8.06	216	のぞみ薬局日赤前店	薬剤師会
7.31	217	浜の宮和漢薬局	薬剤師会
7.30	218	阪神調剤薬局紀の川店	薬剤師会
8.05	220	阪神調剤薬局和歌山日赤店	薬剤師会
7.30	221	ピーチ調剤薬局	薬剤師会
8.02	222	ファーコス薬局たくみ	薬剤師会
8.05	226	藤井薬局	薬剤師会
8.14	227	ふたば調剤薬局	薬剤師会
8.06	229	フロンティア薬局和歌山日赤前店	薬剤師会
8.29	230	ホーム薬局	薬剤師会
8.14	231	保険調剤薬局グリーンライフ	薬剤師会
8.02	234	保険調剤薬局トーフ加納店	薬剤師会
8.02	238	ほのぼの薬局	薬剤師会
7.30	239	堀止調剤薬局	薬剤師会
8.05	242	(有)松本薬局雄湊店	薬剤師会
7.31	245	(有)松本薬局和歌浦店	薬剤師会
7.30	246	マリーン薬局	薬剤師会
8.01	251	(株)互恩 みやび調剤薬局	薬剤師会
8.01	253	みやま薬局	薬剤師会
8.08	254	六十谷調剤薬局	薬剤師会
8.06	255	(株)めいよう薬局	薬剤師会
8.05	259	やすはら薬局和田店	薬剤師会
7.30	264	ライフ調剤薬局	薬剤師会

回収日	ID	施設名称	区分
8.23	265	ルピナス調剤薬局	薬剤師会
8.20	266	レディース調剤薬局	薬剤師会
8.27	270	あおぞら薬局	薬剤師会
8.02	271	うつみ薬局	薬剤師会
7.31	274	下津薬局	薬剤師会
8.15	275	新町調剤薬局	薬剤師会
8.08	276	センター薬局	薬剤師会
8.22	278	(株)第一薬局日方	薬剤師会
8.01	281	日本調剤紀美野薬局	薬剤師会
8.01	283	平成薬局	薬剤師会
7.30	284	保険調剤薬局朝日海南店	薬剤師会
8.14	285	マエダ薬局	薬剤師会
7.30	287	みき薬局	薬剤師会
8.14	288	薬局天狗堂	薬剤師会
8.01	289	(有)ヤマモト薬局	薬剤師会
8.27	290	ユーコー薬局	薬剤師会
8.26	291	ユーコー薬局海南	薬剤師会
8.29	292	ゆうゆう薬局	薬剤師会
8.01	295	あおば薬局	薬剤師会
8.09	296	岩出メディカルタウン調剤薬局	薬剤師会
8.27	297	エール薬局	薬剤師会
8.09	298	エール薬局岩出店	薬剤師会
8.09	299	エコ薬局岩出店	薬剤師会
8.01	301	金尾製薬(株)薬局部	薬剤師会
8.21	302	きぼう薬局粉河店	薬剤師会
8.29	305	銀明堂薬局打田支店	薬剤師会
8.29	306	銀明堂薬局ねごろ支店	薬剤師会
7.30	309	粉河本町薬局	薬剤師会
8.02	310	小嶋薬局	薬剤師会
8.20	311	コスモス薬局	薬剤師会
7.30	312	コスモファーマ薬局井ノ口店	薬剤師会
8.26	313	コスモファーマ薬局丸栖店	薬剤師会
8.05	315	ジップドラッグ東洋岩出薬局	薬剤師会
8.08	316	ジップドラッグ長山薬局	薬剤師会
8.07	319	タカダ薬局	薬剤師会
7.30	320	タケベ薬局	薬剤師会
7.30	321	田端薬局	薬剤師会
9.03	322	(株)調剤薬局ホンダ貴志川店	薬剤師会
7.31	323	ツジ薬局	薬剤師会
8.01	324	データ・ボックス薬局	薬剤師会
8.06	326	テラウチ薬局岩出店	薬剤師会
8.06	327	テラウチ薬局上岩出店	薬剤師会
8.01	328	とまつ薬局	薬剤師会
7.30	330	名手駅前薬局	薬剤師会
7.31	331	日本調剤紀の川薬局	薬剤師会
8.02	332	(有)ファミリー薬局	薬剤師会
8.01	333	松浦薬局	薬剤師会
8.05	334	みどり薬局	薬剤師会
7.30	335	みふく薬局	薬剤師会
8.06	336	みふく薬局粉河店	薬剤師会
8.05	337	ヤスイ薬局打田	薬剤師会
7.30	339	薬局 紀征	薬剤師会
8.01	340	山路薬局岩出店	薬剤師会
7.30	341	ゆうあい薬局	薬剤師会
7.30	343	ローズ調剤薬局	薬剤師会

回収日	ID	施設名称	区分
7.30	345	愛民堂調剤薬局	薬剤師会
7.30	346	愛民堂薬局	薬剤師会
7.30	347	アオイ薬局	薬剤師会
9.10	348	(有)いしい薬局	薬剤師会
7.30	349	伊都薬局小峰台	薬剤師会
8.01	350	ウェーブ薬局 紀伊山田店	薬剤師会
8.01	352	大谷薬局	薬剤師会
8.01	354	カモメ薬局	薬剤師会
8.02	355	紀北調剤薬局	薬剤師会
8.16	356	紀北薬局おみね店	薬剤師会
7.30	360	キリン堂薬局御幸辻店	薬剤師会
8.20	363	こうや総合調剤薬局	薬剤師会
8.30	364	コジマ調剤薬局	薬剤師会
7.31	365	コスモス薬局	薬剤師会
7.30	366	ごんべえドリ薬局	薬剤師会
7.30	367	ごんべえドリ薬局(かつらぎ店)	薬剤師会
7.31	368	ごんべえドリ薬局紀見店	薬剤師会
8.14	370	三平薬局かつらぎ	薬剤師会
7.30	371	三宝堂薬局	薬剤師会
7.30	372	順敬堂薬局	薬剤師会
8.02	374	スズラン薬局九度山店	薬剤師会
8.14	377	タイコー堂薬局高野口店	薬剤師会
8.01	378	調剤薬局ショウワしらさぎ台店	薬剤師会
7.30	380	とらや薬局	薬剤師会
7.30	381	(株)中谷薬局	薬剤師会
8.20	382	西山薬局	薬剤師会
8.15	383	はぎはら薬局	薬剤師会
7.30	384	橋本うめ薬局	薬剤師会
8.20	385	ヒラノ薬局	薬剤師会
8.01	386	フロンティア薬局かつらぎ店	薬剤師会
8.09	387	保険調剤ハーブ薬局	薬剤師会
7.30	388	松林薬局	薬剤師会
8.27	389	メイプル薬局	薬剤師会
7.31	390	森下薬局	薬剤師会
8.14	392	ヨシダ薬局	薬剤師会
7.30	393	ヨシダ薬局	薬剤師会
8.01	394	アーク薬局	薬剤師会
7.30	395	アイリス調剤薬局	薬剤師会
8.01	396	粟生調剤薬局	薬剤師会
8.05	397	アリダ薬局	薬剤師会
7.30	398	アリダ薬局湯浅店	薬剤師会
8.01	399	イケナガ薬局	薬剤師会
8.29	400	エース薬局みのしま店	薬剤師会
8.27	402	オレンジ調剤薬局	薬剤師会
8.02	403	ガトウ薬局	薬剤師会
7.30	404	金屋調剤薬局	薬剤師会
8.20	405	かもめ薬局	薬剤師会
8.09	408	下津薬局初島店	薬剤師会
8.01	409	そまの薬局	薬剤師会
8.02	410	たちばな薬局	薬剤師会
8.01	413	中野薬局	薬剤師会
8.01	414	橋爪薬局	薬剤師会
8.02	415	初島薬局	薬剤師会
7.30	417	ヒラオ薬局	薬剤師会
8.02	418	フジヤ薬局	薬剤師会

回収日	ID	施設名称	区分
8.01	421	モリ薬局	薬剤師会
8.01	423	池田薬局	薬剤師会
9.02	424	駅前薬局	薬剤師会
7.30	425	おおぐす薬局	薬剤師会
8.26	426	大堀薬局	薬剤師会
7.30	427	オレンジ薬局	薬剤師会
8.23	428	北出薬局	薬剤師会
7.30	430	喜多芳雲堂薬局	薬剤師会
8.01	431	幸生堂薬局	薬剤師会
7.30	432	幸生堂薬局	薬剤師会
7.30	433	ゴボウ薬局美浜店	薬剤師会
7.30	434	小松原薬局	薬剤師会
7.30	435	しらい薬局	薬剤師会
7.30	438	ティ・エム薬局	薬剤師会
7.30	440	なんかい薬局	薬剤師会
7.30	441	はあと薬局	薬剤師会
7.30	443	日高会堂調剤薬局	薬剤師会
8.06	444	ひなた薬局	薬剤師会
7.31	445	古川薬局	薬剤師会
8.05	446	古久保薬局	薬剤師会
8.02	448	みさお薬局	薬剤師会
8.01	450	三ツ星薬局御坊店	薬剤師会
7.31	452	みなべ川薬局	薬剤師会
8.02	454	薬局スーパードラッグキリン御坊店	薬剤師会
8.08	455	Yamashita Pharmacy	薬剤師会
9.30	456	わかば薬局	薬剤師会
8.01	457	アィム薬局	薬剤師会
8.01	458	アィン薬局南紀白浜店	薬剤師会
8.01	459	アトム調剤薬局	薬剤師会
8.01	460	上西薬局	薬剤師会
8.02	461	(有)ウエムラ薬局	薬剤師会
8.22	464	かるがも薬局田辺店	薬剤師会
7.31	465	紀南病院前会堂調剤薬局	薬剤師会
8.29	466	(有)紀南薬局	薬剤師会
8.23	468	切目屋調剤薬局神島台支店	薬剤師会
8.01	469	切目屋調剤薬局上屋敷支店	薬剤師会
8.05	470	切目屋調剤薬局下三栖岩屋支店	薬剤師会
8.01	471	切目屋調剤薬局中屋敷支店	薬剤師会
8.01	472	楠本薬局	薬剤師会
7.31	473	くちい薬局	薬剤師会
8.01	474	(株)くまの薬局	薬剤師会
7.30	475	くまの薬局明洋店	薬剤師会
8.02	478	サカエ薬局	薬剤師会
7.30	479	さくらの薬局	薬剤師会
8.14	480	さくらの薬局鮎川支店	薬剤師会
8.01	482	さんばし薬局	薬剤師会
8.22	484	サンライトなかよし薬局たきない店	薬剤師会
8.05	488	ダック調剤薬局あいづ店	薬剤師会
8.01	489	田辺会堂調剤薬局	薬剤師会
8.19	490	調剤薬局花みかんすくま店	薬剤師会
8.01	493	調剤薬局花みかんはるる店	薬剤師会
8.20	494	(有)出嶋調剤薬局	薬剤師会
7.30	496	(有)出嶋薬局朝来店	薬剤師会
8.14	497	(有)出嶋薬局駅前店	薬剤師会
8.02	498	(有)出嶋薬局たきない店	薬剤師会

回収日	ID	施設名称	区分
8.06	500	とらや薬局目良店	薬剤師会
7.30	501	ナカヤドラッグ薬局	薬剤師会
8.02	502	和み調剤薬局	薬剤師会
8.02	503	ナリタ薬局	薬剤師会
7.30	504	八仙堂薬局	薬剤師会
8.02	505	ヒロセ調剤薬局	薬剤師会
8.20	507	プライム薬局田辺店	薬剤師会
7.30	510	ポプラ調剤薬局神島店	薬剤師会
7.31	513	薬局スーパードラッグキリン万呂店	薬剤師会
7.30	517	オリーブ薬局	薬剤師会
8.02	519	加治薬局	薬剤師会
8.01	521	加藤薬局	薬剤師会
8.06	522	きのした薬局	薬剤師会
8.01	523	貴船薬局天満店	薬剤師会
8.01	524	(有)切目屋薬局	薬剤師会
7.30	525	(有)ササヤ薬局	薬剤師会
8.27	526	さんご薬局	薬剤師会
8.27	528	じねん堂松村薬局	薬剤師会
8.06	529	(有)新宮薬剤師会会営薬局	薬剤師会
8.01	530	すみれ調剤薬局	薬剤師会
8.01	531	天使の空薬局下里店	薬剤師会
8.01	532	中根薬局	薬剤師会
8.06	533	なごみ薬局	薬剤師会
8.01	534	はまぐち薬局	薬剤師会
9.02	535	はまゆう調剤薬局	薬剤師会
8.01	537	ひかり調剤薬局いのさわ店	薬剤師会
8.06	538	聖薬局新宮店	薬剤師会
9.03	539	みさき薬局	薬剤師会
7.30	540	緑ヶ丘薬局	薬剤師会
8.02	541	みらい薬局	薬剤師会
8.30	543	モーリ薬局	薬剤師会

回収票総数 354 件

和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する事業所アンケート

集 計 表

〔有効回答票：354 票〕

問 1 貴事業所の所在地について、次の中から該当する番号を1つお選びください。

	件数	%
1 和歌山保健医療圏（和歌山市、海南市、紀美野町）	150	42.4
2 那賀保健医療圏（紀の川市、岩出市）	41	11.6
3 橋本保健医療圏（橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町）	39	11.0
4 有田保健医療圏（有田市、湯浅町、広川町、有田川町）	24	6.8
5 御坊保健医療圏（御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町）	22	6.2
6 田辺保健医療圏（田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町）	52	14.7
7 新宮保健医療圏（新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町）	26	7.3
合 計	354	100.0

問 2 貴事業所の種別についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

	件数	%
1 保険調剤薬局	277	78.2
2 病院内薬局・薬剤部	54	15.3
3 ドラッグストア	7	2.0
4 その他	16	4.5
合 計	354	100.0

問3 貴事業所の現在勤務している薬剤師の人数について、正規職員及び非正規職員（パート、アルバイト等）ごとにご記入ください。

正規職員の薬剤師

	件数	%
1 0人	3	0.8
2 1人	151	42.7
3 2人	97	27.4
4 3人	52	14.7
5 4人	21	5.9
6 5人	10	2.8
7 6人~10人	14	4.0
8 11人~20人	4	1.1
9 21人以上	2	0.6
合 計	354	100.0

非正規職員の薬剤師（パート、アルバイト等）の薬剤師

	件数	%
1 0人	157	44.4
2 1人	105	29.7
3 2人	52	14.7
4 3人	21	5.9
5 4人	12	3.4
6 5人以上	7	2.0
合 計	354	100.0

合 計

	件数	%
1 0人	1	0.3
2 1人	72	20.3
3 2人	92	26.0
4 3人	73	20.6
5 4人	39	11.0
6 5人	31	8.8
7 6人~10人	38	10.7
8 11人~20人	5	1.4
9 21人以上	3	0.8
合 計	354	100.0

問4 現在の貴事業所における薬剤師の充足状況についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

	件数	%
1 充足している	159	44.9
2 少し不足している	145	41.0
3 かなり不足している	49	13.8
不明	1	0.3
合計	354	100.0

問5 貴事業所における近年の薬剤師の採用状況についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

	件数	%
1 十分な数の薬剤師を確保（採用）できている	105	29.7
2 薬剤師の確保（採用）はできているが十分ではない	95	26.8
3 薬剤師の確保（採用）は難しくなっている	136	38.4
4 その他	17	4.8
不明	1	0.3
合計	354	100.0

〔4 その他の回答〕

採用してほしいが経営側が採用してくれない。
常に求人はかけているが応募はほぼない。
家族での運営で、このままで充分と考える。
採用は難しい。今、頭数は十分だが質を考えると厳しいと思っています。事務員のように選ぶということにはならない。
本社から出向でまわしてもらっている。
調剤を行っていない、相談中心の薬局です。
採用しなくてもよい。
小規模薬局で1人薬剤師のため。
グループ薬局ができたことにより、1年前から1名勤務増となりましたが、それまでの間は常に不足しており、色々な媒体で募集をかけても問い合わせすらありませんでした。
在宅等事業を展開していく上では必要。
年齢を考えると採用は考えられない。

問6 貴事業所における今後の薬剤師の人数についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

	件数	%
1 薬剤師の人数を増やしたい	169	47.7
2 薬剤師の人数は現状のままでよい	162	45.8
3 薬剤師の人数を減らしたい	5	1.4
4 その他	17	4.8
不明	1	0.3
合 計	354	100.0

(「4 その他の回答」)

薬剤師の人数を増やしてほしい。
将来薬剤師はとらないそうです。
経営上、これ以上は無理。
仕事のできる薬剤師に交代させたい。
現在は確保できているが、在宅や地域包括の方へ参加していくためには薬剤師の人数は不足しています。
業務量がこれ以上ふえれば、人数をふやしたい。
私自身高齢のため数年後閉局の予定。
小規模薬局のため。
忙しい時だけ本部から応援有。
ピッキング要員を増やしたい。
パートの一部をフルタイムに変更を考慮中。
人口減の中、これ以上増やす必要ありか？
在宅をしていく上では必要。

問7 貴事業所では、和歌山県立医科大学 薬学部薬学科を卒業した薬剤師の採用について、

どのようなお考えをお持ちですか。該当する番号を1つお選びください。

	件数	%
1 採用したい	140	39.5
2 採用を検討したい	115	32.5
3 採用は考えない	61	17.2
4 その他	35	9.9
不明	3	0.8
合計	354	100.0

(「4 その他の回答」)

特に考えていない。
当院への直接採用はなく、近畿地域全体を勤務地として働く薬剤師を採用する。
経営上採用不可
採用は考えていないが、孫達進学先として期待している。
8年先の事でまだ分らない。
採用はしたいが、うちの様な個人薬局には人材的にもったいないので他の業種を勧めらと思う。
専門性が高い為。
本社が採用するかどうか決める。優秀な人材を採用してもらいたい。
薬剤師が不足すれば、採用を検討したい。
ここは支店であり、採用の有無は本店で決定するため。
自身の高齢化。
その時の状況をみて考えます。
新たな採用予定がない。
地域医療人として活躍してほしいと願っております。
継承してほしい。
現在は、薬剤師の人数は足りているが、今後どうなるか分からない為。
現在は、薬剤師の人数は足りているが、今後どうなるか分からない為。
社長の判断なので不明。
今のところ充足しているので、院外処方せんの枚数が増えれば検討したい。
パートでよいなら採用したい。
小規模薬局のため。
採用したいが給与を払うだけの処方箋枚数がない。OTC薬もあまり売れない。
店舗が増えれば採用を検討。
本社の意向による。
8年後の状況はわかりません。
まだ随分先のことなので不明。
薬剤師が不足している状況であれば採用したい。
今後の状況によりけり。

問8 和歌山県立医科大学 薬学部薬学科について、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

自由回答意見
1. 卒後に勤務する病院薬剤師側のレベルアップも必要であり、他学学生とともに既卒者に対して教育する仕組みが、都市部への流出を抑えるキーポイントになると考える。2. 昭和大学のように医・看・薬の風通しがよい関係が構築されることを期待しています。
地元と結びつきの強い薬学部であってほしい。学生の地元優先や教員の地元採用など。
和歌山に残ってもらえるような取組があったら良いと思う。
入院患者に十分な服薬指導をするためには薬剤師の数が少ないので、増やしたい。
和歌山県内の薬剤師不足は深刻で、特に中小病院では募集をしてもなかなか来てもらえない状態が続いています。今後学生が就職先を考える際、大病院だけでなく、地域に密着した医療を展開している中小病院も選択肢の中に入れて考えられるよう指導して頂きたいと思います。
実践能力のある質の高い薬剤師を育成してほしい。
和歌山に残る薬剤師が増える事に期待しています。
当院への直接採用はできないが、地域で大きく薬剤師が不足している為、地域包括ケアシステムの機能向上を見すえ、在宅のフィールドを理解できる人材の供給を期待する。
建学の理念から拝見しますと、県内就労ではなく中央指向と思いますが、どうでしょう。
紀南地方の薬剤師不足を痛感しています。学生の方には是非、県内、特に薬剤師不足の地域への紹介をお願いしたいと思います。
紀南地方の、いわゆる地元の薬剤師を採用できれば大変よいと思います。
地域枠入試を設けてほしい。
一人でも多くの学生さんが和歌山で就職して薬剤師不足を解消してほしいです。すごく期待しています。
和歌山県立医科大学薬学部が設置されることは素晴らしいことです。各方面での優秀な人材の活躍を期待しています。
和歌山では薬局、病薬共に人材不足のようであり、それを補える有望な薬剤師の働きに期待してやみません。
和歌山県に薬学部ができるのは大変喜ばしくありがたいことです。県内の薬剤師に対する公開講座など開催していただければ自己研鑽できて、ありがたいです。
色々な面（医薬看連携の方針など）の情報の透明性が計れるようお願いしたい。
机上だけではなく、現場にも対応できる薬剤師の育成に力を入れて欲しい。
もっと早期に実施してほしい。期待しています。
県内出身者の入学を多くし、就職も和歌山県内（特に紀中、紀南地区）で多くできるようにしてほしい。（県外出身者の受け皿になる大学にはなってほしくない。）
現状薬剤師の確保困難になっています。特に男性薬剤師が少なく、また女性の場合、家庭に入られてしまう為困難だと思います。大変期待しております。よろしくお願い致します。
県薬剤師会会長も言っていたが、医大薬学部ができることで、調剤薬局もその受け入れを考えなくてはいけなと。個人的に思うのは国公立大薬学部を卒業する様な優秀な人材はほとんど薬局への就職は考えないと考えている。なのでそれほど薬局業界の人手に関しては医大薬学部ができては変わりないだろうと思う。むしろ、このような優秀な人たちは、他の業種でその力を発揮してもらいたいと心底思います。
県立の大学であり、和歌山県の予算で運営されている大学ですので、他府県から学びに来られた学生さんも、できるだけ和歌山に就職して、県の医療に貢献して頂きたいと思う。
和歌山県内には薬学部がなく、和歌山県内で働く薬剤師の数がどうしても充足されていないように思います。できれば、和歌山県出身者枠があれば有難いです。
公立ということもあり優秀な学生が入ってくることと思われます。その中で和歌山県出身者がどのくらい占めるのか、和歌山県にどのくらいの学生が就職してくれるのかが気になる場所です。また、薬学部設置されることで、今後和歌山県に製薬メーカーや治験の会社が起業されると、和歌山市、和歌山県の発展につながっていくと思うので、そのようなアピールも力を入れていただけたらと思います。
テクニシャンが認められ、薬剤師の職がなくなりつつあります。厳しい。

自由回答意見
全国的にこれから薬剤師は余ってくると思う。薬剤師不要論もあり、本当に必要なのかと疑問に思っている。
もっと早く設立出来ていたらと思う。
はたして卒業生が我々のような小さな事業所に就職希望してくれるのか疑問。只和歌山県に薬学部が出来るのは大変いい事だと思います。
公立大学薬学部であること、近畿中心部からも通学圏内であることから、薬剤師の地域偏在の解消に寄与できるのか疑問は残る。
薬学部設置において、薬剤師不足の解消につながるとはおもっていませんが、地元で薬学部ができることにより、教員などの交流、薬学部とのかかわりが増えることにより、現役の薬剤師の意識向上、レベルアップにつながることを期待しております。
和歌山県で働く薬剤師が増えればいいなと思います。和歌山市内であっても採用までいくのが難しいので今後改善されればと思います。8年後を楽しみにしています。
県内に病院は少ないし、薬剤師は今後どんどん増え過剰状態となるであろう時に、薬学部なんていらなと思う。公立の薬学部を出た薬剤師が地元の小さい調査委託薬局なんか勤めたいと思わないと思う。アメリカのように薬剤師の地位が向上し処方権などを獲得できれば別だが。医師の下にある薬剤師では開業の意味はないと思う。
研究者を育てるにあたって、臨床、現場のデータを多く発表できる方が増えると、薬剤師の必要性を示せるので助かる。
和歌山県の薬剤師数が増えることに期待しています。
和歌山に定着してほしいから、地元の学生さんがたくさん通ってくれるとうれしいです。
大いに期待しています。
薬剤師の地域偏在の解消を期待している。
今後の未来の薬剤師のご活躍を期待しております。
学生の方々には、病院薬局と保険薬局のかけはしとなる人材になれる様、期待します。
和歌山県人がより多く入学されることを期待します。
是非、和歌山県内で就職してほしいです。県内の薬剤師の学びの場として生涯学習なども行っていただきたいです。
学生の進路先が県内であってほしい。
薬学生の実務実習受入薬局として医大薬学生の受け入れを行い、1名でも多く和歌山県に根を下ろす薬剤師を育成できればと考えております。
すばらしい薬剤師を育成してください。
和歌山県は薬剤師は不足しております。卒業生はできれば和歌山県で活動してくれるのを願ってます。
キャンパスの交通アクセスについて、どうして紀南方面からのアクセスの記載がないのか？まるで県外の人員を対象にしている様で非常に気分が悪い。
薬学部が乱立し、定員割れの大学もある。公立の薬学部で特に医科大学での薬学部は魅力的ではあるが、設置するには遅すぎた感じがある。
学術的な能力だけでなく、コミュニケーション能力を含めた社会人としての能力を持った人材・薬剤師を輩出して頂ける事を期待しています。
現場や臨床との乖離のない教育を目指してほしい。また、現状だけでなく未来志向の薬剤師を輩出いただけることを望んでいます。
これから薬剤師の業務が変わってくるので余ってくるのではと考えています。
県内に薬学部学科ができるのが遅かりしで非常に喜んでいる！
薬学部不要。
公立の薬学部期待しています。
全国の薬科大学・薬学部では近い将来、薬剤師が余ってくると言われる時代（他の薬学部教授が余るというエビデンス提出）。この時代に何故逆行するような事をするのか理解に苦しむ。税金のムダではないのか？地方自治を考えられる人間ならまずこれは失敗！
様子がわからない。

自由回答意見
学生にとっては良い充実した学生生活を送れる、社会にとっては良い人材を提供してくれる、よりより薬学部 の誕生をお祈りしています。
長い間待ち望んでいました。県の人口もふえて嬉しいです。
薬学に興味があっても、自宅から通学可能な大学がなかったので、和歌山県内での就職者が増えてくること を期待します。
保険調剤薬局のことだけでなく、町の薬局、地域密着薬局の必要性をとくに、とくと教授いただきたい。調 剤するだけが薬剤師ではないという教育が少ない、考えていない学生さんが多いように感じます。
県内に薬学部が出来ることによって地方の薬剤師不足が解消されることを願っています。また若い薬剤師が薬剤師 という専門職が憧れる職業上位になれるよう、県内に誕生される日を楽しみにしています。
設置して下さい。
卒業生はぜひ和歌山県で就職する様、助言願いたい。
他府県からの学生が6年間で、和歌山を好きになって頂き、和歌山で就職してくれるとうれしいです。教授 の中には、病院が良いので就職しなさいとかたよった意見を言う方もおられる様です。そういったことはな い様にして頂きたいですね。
薬学部薬学科が出来た事は非常にうれしく思います。県外しかなかった事を考えますと、親としても嬉しい と思います。感謝しています。
奨学金制度を作り、何年間は和歌山県で働かなければならない様に考えてほしい。私の薬局は娘2人が手伝 ってくれるので、安い給料で充足していますが、他の薬局は薬剤師不足で困っている様です。
和歌山県内で仕事する薬剤師が増えるよう期待します。
薬学部が創設される事は非常にうれしい事ではあると思うが、和歌山県薬剤師会より薬剤師が県立医科大学 と密な連携がより一層重要になり、今後を左右するのではないのでしょうか。ただ出来るだけでは今迄同様に 大阪方面へ流れてしまうと思う。
私たちの時代は県内に薬学部がない為、外に出なければならなかった。今は親の立場で県内にあれ ば、それを目標にがんばってもらいたいと思う。まして国立だし、ハードルは高いが、やりがいがあると思 う。子供の理想は高い程いいと思う。具体的な目標が定まりやすいので、有難く思う。地域で盛り上げてい けたら最高だ。薬剤師会では薬学部進学セミナーを今年で7回目で、処方箋や一般薬品の患者様のお子さ ん・お孫さん、学習塾に宣伝しています
入学定員が100人ということですが、地方へ就職する人がどの位か？
将来、在宅医療が進む中、即戦力となる薬剤師の教育が必要と思われる、薬学教育中、常に日々変動する現場 での動向を取り入れる必要があると思われます（保険薬局の立場から）。
和歌山県唯一の薬学部として、県下の薬剤師不足解消に向けて、がんばっていただきたい。
待望の和歌山県内の薬学部おめでとうございます。期待しています。
和歌山県に薬学部ができるのは有難い。
卒業した者は県内にとどまって欲しいし、特に郡部の市町村の保険薬局に。又、相談のできる人材、OTCを 勉強してセルフメディケーションに役立つ人材を育てて欲しい。
県内の学生を優先にするシステム作りを進めて欲しい。優秀な県外の子供が来て県外に就職する、これでは 余り県立として意味を成さないで、入学時県内での就職を進めて欲しい。
紀南の薬剤師は不足していると思います。また、薬剤師の高齢化もすすんでいると思います。（大阪の薬局 で働いていて、和歌山にもどってきてビックリしました。）和歌山に薬学部ができて若くフレッシュは薬剤 師が増えることを楽しみにしています！
薬学生としての知識だけではなく、コミュニケーション力も備えた学生の育成をお願いしたいと思います。 政治や経済等の他分野にも興味を持てる人間として幅のある人材が育ってくれる事を期待しています。
和歌山県内に就職してもらい、県内の薬剤師、医療のレベルアップを期待しております。
薬学部の設置は大変良いことと思います。地方の活性化に大切なことと思います。
薬剤師が設置されます事、大変嬉しく思っています。これから増々総合的な知識が必要となってくる事と思 います。期待しています。
私の薬局は立地条件があまり良くありません。調剤の受付回数も少なく、OTC、雑貨もあつかっておりま す。以前薬学部設置の署名をお客様にお願いした時、和歌山県にはやくできて欲しいと言うご意見を多数い ただきました。新宮地区は薬剤師の数が少なく、募集してもなかなか来ていただけず、苦勞している薬局・ 病院ばかりです。卒業生が社会に出るのを待ち遠しく思っております。

自由回答意見

人口減の世の中にあつて、地方での薬剤師の数が足りないとの事だが、最近での薬学部増にて必ず薬剤師過剰時代はくるはず。今でも薬学部を受験生が少なく定員割れすると聞きます。今更必要かと思ひ、卒業生が地元に戻るとは疑問？

新卒者が出る約 10 年後に薬剤師の需要がどの程度見込めるのか不安を覚える。

当県で就職して欲しいので、助言や薬局側もアピールする場も欲しい。

県内はまだまだ薬剤師不足の為、充実した薬局等が営業しかねている所有ります。卒業後は当県での就職を望みます。

薬剤師が過剰になってきても、生きぬいていける人材を育成してほしい。

和歌山県立医科大学薬学部が開設されるのを楽しみにしております。

<企業アンケート回収表・集計表>

和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する企業アンケート 回収表

回収日	ID	企業名
8.28	5	DKSH ジャパン株式会社
8.26	7	DSP 五協フード&ケミカル株式会社
8.22	8	DS ファーマプロモ株式会社
8.15	15	LTL ファーマ株式会社
8.15	16	Meiji Seika ファルマ株式会社
8.16	24	YL バイオロジクス株式会社
8.21	25	アース環境サービス株式会社
8.21	29	アサヒグループ食品株式会社
8.21	34	アストラゼネカ株式会社
8.15	35	アスペンジャパン株式会社
8.15	39	アミカス・セラピューティクス株式会社
9.06	42	アルビジランス株式会社
8.23	43	アルプス薬品工業株式会社
9.10	45	アレクシオンファーマ 合同会社
8.22	54	エイチビィアイ株式会社
9.12	55	エイツーヘルスケア株式会社
8.30	56	エイワイファーマ株式会社
8.22	62	オー・ジー株式会社
8.29	65	カイゲンファーマ株式会社
8.15	68	キャタレント・ジャパン株式会社
8.20	69	キョーリンリメディオ株式会社
8.27	76	クリニジェン株式会社
8.19	77	クリニペース株式会社
8.27	80	コーアイセイ株式会社
8.27	86	サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会社
8.21	95	ジェーピーエス製薬株式会社
8.26	99	シオノギヘルスケア株式会社
8.21	109	スペラファーマ株式会社
8.21	114	ゼリア新薬工業株式会社
8.20	116	セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社
8.22	118	ダイト株式会社
8.15	121	テイカ製薬株式会社
8.21	127	トーアエイヨー株式会社
8.19	133	ニプロファーマ株式会社
8.19	144	ハウプトファーマ取手株式会社
8.20	146	ハクゾウメディカル株式会社
8.19	148	ハルイ医薬株式会社
8.19	157	フィプロ製薬株式会社
8.22	167	ホーユー株式会社
8.26	169	ホンノー薬品株式会社
8.21	174	マルハニチロ株式会社
8.23	175	マルホ株式会社
8.26	176	ミヤリサン製薬株式会社
8.21	177	ムネ製薬株式会社
8.16	178	ムンディーファーマ株式会社
8.15	187	ラクオリア創薬株式会社
8.16	191	レキオファーマ株式会社
9.05	201	伊丹製薬株式会社
8.22	203	井藤漢方製薬株式会社
8.23	204	一元製薬株式会社
8.22	215	科研製薬株式会社
8.19	218	株式会社 CAC クロア
8.16	221	株式会社アールビーエム

回収日	ID	企業名
8.15	230	株式会社エスアールディ
8.20	244	株式会社ナードケミカルズ
8.15	254	株式会社マイクロン
9.02	255	株式会社ミノファーゲン製薬
8.20	261	株式会社メニコネク
8.20	272	株式会社阪本漢法製薬
8.20	280	株式会社雪の元本店
8.20	283	株式会社大阪合成有機化学研究所
8.21	284	株式会社大阪製薬
8.20	285	株式会社大石膏盛堂
8.23	286	株式会社大塚製薬工場
8.29	287	株式会社池田模範堂
8.21	288	株式会社東京エム・アイ商会
9.09	289	株式会社東洋薬行
8.22	290	株式会社特殊免疫研究所
8.15	293	株式会社日本生物製剤
8.22	294	株式会社日本点眼薬研究所
8.26	295	株式会社富士薬品
8.20	296	株式会社伏見製薬所
8.20	300	株式会社陽進堂
8.22	304	株式会社廣貫堂
8.22	306	甘利香辛食品株式会社
8.16	309	岩城製薬株式会社
8.22	318	協和キリンフロンティア株式会社
8.29	324	興和株式会社本店
8.16	329	光製薬株式会社
8.20	336	高市製薬株式会社
9.03	342	劑盛堂薬品株式会社
9.18	345	三井倉庫株式会社
8.23	349	三恵製薬株式会社
8.21	351	三谷産業株式会社
8.22	371	住友精化株式会社
9.03	374	小西製薬株式会社
8.21	376	小太郎漢方製薬株式会社
8.27	378	小林化工株式会社
8.19	385	松田薬品工業株式会社
8.22	392	森下仁丹株式会社
8.26	396	生晃栄養薬品株式会社
8.22	403	前田薬品工業株式会社
8.20	408	太虎精堂製薬株式会社
8.20	409	太平化学産業株式会社
8.16	412	大原薬品工業株式会社
8.20	414	大晃生薬有限会社
8.19	421	大草薬品株式会社
8.22	423	大地化成株式会社
8.21	432	大和化成工業株式会社
8.22	438	沢井製薬株式会社
8.16	439	辰巳化学株式会社
8.22	440	中外医薬生産株式会社
8.26	446	長野県製薬株式会社
8.20	449	鶴原製薬株式会社
8.20	456	田村薬品工業株式会社
8.20	468	東洋カプセル株式会社
8.20	470	東洋製薬化成株式会社
8.23	472	東和製薬株式会社

回収日	ID	企業名
8.27	476	藤本製薬株式会社
9.03	480	二反田薬品工業株式会社
8.19	484	日興製薬株式会社
8.22	490	日新薬品工業株式会社
8.21	491	日水製薬医薬品販売株式会社
8.26	498	日本イーライリリー株式会社
8.21	501	日本ジェネリック株式会社
8.19	510	日本メダック株式会社
8.21	511	日本化薬株式会社
8.20	512	日本歯科薬品株式会社
8.21	515	日本製薬工業株式会社
9.10	516	日本赤十字社
8.21	518	日本臓器製薬株式会社
8.16	519	日本粉末薬品株式会社
8.21	526	白十字株式会社
9.09	533	浜理薬品工業株式会社
9.13	542	扶桑薬品工業株式会社
8.26	543	武州製薬株式会社
8.30	548	福井製薬株式会社
8.16	553	北興化学工業株式会社
8.20	558	明治薬品株式会社
8.16	560	有機合成薬品工業株式会社
8.19	563	祐徳薬品工業株式会社

回収票数 131 件

和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する企業アンケート

集 計 表

〔有効回答票：131 票〕

問 1 貴社の本社・本部・本店の所在地について、次の中から該当する番号を1つお選びください。

	件 数	%		件 数	%
1 北海道	0	0.0	25 滋賀県	3	2.3
2 青森県	0	0.0	26 京都府	1	0.8
3 岩手県	0	0.0	27 大阪府	29	21.7
4 宮城県	0	0.0	28 兵庫県	8	6.2
5 秋田県	0	0.0	29 奈良県	2	1.6
6 山形県	1	0.8	30 和歌山県	2	1.6
7 福島県	0	0.0	31 鳥取県	0	0.0
8 茨城県	1	0.8	32 島根県	0	0.0
9 栃木県	0	0.0	33 岡山県	0	0.0
10 群馬県	0	0.0	34 広島県	1	0.8
11 埼玉県	2	1.6	35 山口県	2	1.6
12 千葉県	0	0.0	36 徳島県	1	0.8
13 東京都	47	35.7	37 香川県	1	0.8
14 神奈川県	2	1.6	38 愛媛県	1	0.8
15 新潟県	0	0.0	39 高知県	0	0.0
16 富山県	7	5.4	40 福岡県	0	0.0
17 石川県	3	2.3	41 佐賀県	2	1.6
18 福井県	1	0.8	42 長崎県	0	0.0
19 山梨県	0	0.0	43 熊本県	0	0.0
20 長野県	1	0.8	44 大分県	0	0.0
21 岐阜県	2	1.6	45 宮崎県	0	0.0
22 静岡県	1	0.8	46 鹿児島県	0	0.0
23 愛知県	8	6.2	47 沖縄県	1	0.8
24 三重県	1	0.8	合 計	131	100.0

問2 貴社の主な商品（製品）についてお聞きします。次の中から該当する番号をすべてお選びください。（複数回答）

	件数	%
1 医療用医薬品	85	64.9
2 OTC 医薬品（一般用医薬品、要指導医薬品）	60	45.8
3 健康食品（機能性表示食品、特定保健用食品、サプリメント等）	32	24.4
4 食品（健康食品除く）	22	16.8
5 化粧品	24	18.3
6 化学薬品	17	13.0
7 その他	33	25.2
合計	131	100.0

複数回答のため合計は 100%にならない

（「7 その他」の回答）

1～6 の原材料	コンタクトレンズ及びケア用品
食品添加物、化粧品原料、医薬品原料 他	医薬部外品
バイオシミラー	医療機器
総合環境衛生管理	研究用試薬
CRO、医薬品開発支援サービス、コンサルティング	医療機器
原薬	医薬部外品、育毛剤
食品添加物	医療用医薬品原薬
1～5 の原材料、中間体	冷却シート
CRO サービス	自動車部品
CRO	製造業ではない
CRO のため、1 における開発のみ)	医療材料
CRO	医薬品原料
医薬品原薬	衛生材料、大人用紙おむつ
CRO 業務（専門サービス）	医薬部外品
再生医療等製品	CRO の為商品はございませんが、医薬品開発の為の IT ソリューションの開発はしております。
医療器械	

問3 現在の貴社の従業員数についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

	件数	%
1 1～19 人	11	8.4
2 20～49 人	18	13.7
3 50～99 人	14	10.7
4 100～299 人	34	26.0
5 300～499 人	21	16.0
6 500～999 人	13	9.9
7 1,000 人以上	20	15.3
合計	131	100.0

問4 現在の貴社における薬剤師の充足状況についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

	件数	%
1 充足している	45	34.4
2 少し不足している	72	55.0
3 かなり不足している	12	9.2
不明	2	1.5
合計	131	100.0

問5 貴社における近年の薬剤師の採用状況についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

	件数	%
1 十分な数の薬剤師を確保（採用）できている	33	25.2
2 薬剤師の確保（採用）はできているが十分ではない	43	32.8
3 薬剤師の確保（採用）は難しくなっている	45	34.4
4 その他	8	6.1
不明	2	1.5
合計	131	100.0

（「4 その他」の回答）

薬剤師の採用は行っておりません。
新卒採用を現在行っていない。2年後開始予定。
業許可維持のために必要最低限の確保は出来ているが採用は難しくなっている。
欠員補充のみ
新卒採用は実施していない。
医薬品製造管理者としての薬剤師の中途（経験者）採用は厳しい。
工場部門での薬剤師の確保が難しい。
統計調査を行っていないため回答できない。

問6 貴社における今後の薬剤師の人数についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

	件数	%
1 薬剤師の人数を増やしたい	81	61.8
2 薬剤師の人数は現状のままでよい	36	27.5
3 薬剤師の人数を減らしたい	0	0.0
4 その他	13	9.9
不明	1	0.8
合計	131	100.0

(「4 その他」の回答)

若年層を増やしたい。
今後の製品開発状況によります。
業許可維持のために薬剤師の人数を増やしたい
薬剤師としての採用はあまりない
元々採用はなく、今後も採用の予定はありません。サプリメントの開発なので、知識を持った方が居ると助かります（製薬会社勤務など）。
GRA として薬剤師の知識が欲しい。
薬剤師としての採用ではないが有資格者を採用したい。
採用できるのであれば採用したいが必須ではない。
医薬品製造管理者としての薬剤師が必要。
志のあるかたであれば是非ともと思います。
仕事ができる薬剤師を増やしたい。
統計調査を行っていないため回答できない。

問7 貴社では、和歌山県立医科大学 薬学部薬学科を卒業した薬剤師の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。該当する番号を1つお選びください。

	件数	%
1 採用したい	46	35.1
2 採用を検討したい	57	43.5
3 採用は考えない	17	13.0
4 その他	11	8.4
合計	131	100.0

(「4 その他」の回答)

欠員等が発生した際には検討したい。
現在は新卒採用を行っておらず、将来的には検討したい。
新卒採用に着手していないため不明。
当社とマッチングする人材であれば採用したい。
新卒薬剤師では業許可の各責任者を勤めることは難しいので新卒の採用は考えていない。
大学名を基準に採用は行っていない
問6 回答の状況であるが将来の医薬品製造管理者候補として品質管理、品質保障部門での採用であれば考える。
設立間もない会社で新卒採用は現時点で未定です。
欠員等発生した場合には検討することとしたい。
統計調査を行っていないため回答できない。
薬剤師の方は優先的に検討したい。

問8 和歌山県立医科大学 薬学部薬学科について、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

自由回答意見
伝統ある県立医科大学に薬学部ができれば、大いに期待できるものと思います。
もし将来的に薬剤師養成に加えて、民間企業（特に研究開発）への就職に力を入れるご予定がありましたら是非弊社人事部採用担当までご連絡下さい。スペラファーマは2017年に武田薬品よりCMC研究部門が独立して研究開発に特化した会社です。
卒業生の活躍の場としてUIJターンも考慮していただきたい。
科学的思考を持った薬剤師の育成を希望。
公立で薬学部が出来ることはいいと思います。
薬剤師は本社（弊社）での採用は行っておりません。医薬品の開発を独自で行うことはしていない為。（どちらかというとアイデアの提案、技術は他社さまに依頼します。）
弊社（CRO）も薬剤師有資格の学生様は積極的採用しており、修了後、薬学知識を用いて治験分野にご興味をお持ちいただける学生様がいらっしゃることに期待致します。宜しく願い申し上げます。
貴校の学生の方々の活躍の場として民間企業についてもお考えのようでしたら、当社としてお力になれることがありましたら、ご協力させていただければと思います。
研究職が人気であるが、工場での仕事の重要性も伝えて下さい。
医薬品メーカーにおいて有機化学、合成化学の高い技術、見識を持った学生を一人でも多く社会に送り出していきたい。
薬剤師資格の取得はもちろんのこと、実験スキルや考察力、コミュニケーション能力も保有している方が企業で求められる薬剤師だと考えています。
弊社は、関西地区の拠点は有りませんが、東京に本社、福岡県に製造拠点二ヶ所、研究所一ヶ所を有していますので、地方出身者の受け皿となり得ると考えています。
薬学部が設置されるのであれば、是非名刺交換させてほしい。
期待は極めて高いと思います。ぜひ実現して欲しいと思います。
製薬企業としても医療人としての総合的な知識・技能・態度を備えた人材は必要になってくるかと存じますので、質の高い教育をしていただき、優秀な学生を社会に送り出していただきましたら幸いです。
御学に薬学部が設置されますことは、同じ和歌山県で医薬品の製造販売を行っている弊社にとりまして、誠に嬉しい限りです。現行のカリキュラムで学ばれている薬学部の学生の皆様の就職活動を拝見していると、主に調剤業務に目が向いている現状がありますが、御学で学ばれた皆様が、将来、医薬品のつくり手も含めて、様々なフィールドでご活躍されますことを切に願っております。
若い将来を担う薬剤師さんは内々中小メーカーには来て貰えないので、人数が増えてくれて、法律ももう少し緩和されればありがたい。そういう働きかけは出来ないだろうか。あと漢方薬に詳しい方の育成をお願いしたい。
地元に着定する薬剤師が必要で設置されることを聞いておりますので、そうなれば良いと思います。
当社は生薬開発からスタートした会社ですので、特に医薬品や食品分野でご活躍いただける人材をぜひ輩出して頂きたいです。
学内企業説明会等ありましたら、是非参加させて頂きます。
医薬品の研究、品質管理、製造に関する知識をつけていただきたいと考えます。
薬学部は6年もかけて勉学に励むのですから、国家試験に受かり、薬剤師となれば、医療人として自覚を持ち、十二分に社会貢献するよう教育して頂きたい。研究・開発できる薬剤師を目指して欲しい。
この度は貴学設立の報にふれ、まずはお慶び申し上げます。貴学は公立大学ということもあり、将来有望な逸材を輩出していただけますこと、切に期待申し上げます。
是非、資格取得をした方々に長い目でみて、一般企業（医薬品製造）に進むことも良い選択であることを伝えてもらいたい。
大学としては、どのように人材を育てようと考えていますか？
薬剤師として薬局・ドラッグストア等で働く方だけでなく、企業での活躍もみずえた教育をお願い致します。

<アンケート調査票>

和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する事業所アンケート調査票

和歌山県立医科大学では、県内における薬剤師不足の解消を図るとともに、今後の地域における医療の充実を図るため、令和3年4月に薬学部を設置する準備を進めています。薬学部では、高い実践能力を有し地域で活躍できる薬剤師を育成するとともに、国際的にも活躍できる薬剤師を育成すること目指しています。

このアンケート調査は、事業所の皆様の薬学部卒業生の採用意向等についてお聞きし、今後の計画推進の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用することはありません。

【和歌山県立医科大学 薬学部(設置構想中)の概要】 ※いずれも予定であり変更する可能性があります。

- 1. 名 称 薬学部 薬学科
- 2. 開設時期 令和3年(2021年)4月
- 3. 入学定員 100人
- 4. 修業年限 6年制
- 5. 資格・免許 薬剤師国家試験受験資格
- 6. 立地場所 伏虎キャンパス

(和歌山県和歌山市七番丁(旧和歌山市立伏虎中学校跡地))

(回答は設問の順に、該当する番号を回答欄に直接記入してください。)

【回答欄】

問1 貴事業所の所在地について、次の中から該当する番号を 1つ お選びください。

- 1 和歌山保健医療圏(和歌山市、海南市、紀美野町)
- 2 那賀保健医療圏(紀の川市、岩出市)
- 3 橋本保健医療圏(橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町)
- 4 有田保健医療圏(有田市、湯浅町、広川町、有田川町)
- 5 御坊保健医療圏(御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町)
- 6 田辺保健医療圏(田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町)
- 7 新宮保健医療圏(新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町)

問2 貴事業所の種別についてお聞きします。次の中から該当する番号を 1つ お選びください。

- 1 保険調剤薬局
- 2 病院内薬局・薬剤部
- 3 ドラッグストア
- 4 その他

問3 貴事業所に現在勤務している薬剤師の人数について、正規職員及び非正規職員(パート、アルバイト等)ごとにご記入ください。

正規職員の薬剤師	人
非正規職員(パート、アルバイト等)の薬剤師	人
合 計	人

(裏面に続く)

問 4 現在の貴事業所における薬剤師の充足状況についてお聞きします。次の中から該当する番号を 1つ お選びください。

- 1 充足している
- 2 少し不足している
- 3 かなり不足している

問 5 貴事業所における近年の薬剤師の採用状況についてお聞きします。次の中から該当する番号を 1つ お選びください。

- 1 十分な数の薬剤師を確保（採用）できている
- 2 薬剤師の確保（採用）はできているが十分ではない
- 3 薬剤師の（確保）採用は難しくなっている
- 4 その他（具体的に _____）

問 6 貴事業所における今後の薬剤師の人数についてお聞きします。次の中から該当する番号を 1つ お選びください。

- 1 薬剤師の人数を増やしたい
- 2 薬剤師の人数は現状のままでよい
- 3 薬剤師の人数を減らしたい
- 4 その他（具体的に _____）

問 7 貴事業所では、和歌山県立医科大学 薬学部薬学科を卒業した薬剤師の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。該当する番号を 1つ お選びください。

- 1 採用したい
- 2 採用を検討したい
- 3 採用は考えない
- 4 その他（具体的に _____）

問 8 和歌山県立医科大学 薬学部薬学科について、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***

和歌山県立医科大学における薬学部設置に関する企業アンケート調査票

和歌山県立医科大学では、県内における薬剤師不足の解消を図るとともに、今後の医療の充実を図るため、令和3年4月に薬学部を設置する準備を進めています。薬学部では、高い実践能力を有し地域で活躍できる薬剤師を育成するとともに、国際的にも活躍できる臨床・薬学研究者を育成すること目指しています。

このアンケート調査は、企業の皆様の薬学部卒業生の採用意向等についてお聞きし、今後の計画推進の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用することはありません。

【和歌山県立医科大学 薬学部(設置構想中)の概要】 ※いずれも予定であり変更する可能性があります。

- 1. 名 称 薬学部 薬学科
- 2. 開設時期 令和3年(2021年)4月
- 3. 入学定員 100人
- 4. 修業年限 6年制
- 5. 資格・免許 薬剤師国家試験受験資格
- 6. 立地場所 伏虎キャンパス

(和歌山県和歌山市七番丁(旧和歌山市立伏虎中学校跡地))

(回答は設問の順に、該当する番号を回答欄に直接記入してください。)

【回答欄】

問1 貴社の本社・本部・本店の所在地について、次の中から該当する番号を1つお選びください。

- | | | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 1 北海道 | 2 青森県 | 3 岩手県 | 4 宮城県 | 5 秋田県 | 6 山形県 | 7 福島県 |
| 8 茨城県 | 9 栃木県 | 10 群馬県 | 11 埼玉県 | 12 千葉県 | 13 東京都 | 14 神奈川県 |
| 15 新潟県 | 16 富山県 | 17 石川県 | 18 福井県 | 19 山梨県 | 20 長野県 | |
| 21 岐阜県 | 22 静岡県 | 23 愛知県 | 24 三重県 | | | |
| 25 滋賀県 | 26 京都府 | 27 大阪府 | 28 兵庫県 | 29 奈良県 | 30 和歌山県 | |
| 31 鳥取県 | 32 島根県 | 33 岡山県 | 34 広島県 | 35 山口県 | | |
| 36 徳島県 | 37 香川県 | 38 愛媛県 | 39 高知県 | | | |
| 40 福岡県 | 41 佐賀県 | 42 長崎県 | 43 熊本県 | 44 大分県 | 45 宮崎県 | |
| 46 鹿児島県 | 47 沖縄県 | | | | | |

問2 貴社の主な商品(製品)についてお聞きします。次の中から該当する番号をすべてお選びください。

- 1 医療用医薬品
- 2 OTC 医薬品(一般用医薬品、要指導医薬品)
- 3 健康食品(機能性表示食品、特定保健用食品、サプリメント等)
- 4 食品(健康食品除く)
- 5 化粧品
- 6 化学薬品
- 7 その他(具体的に)

(裏面に続く)

問3 現在の貴社の従業員数についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

- | | | | | | | |
|---|----------|---|----------|---|----------|---|
| 1 | 1～19人 | 2 | 20～49人 | 3 | 50～99人 | <input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/> |
| 4 | 100～299人 | 5 | 300～499人 | 6 | 500～999人 | |
| 7 | 1,000人以上 | | | | | |
| | | | | | | |

問4 現在の貴社における薬剤師の充足状況についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

- 1 充足している
- 2 少し不足している
- 3 かなり不足している

問5 貴社における近年の薬剤師の採用状況についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

- 1 十分な数の薬剤師を確保（採用）できている
- 2 薬剤師の確保（採用）はできているが十分ではない
- 3 薬剤師の確保（採用）は難しくなっている
- 4 その他（具体的に _____）

問6 貴社における今後の薬剤師の人数についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

- 1 薬剤師の人数を増やしたい
- 2 薬剤師の人数は現状のままでよい
- 3 薬剤師の人数を減らしたい
- 4 その他（具体的に _____）

問7 貴社では、和歌山県立医科大学 薬学部薬学科を卒業した薬剤師の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。該当する番号を1つお選びください。

- 1 採用したい
- 2 採用を検討したい
- 3 採用は考えない
- 4 その他（具体的に _____）

問8 和歌山県立医科大学 薬学部薬学科について、ご意見等がございましたらご自由にお書きください。

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***